

平成29年度

『福祉に関する中学・高校生アンケート』

報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

この調査は、第3次黒部市地域福祉活動計画策定に向けての基礎調査として中学生、高校生への意識調査を行うものである。また前回(4年前)の結果との比較も行い、今後も経年変化を分析し進めていく。

- 1 「福祉に関する中学生アンケート報告書」
- 2 「福祉に関する高校生アンケート報告書」
- 3 資料:アンケートフォーマット

平成29年度

『福祉に関する中学生アンケート』

報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

目次

I	調査の概要	
II	調査結果	
1	属性	1
2	地域生活について	4
	(1) 近所づきあいについて	6
	(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて	8
	(3) 近所の方々への感謝について	10
	(4) 感謝の内容について	12
3	福祉体験実習について	16
	(1) 福祉のイメージについて	16
	(2) 福祉に対する興味について	16
	(3) 福祉体験実習の受講について	17
	(4) 福祉体験実習の受講内容について	18
	(5) 福祉体験実習受講後の変化について	18
	(6) 福祉体験実習の受講希望について	19
	(7) 福祉体験実習の受講希望内容について	20
	(8) 日々の生活環境について	20
	(9) 日々の生活で関わることのある人について	21
	(10) 福祉体験実習の受講時期について	22
4	将来について	23
	(1) 興味のある職種について	23
	(2) 将来の仕事について	24
	(3) 居住希望について	26
	(4) 居住希望者の理由について	27
	(5) 居住を希望しない理由について	28
5	福祉の複合施設について	29
	(1) 複合施設ができたら利用するかについて	29
	(2) 複合施設の利用環境について	30
6	黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問(自由記述)	

I 調査の概要

1 調査目的

第3次地域福祉活動計画を策定するため、各年代層やさまざまな立場の方々の意見・提案をいただいているが、本調査については黒部市内の中学校に通う2年生全員を対象に、若年層の地域生活や地域との関わり、福祉の充実などに対する意見を調査し、将来の地域づくりの参考とする。

2 調査方法

(1) 調査対象 黒部市内の4中学校(鷹施、高志野、桜井、宇奈月)2年生全員(13歳～14歳)

(2) 調査方法 各中学校に配布し回収

(3) 調査期間 平成29年12月20日～平成30年1月10日

3 回収結果

対象者数	有効回答者数	有効回答率
359名	351名	97.8%

4 報告書の作成について

(1) 地域を対象とした調査であるため、中学校ごとの集計ではなく地区ごとの集計としている。

(2) 平成25年度に調査した内容と同じ設問に対しては、年度別に比較を行っている。

(3) 複数回答可となっている設問以外で、複数回答があった回答に関しては、そのまま反映している。

5 調査結果まとめ

1 属性

(1) 性別について(地区別)

今回の調査では、男性が54%、女性が46%とやや男性の方が多く、4年前(H25年度)の調査と比較すると男女比が逆転している。また、地区によっては、男女比に大きく変化がみられる地区もあった。次に、生徒数を地区別でみていくと、生徒数が増加している地区が7地区、減少している地区が8地区、変わらない地区が1地区であった。4年前より減少しているとはいえ、もともと生徒数が多い地区は、大布施地区、次いで三日市地区で、前回調査時と変わらなかつた。その他の地区に関しても、4年前に比べ、生徒数に大きな差異はなかつた。

対象者数と有効回答者数にやや差異はあるものの、今回の調査に対し、大きな影響をもたらすことはないと考ええる。

2 地域生活について

(1) 近所づきあいについて

近所づきあいは、「①大切なことだと思う」が50%と最も多く、「②当然で特別なこととは思わない」が28%、「③深く関わりたくない」が19%、「④わずらわしい」が2%という結果となった。地区別に前回の調査結果と比較したところ、項目ごとに割合の変化が多少みられるが、どの地区も大きな変化はないことがわかつた。また、全体比で見ると、①、②がやや伸びており、③、④はやや減ってきているが、極端な違いはみられなかつた。

(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて

近所の方々のあいさつや声かけは、「①会えば必ず」が33%、「②ときどき」が56%、「③ほとんど声をかけてくれない」が9%、「④まったく声をかけてくれない」が1%という結果となった。地区別に前回の調査結果と比較したところ、項目ごとに割合の変化が多少みられるが、どの地区も大きな変化はないことがわかつた。また、全体比で見ると、①、②がやや伸びており、③、④はやや減ってきているが、極端な違いはみられなかつた。

(3) 近所の方々への感謝について

ありがどうと思っていることが「①ある」が68%、「②ない」が32%であった。地区別に前回の調査結果と比較したところ、「ある」と答えた比率が伸びている地区が多くみられたが、全体比で見ると、前回調査時より「ある」がやや減っていた。

(4) 感謝の内容について((3)で①と答えた方)

「①通学路などの見守り」が最も多く36%、次いで、「⑤地域行事の実施」、「③地域の美化活動」、「④資源回収」、「②ごみの分別や後始末」と続いた。その他として、野菜・果物等、いろいろといただいた際に、感謝するという回答が多くあつた。また、困っていることの相談、手助け等、家族以外の方に対してのつながり感謝しているという回答も多くあつた。地区別に前回の調査結果と比較したところ、項目ごとに割合の変化が多少みられるが、全体比で見ると大きな変化はないことがわかつた。

3 福祉体験実習について

(1) 福祉のイメージについて

福祉という言葉のイメージは一人ひとり様々であったが、いくつかの共通項目があり、その用語をキーワードとし、意見を集約した。その結果、「助ける」、「幸せ」、「やさしい」というイメージが多く上がっていた。また、「誰もが〇〇、みんなが〇〇」というイメージを持つ人、反対に「高齢者、介護、障がい者等」特定の人を対象にイメージをしている人もいた。しかしながら、最も多かった回答は、「わからない、難しい」という回答であった。福祉とは？という問いかけに対し、その言葉がもつイメージを考えた時、人それぞれでそのイメージは違うことが改めてわかった。

(2) 福祉に対する興味について

福祉に対する興味がある、ないとの問いに対して、「①興味あり、②やや興味あり」が約3割、「③あまりない、④全くない」が約5割、「⑤わからない、⑥無回答」が約2割という結果になった。

(3) 福祉体験実習の受講について

うけたことが「①ある」が46%、「②ない」が53%と、ない人が若干多かった。

(4) 福祉体験実習の受講内容について(3)で①と答えた方)

受講したことがある内容で、最も多かったのが車椅子体験で、次いで、高齢者疑似体験、視覚聴覚障害疑似体験、ボランティア体験が続いた。

(5) 福祉体験実習受講後の変化について

受講後に約5割の人が「②意識が変わった」と回答、「①役に立った」と答えた人が約1割いたが、「④役立つ機会がない、⑤特に何も変わらない」と答えた人が約3割と、中学生では、福祉体験で上位の項目にあげられている車椅子の使用や高齢者、視覚聴覚障がい者と触れ合う機会が少ないことがうかがえる。

(6) 福祉体験実習の受講希望について

体験実習を「①うけてみたい」が21%、「②どちらでもよい」が48%、「③できればうけたくない」が7%、「④全く興味がない」が13%という回答が得られた。①、②を合わせると、約7割の人が受講する機会があれば、うけてもよいと思っていることがうかがえる。一方、③、④の割合をみると、約2割の人は、実習はあまり必要ないと感じていた。さらに、日々の生活で、高齢者等と関わる機会があるか、ないかでその比率に差がでるかを調べてみたが、それほど大きな違いはなかった。唯一、違いがあったのは、「①うけてみたい」という票で、関わる機会がある人が36%に対し、関わる機会がない人は10%と多少なかった。

(7) 福祉体験実習の受講希望内容について(6)で①または②と答えた方)

受けてみたい実習体験は、介助犬体験が86票と最も多く、次いで、ダイアログイン・ザ・ダーク(暗闇体験)、視覚聴覚障害疑似体験、手話、ボランティアと続いた。また、身体介護、入浴介助は、他の項目からみて希望者は少なかった。

(8) 日々の生活環境について

高齢者、介護者、障がい者と関わる機会が「①ある」が27%、「②ときどきある」が24%、「③ほとんどない」が28%、「④全くない」が20%と、どの項目もよく似た比率で、あるか、ないかで区分すると、約半々の割合であった。

(9) 日々の生活で関わることのある人について(8)で①または②と答えた方)

高齢者、介護者、障がい者と関わる機会が「①ある、②ときどきある」が全体の約5割で、そのうち対象となる方の約9割は高齢者、残りの1割が介護者、障がい者と関わる機会があるということがわかった。

(10) 福祉体験実習の受講時期について

約3割が「①小学校の時」、次いで、「⑥時期は問わず機会があればいつでもよい」が約2割という結果であった。また、日々の生活で高齢者、障がい者、介護者と共に生活している場合であってもそうでない場合であっても、受講時期に関する回答者数に差はなく、日頃から触れ合う機会があるない問わず、早い時期が望ましいと感じていることがわかった。

4 将来について

(1) 興味のある職種について

「⑧将来についてはまだ決めていない」という回答が多かったが、全体数(351名)からみると、すでに興味のある職種がある人が多いことがうかがえる。時代背景からも、「①コンピュータ・IT・Web・ゲーム」関連の職種に興味があるが50票と最も多く、次いで、「⑦医療・歯科・看護・リハビリ」関連が27票と続いた。また、今回の調査のテーマとなっている「⑧福祉・介護」に関する職種への興味は、5票と少なかった。

(2) 将来の仕事について

4-1(1)の設問で「まだ決めていない」という回答が多かったが、将来の仕事についても、「⑦まだ何も考えていない」という回答が全体の1/4を占めていた。その中で、全体の11%は「①できれば市内」、27%が「②できれば県内」と地元(県内)での仕事を希望していた。一方、「③できれば県外」が15%、「④できれば海外」が3%と、既に地元を離れたいと希望している人もいた。その他、「⑤進学後に考える」という回答が17%あった。将来の仕事を考えるには少し早いと感じられる中学生だが、全体の75%は、将来の仕事についての希望を持っていることがわかった。

(3) 居住希望について

「①ずっと住みたい」、「②一度は出たいが、将来は帰ってきてみたい」と約6割が地元での居住を望んでいることがわかった。反対に約1割が「③住みたくない」と地元以外での居住を望んでいることがわかった。また、約3割が「④どちらともいえない」と、回答していた。

この結果を4年前(H25年度)の結果と比較してみたが、「①ずっと住みたい」から「②一度出て将来帰ってきてみたい」という比率が高くなってきている地区が多くみられたが、大きな違いはなかった。但し、全体比率をみると①、②を合わせた比率が若干減り、「④どちらともいえない」と回答した人がやや増えている結果となった。

(4) 居住希望者の理由について((3)で①または②と答えた方)

居住希望の理由として、「①家族がいるから」が35%、「③地元が好きだから」が36%と、ほぼ同率であった。4年前と比較し、家族や友達がいるという人とのつながりが対する居住希望理由から、地元が好きという地域全体に魅力を感じている人が多くなっていることがわかった。

(5) 居住を希望しない理由について((3)で③と答えた方)

4-(3)で全体数の7%が居住希望しないと回答していたが、そのうち、約4割がなりたいた職業につけないからという理由で、残りの4割が買い物や不便、交通の便が悪い、雪や寒さが厳しいといった生活環境が不便であるという理由であることがわかった。さらに、4年前の全体比と比較してみると、全体数は減っていたが、その理由については、大きな変化はみられなかった。

5 福祉の複合施設について

(1) 複合施設ができれば利用するかについて

具体的な中身がみえていないこともあって、「③わからない」という回答が約6割占めていた。しかしながら、約3割が「①利用したい」と答え、具体的な理由に、支えになる、いろいろな人と触れ合える、相談できる、交流が増える、楽しそう等の意見が多くなった。一方、「②利用したくない」と答えた中には、家にいたい、面倒だからといった意見が上がった。

(2) 複合施設の利用環境について

5-(1)で利用するかはわからないという回答が多かったが、利用環境としてどのような施設ができるかとの問いにおいては、複数の回答が返ってきた。最も多かったのが「⑯カフェでくつろげる(173票)」で、約半数の人がよいと答えていた。次いで、「⑰図書(読書)スペースがある(142票)」、「⑳リースペースでくつろげる(137票)」、「㉑学習広場で勉強できる(130票)」と続いた。

福祉に関わる内容として、「①福祉体験実習ができる(116票)」、「③ボランティア活動ができる(96票)」、「④災害訓練ができる(74票)」に関しても、全体の約3割がよいとしていた。現在の福祉センター機能にある「⑦入浴ができる(54票)」に関しては、約1割程度にとどまった。わずかながら「③施設自体必要ではないと思う(6票)」という回答もあった。

6 黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問(自由記述)

黒部市社協に対する質問については、どのようなことをしているのか？、どこにあるのか？、誰が働くのか、良いことはあるのか？等の疑問が多く上がった。一方で、困っている人や、高齢者や障がい者を助けてほしいとの意見もあった。

II 調査結果

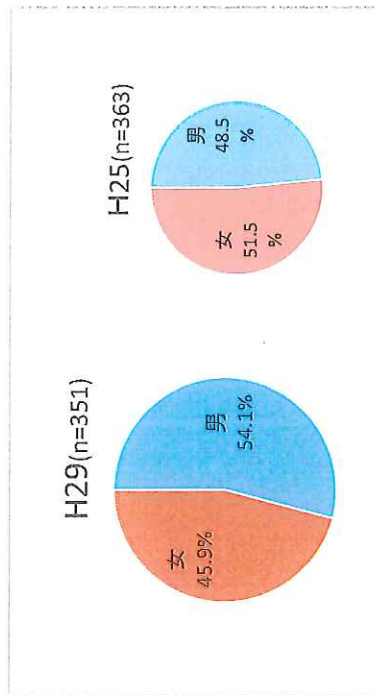
1 属性

(1) 性別について(地区別)

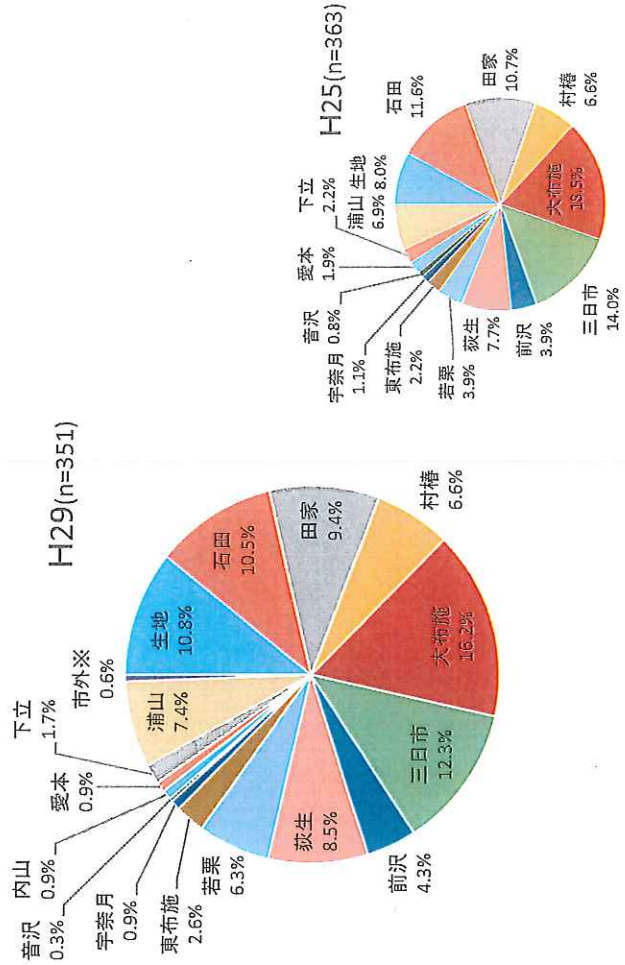
地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	萩生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外※	全体
男	24	18	16	7	30	23	7	18	15	5	2	1	1	2	5	15	1	190
女	14	19	17	16	27	20	8	12	7	4	1	0	2	1	1	11	1	161
計(人)	38	37	33	23	57	43	15	30	22	9	3	1	3	3	6	26	2	351
%	10.8	10.5	9.4	6.6	16.2	12.3	4.3	8.5	6.3	2.6	0.9	0.3	0.9	0.9	1.7	7.4	0.6	100.0

※滑川市1名、魚津市1名

①男女比(年度別全体比)



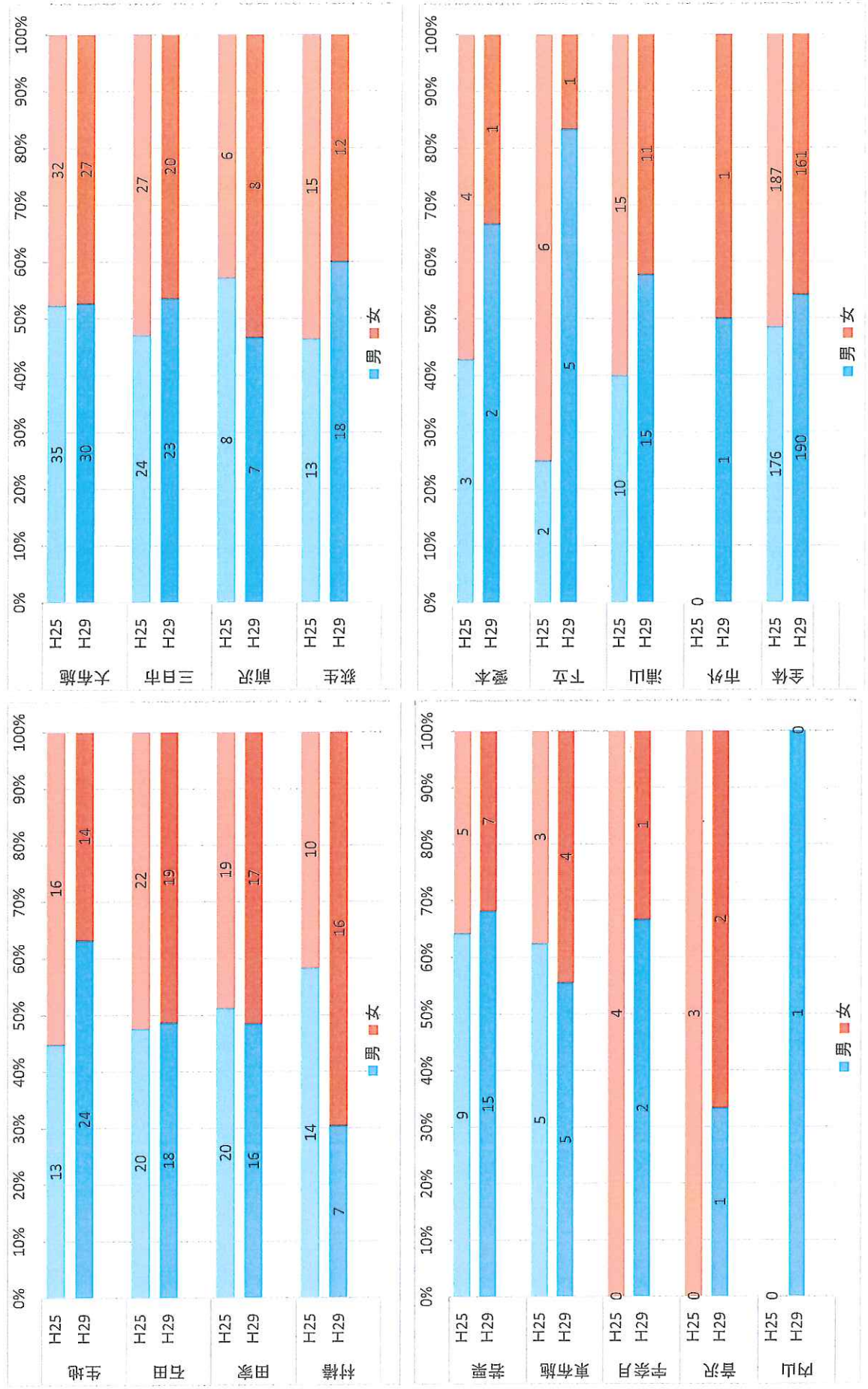
②地区別生徒数(年度別全体比)



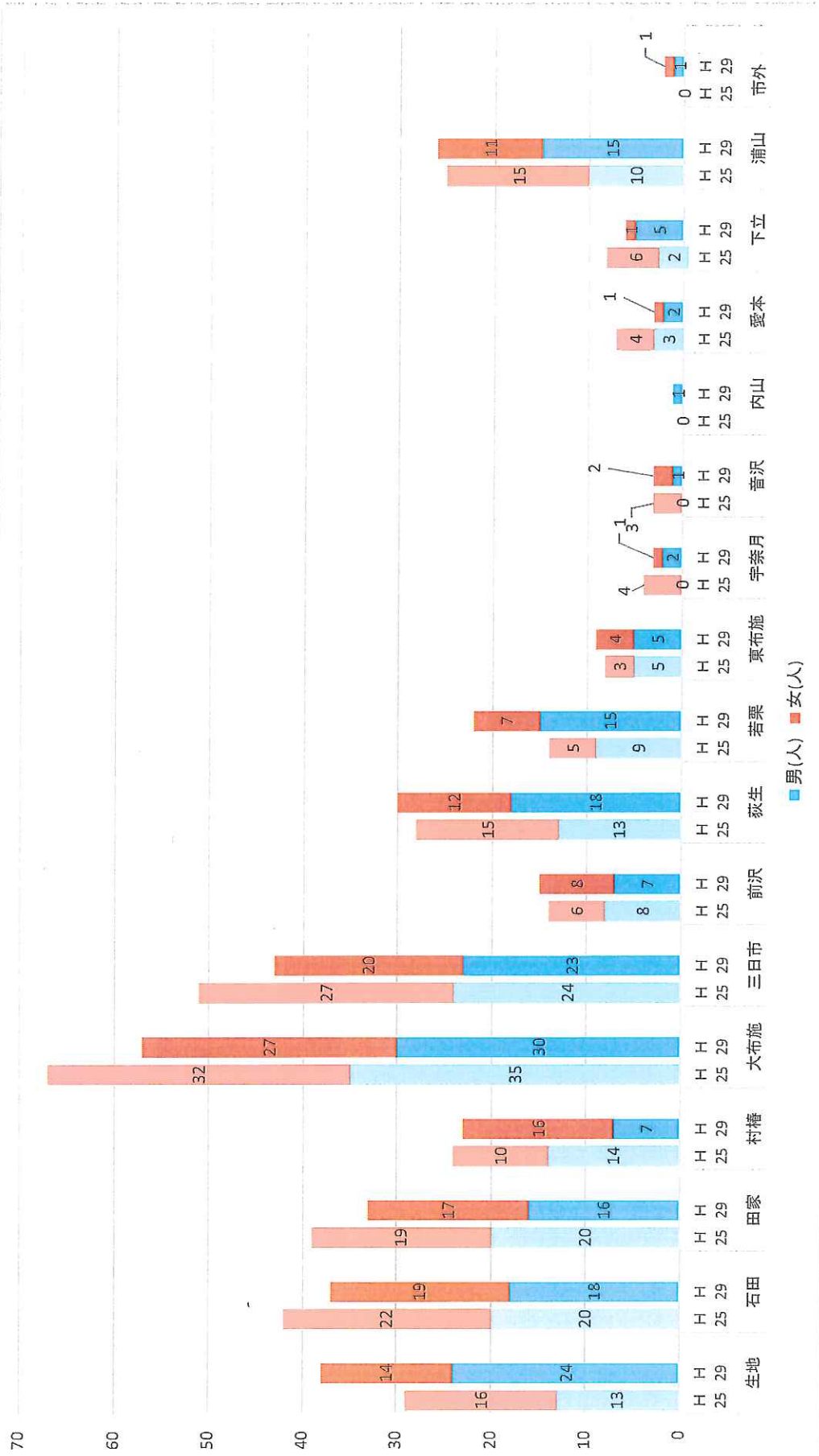
【参考】

	対象者数	有効回答者数	有効回答率
H25	374名	363名	97.1%
H29	359名	351名	97.8%

③地区別男女比(年度別比較)



④地区別生徒数(年度別比較)



2 地域生活について

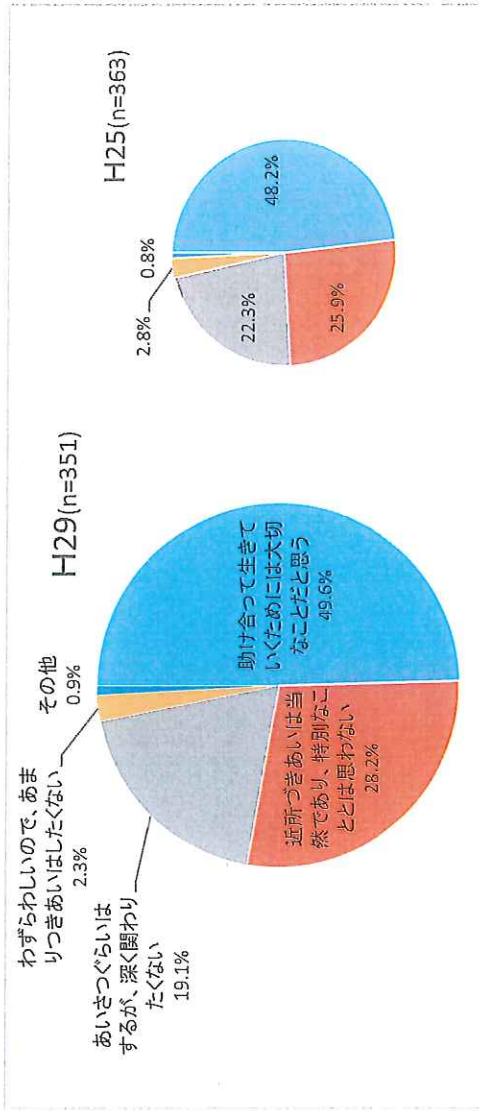
(1) 近所づきあいについて

地区名	生地	石田	田家	村樺	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外	計 (人)	%
助け合って生きていくためには大切なことだと思う	17	18	14	15	29	28	7	15	9	5	2	0	1	2	2	9	1	174	49.6
近所づきあいは当然であり、特別なことは思わない	11	12	10	2	13	7	5	12	8	2	1	1	2	0	3	10	0	99	28.2
あいさつぐらいはするが、深く関わりたくない	8	7	6	4	14	6	3	3	4	2	0	0	0	1	1	7	1	67	19.1
わずらわしいので、あまりきあいはしたくない	2	0	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.3
その他	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.9

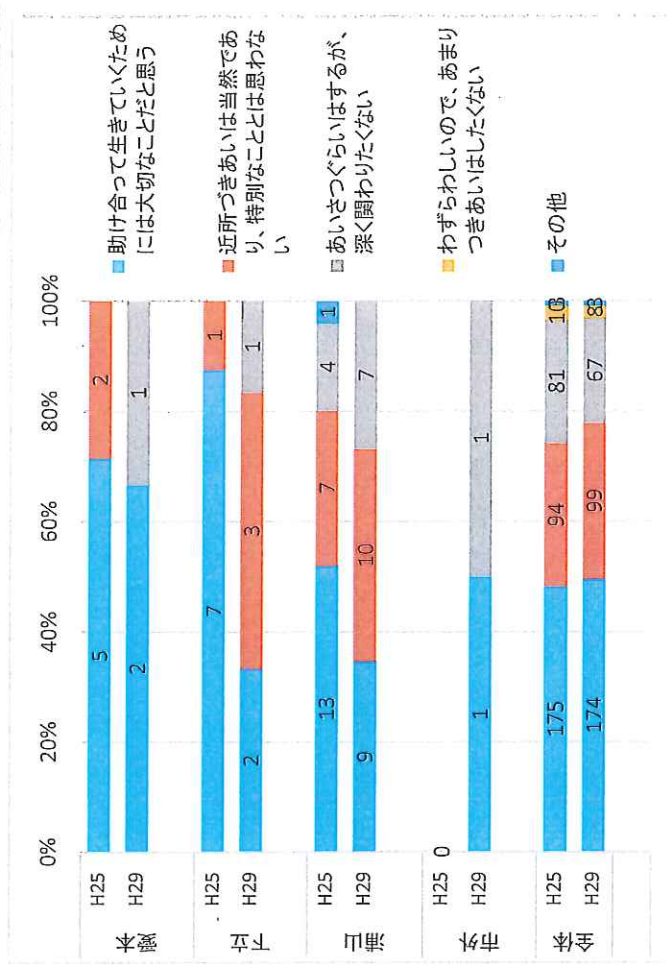
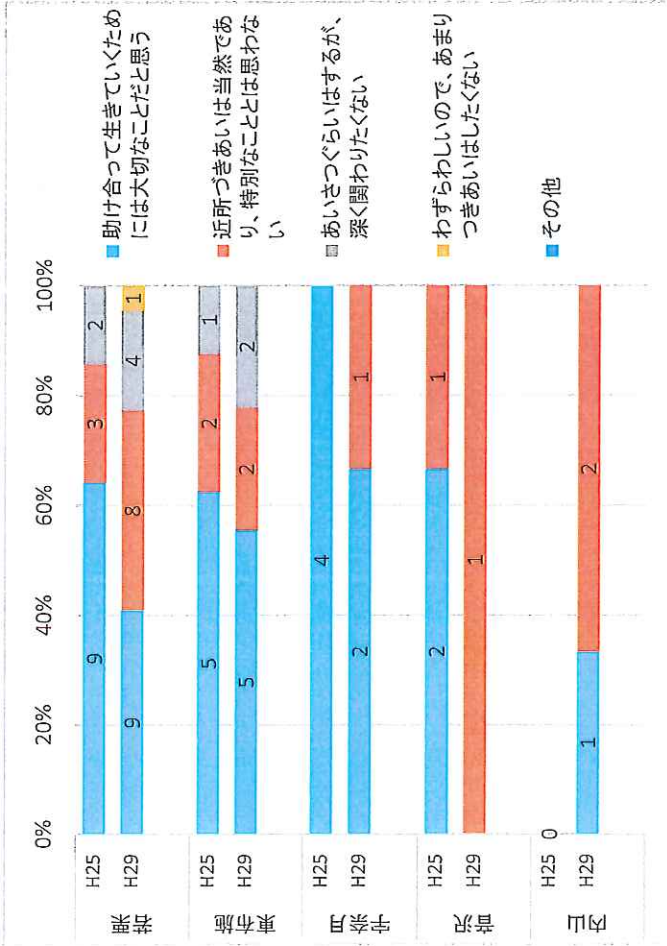
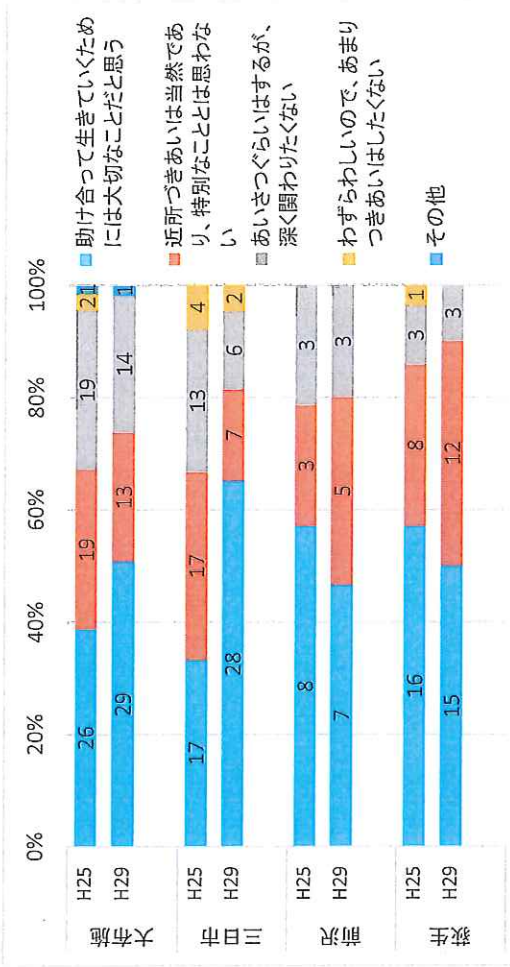
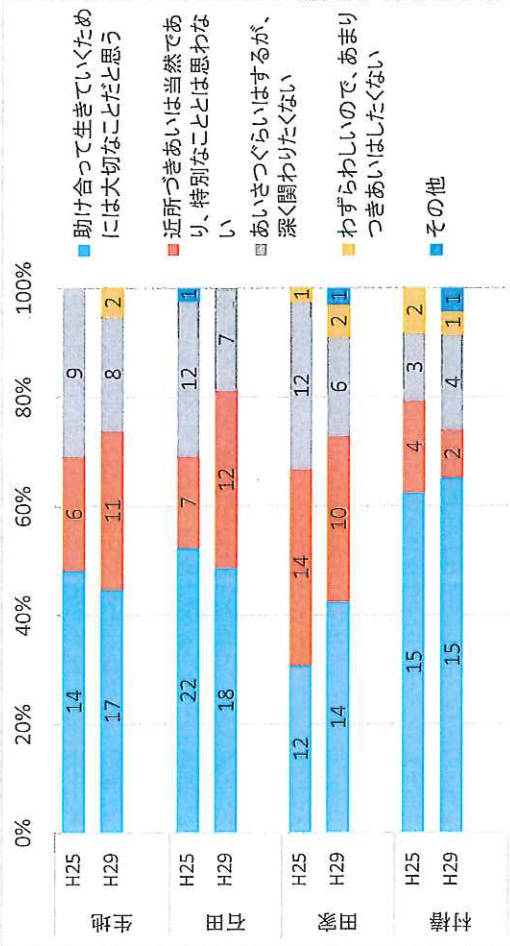
【その他】

- ・いびない
- ・面倒
- ・互いがより豊かに生活するためには大切だと思う。

① 近所づきあいについて(年度別全体比)



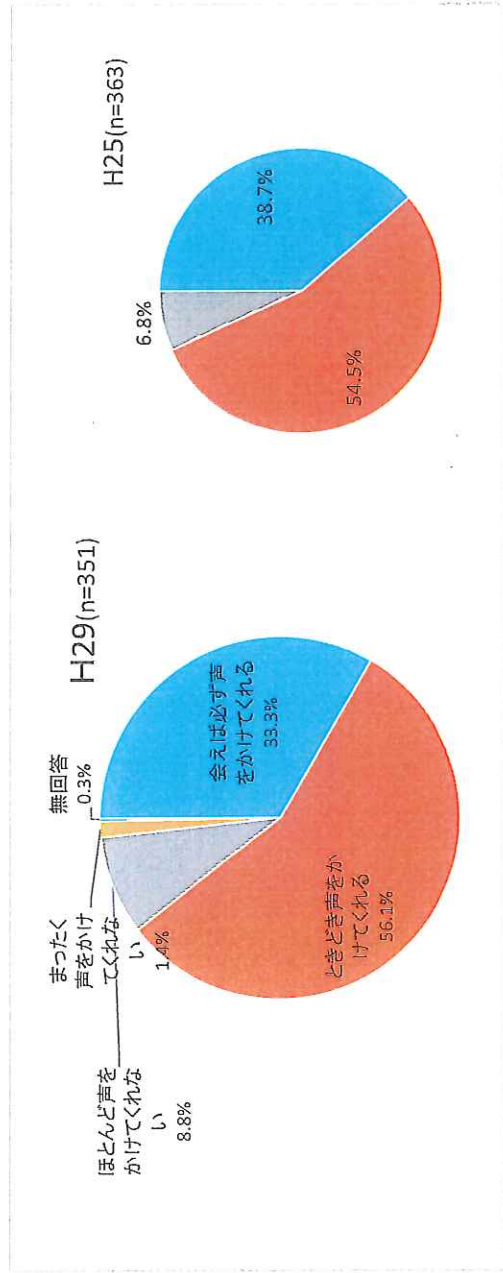
②近所つきあいについて(年度別比較)



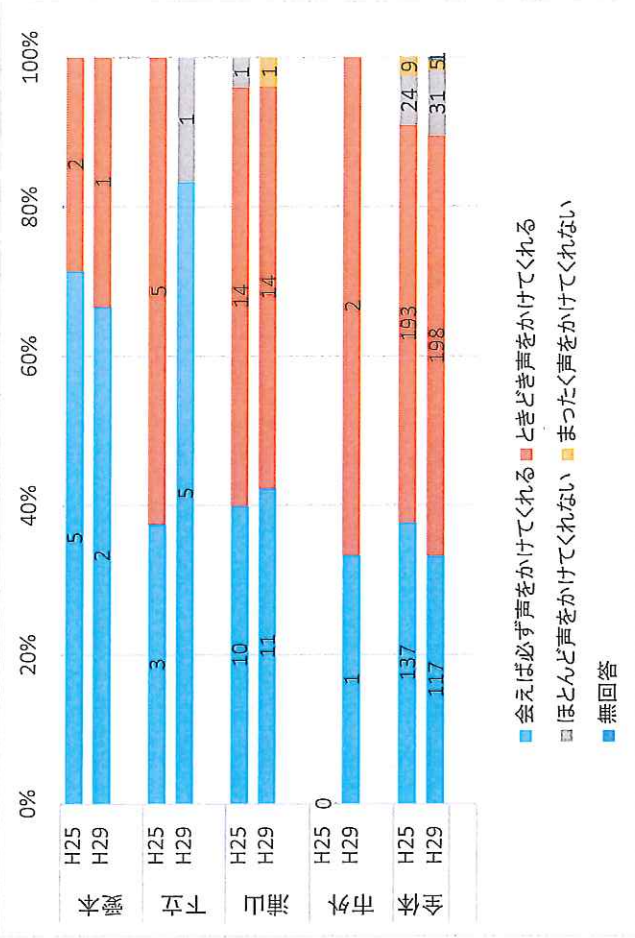
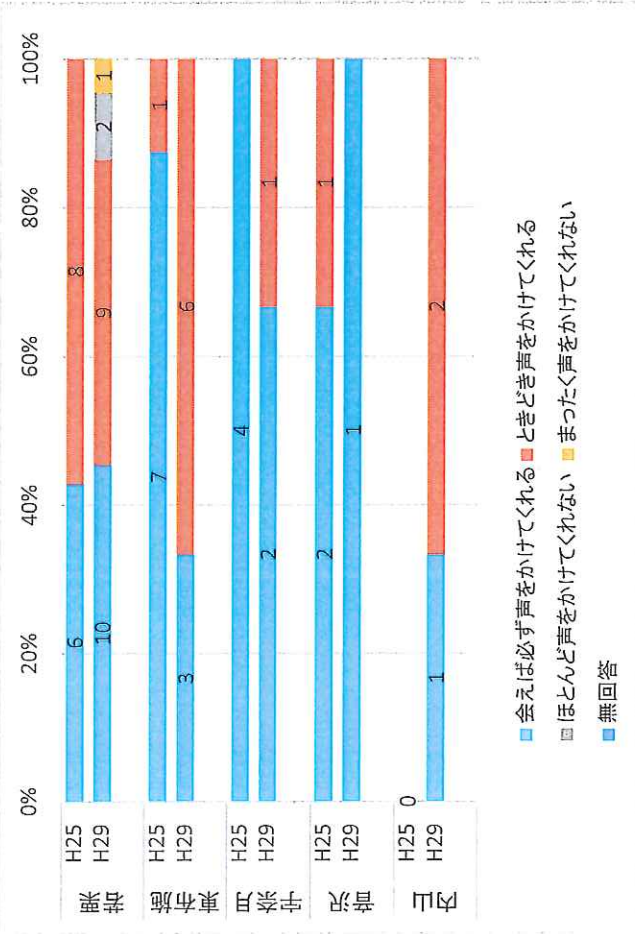
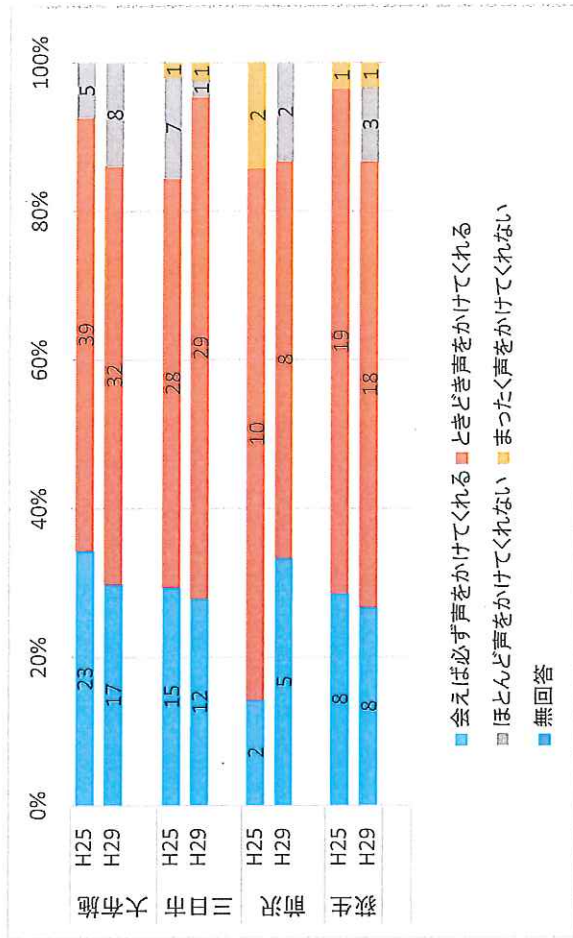
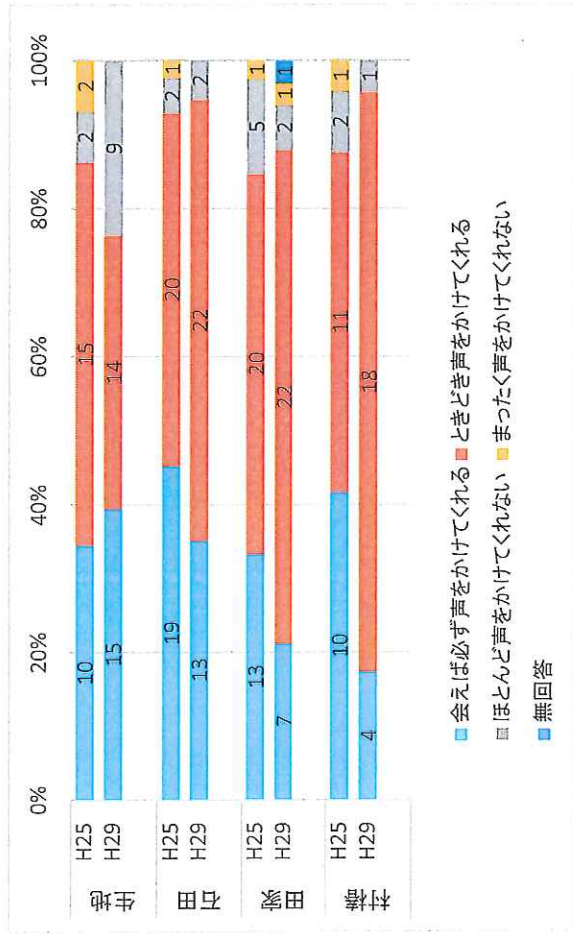
(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて

地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外	計(人)	%
会えば必ず声をかけてくれる	15	13	7	4	17	12	5	8	10	3	2	1	1	2	5	11	1	117	33.3
ときどき声をかけてくれる	14	22	22	18	32	29	8	18	9	6	1	0	2	1	0	14	1	197	56.1
ほとんど声をかけてくれない	9	2	2	1	8	1	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	31	8.8
まったく声をかけてくれない	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5	1.4
無回答	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3

① 近所の方々のあいさつや声かけについて(年度別全体比)



②近所の方々のあいさつや声かけについて(年度別比較)

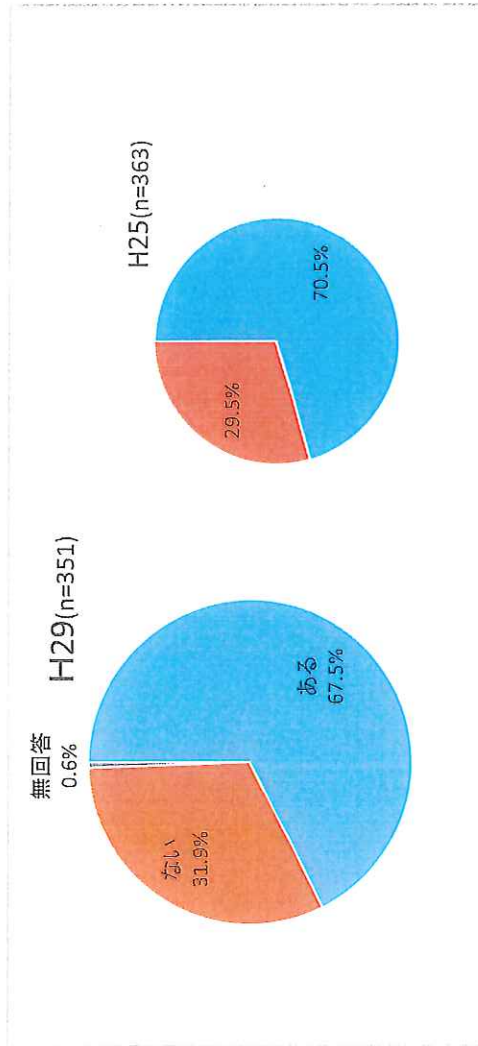


(3) 近所の方々への感謝について

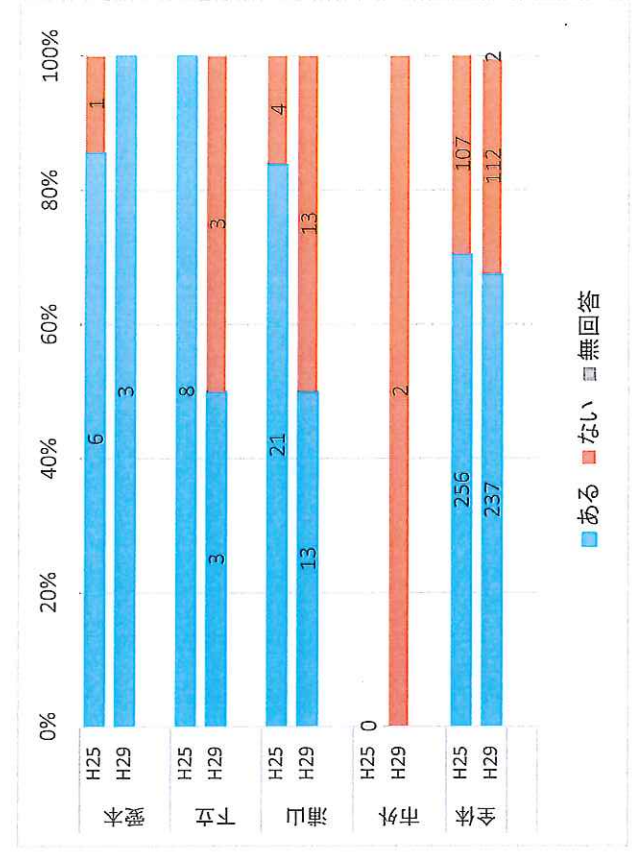
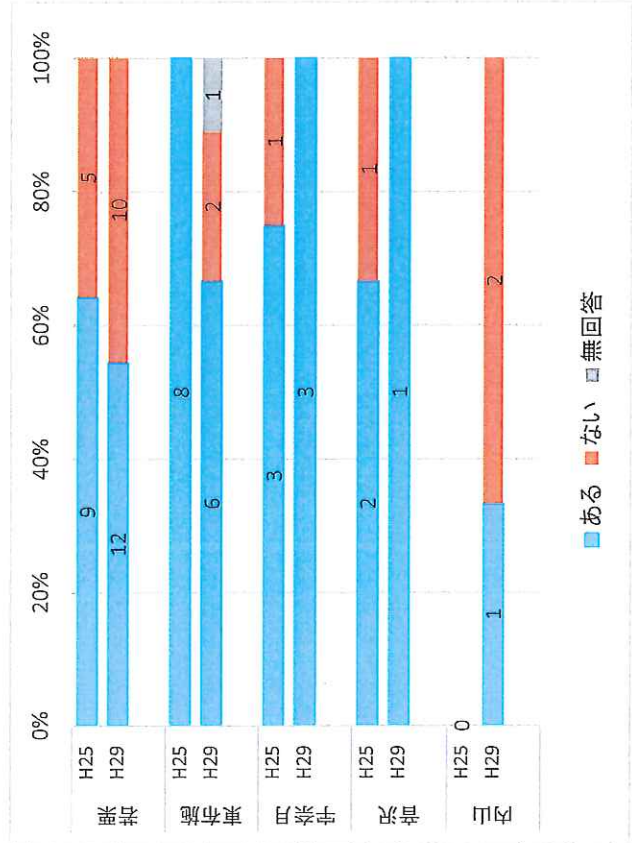
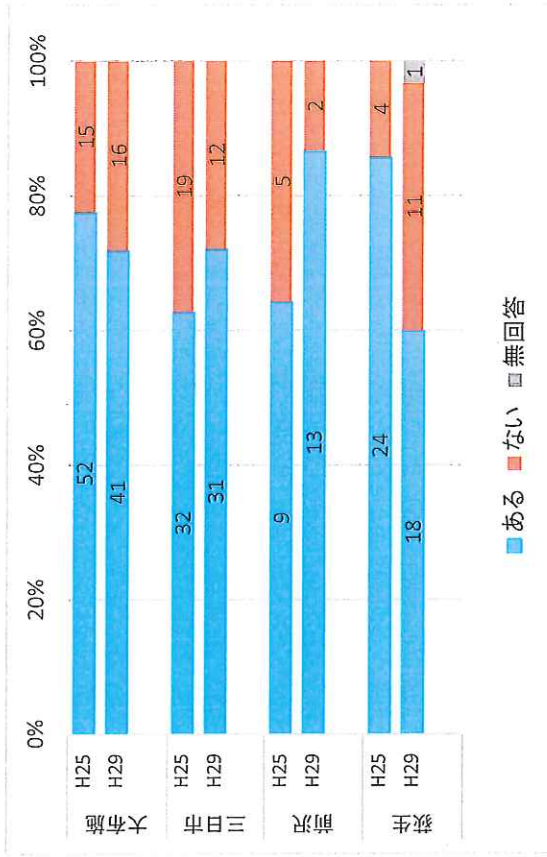
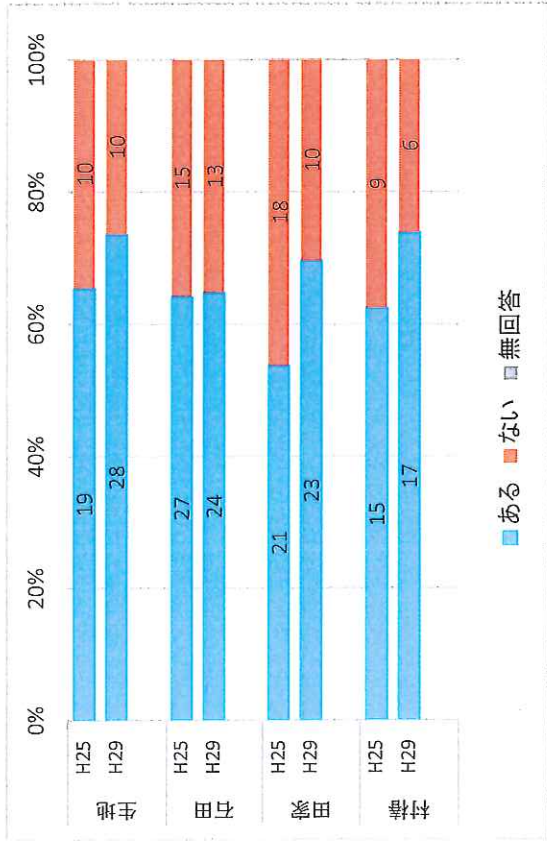
地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外	計(人)	%
ある	28	24	23	17	41	31	13	18	12	6	3	1	1	3	3	13	0	237	67.5
ない	10	13	10	6	16	12	2	11	10	2	0	0	2	0	3	13	2	112	31.9
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6

⇒(4)へ

① 近所の方々への感謝について(年度別全体比)



②近所の方々への感謝について(年度別比較)



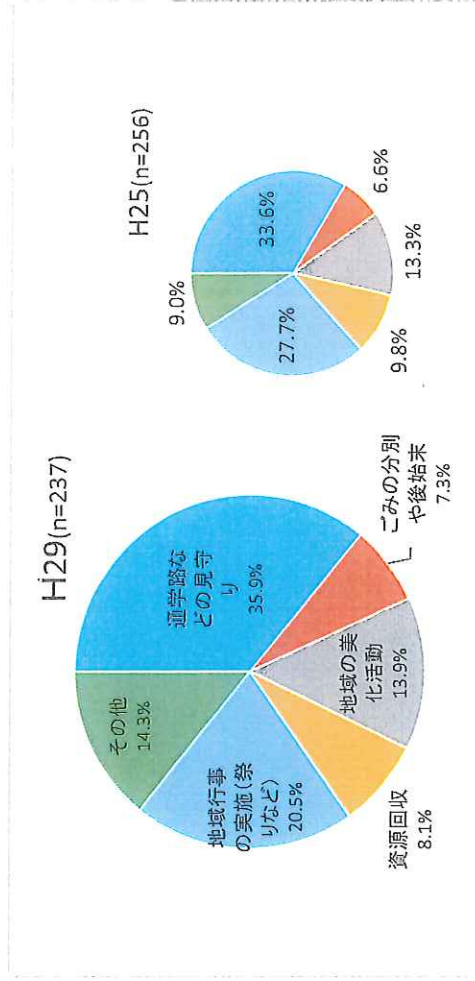
(4) 感謝の内容について

地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外	計(人)	%
通学路などの見守り	8	13	8	4	18	10	6	9	3	2	1	0	0	1	2	8	0	93	35.9
ごみの分別や後始末	1	1	2	2	3	5	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	19	7.3
地域の美化活動	1	1	10	1	7	5	3	3	2	1	0	0	0	1	0	1	0	36	13.9
資源回収	1	3	3	2	3	3	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	21	8.1
地域行事の実施(祭りなど)	6	5	0	4	8	11	3	5	3	2	1	1	0	1	1	2	0	53	20.5
その他	11	2	1	5	6	1	0	3	4	0	1	0	0	0	0	3	0	37	14.3

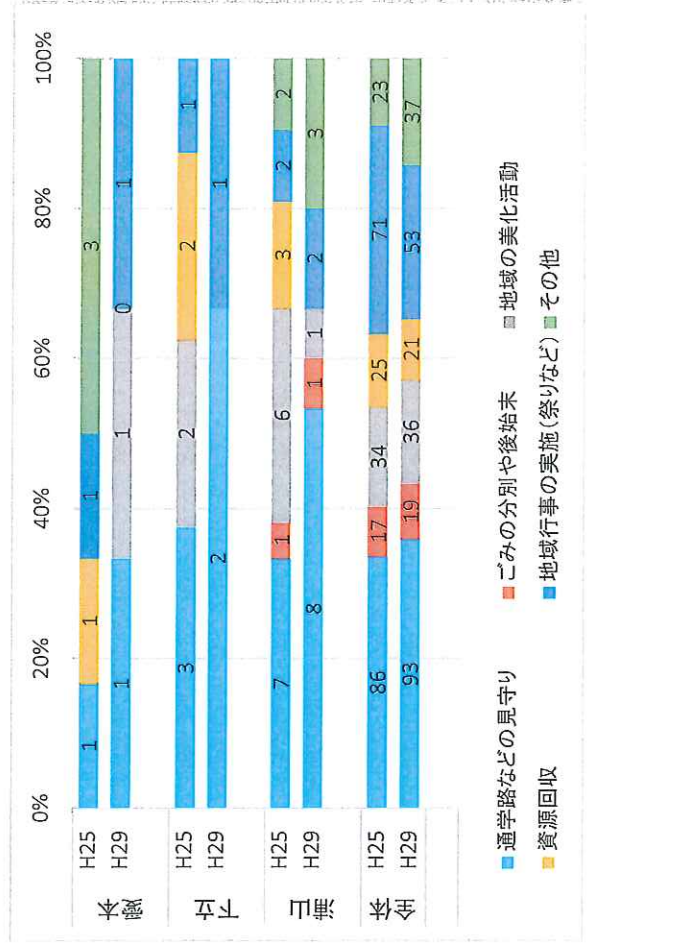
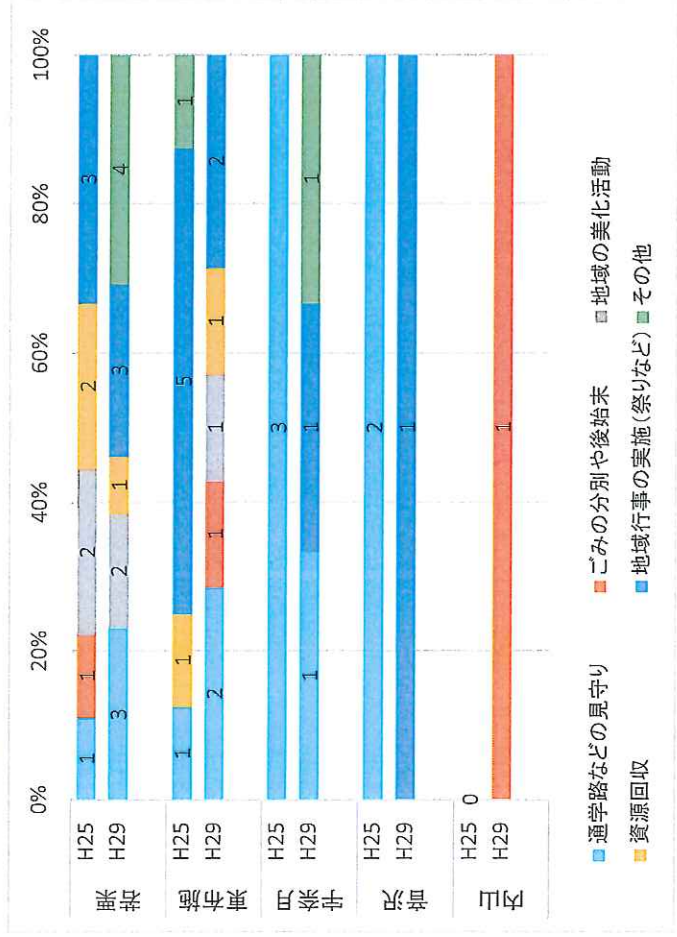
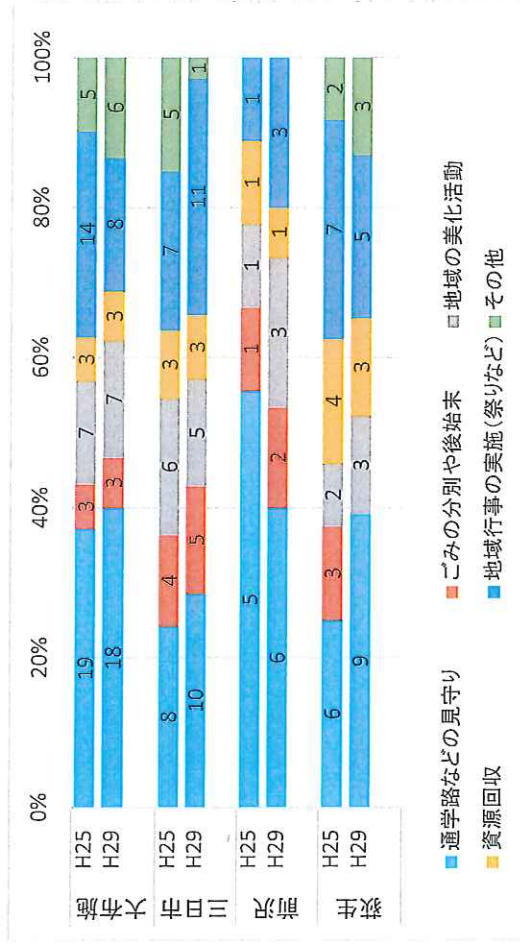
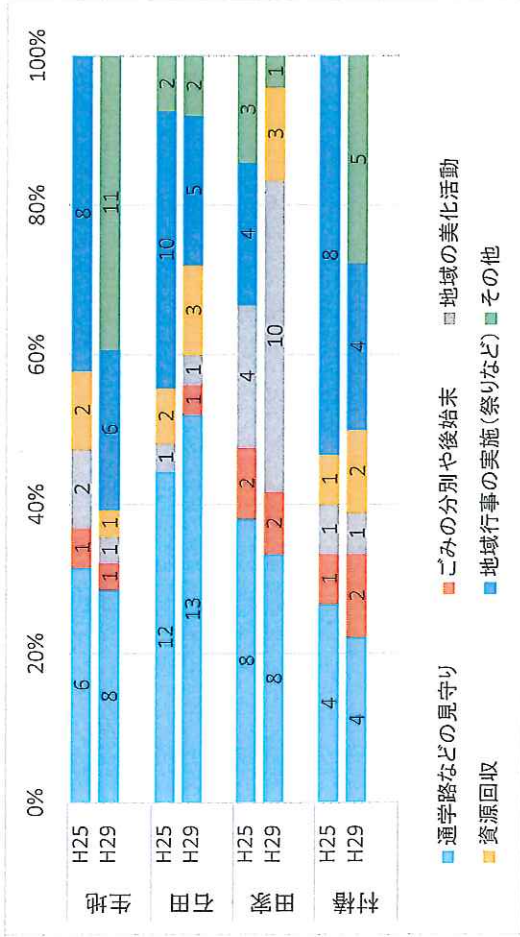
【その他】

- ・除雪をしてくれる(6名)
- ・草刈り(1名)
- ・野菜・果物をいただく(7名) ・お土産・菓子をいただく(3名)
- ・誕生日プレゼントをもらう(1名)
- ・おすそ分けをいただく(4名) ・色々いただく(3名)
- ・あいさつをしてくださる(2名)
- ・困っている時電話を貸してくれた(1名)
- ・家が閉まっていた時に近所の人が家に入れてくれた(1名)
- ・勉強や生活のことなど相談できる(1名)
- ・回覧板を渡しに行った時、話を聞いてくれる(1名)
- ・いつも仲良くさせていただいている(2名)
- ・家の隣の方(1名)

①感謝の内容について(年度別全体比)



②感謝の内容について(年度別比較)



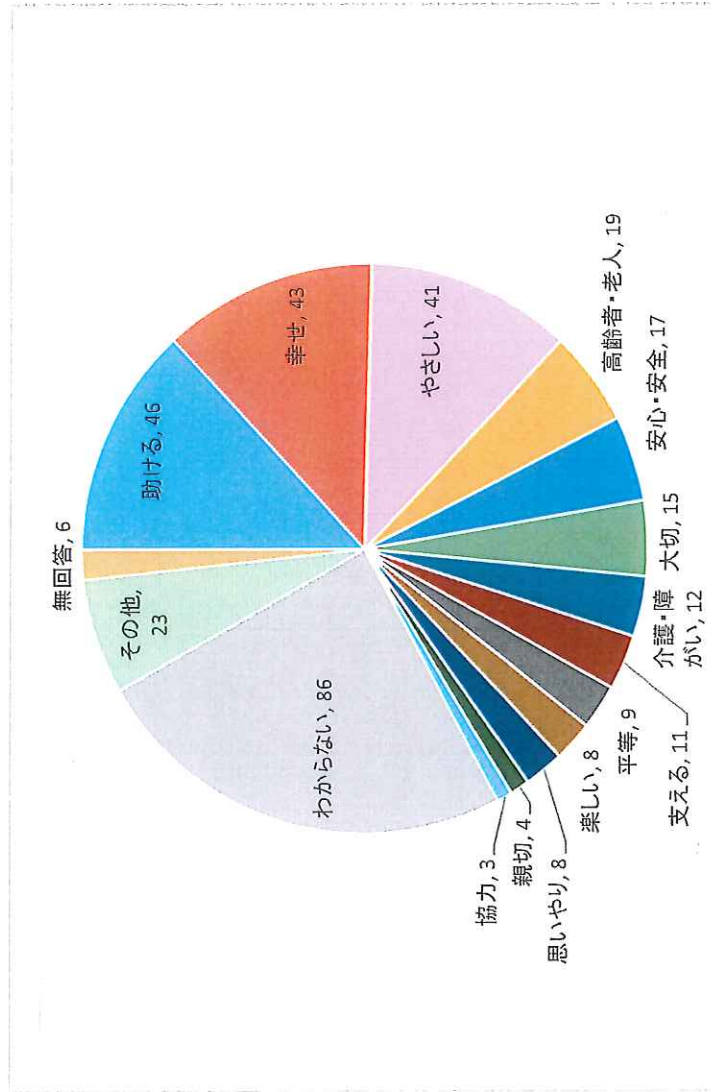
3 福祉体験実習について

(1) 福祉のイメージについて

※キーワードで区分し意見をとりまとめる。

キーワード	(人)
助ける	46
幸せ	43
やさしい	41
高齢者・老人	19
安心・安全	17
大切	15
介護・障がい	12
支える	11
平等	9
楽しい	8
思いやり	8
親切	4
協力	3
わからない	86
その他	23
無回答	6
全体	351

①福祉のイメージ(全体比)



②福祉のイメージについて(キーワード別)

助ける 46

- ・助け合い(10名)
- ・助け合う(9名)
- ・助ける(5名)
- ・援助
- ・救済
- ・国民の生活を手助け
- ・困っている人が助けてもらい、平等に暮らすためのもの
- ・困っている人を助ける
- ・互いに助け合うこと
- ・助け合いを大切にしている
- ・助け合いながら人と人との心を通わせる大切な役割を果たす
- ・助け合いを大切にしている
- ・助け合う暮らし
- ・助け合って生きる
- ・できる限りのサポート
- ・人助け
- ・人助け、人との関わり、思いやり
- ・人と人が助け合う
- ・人と人が助け合いより気持ちに相手をさせてあげること
- ・人々が助け合ったり幸せに暮らせる社会
- ・1人1人が助け合い笑顔になること
- ・人を助ける
- ・人を助ける、支え合う
- ・みんなが助け合う活動
- ・みんなの助け
- ・よく助け合っている

幸せ 43

- ・幸せな暮らし(10名)
- ・幸せ(4名)
- ・幸せなこと(4名)
- ・みんなが幸せ(3名)
- ・全ての人が幸せに暮らせる(2名)
- ・幸福
- ・幸せ、優しさ
- ・幸せな生活
- ・幸せになるためにすること
- ・社会がよりよく皆が幸せに生活すること
- ・世界の幸せ
- ・誰もが幸せに暮らすことができること
- ・誰もが幸せに暮らせるようにすること
- ・どんな人でも幸せに暮らすためのもの
- ・人を幸せにすること
- ・皆が平和で幸せな暮らしが出来る
- ・みんなが幸せだと思える環境
- ・みんなが幸せに生きる
- ・みんなが幸せに生きるためにすること
- ・みんなが幸せに暮らすこと
- ・みんなが幸せに暮らすためのもの
- ・みんなが幸せに暮らせること
- ・みんなが人権を大切に幸せに暮らせる社会
- ・みんなが互いに幸せに暮らせる
- ・みんなの幸せ

やさしい 41

- ・やさしい(27名)
- ・やさしさ(3名)
- ・人が共存して生きていく上で必要な優しい気配り
- ・みんなにやさしい
- ・やさしい、温かい感じ
- ・優しい暮らし
- ・やさしい幸せな暮らし
- ・やさしい社会
- ・やさしい町づくり
- ・やさしく看護してくれる
- ・やさしくて温かみがある
- ・温かい
- ・温かい暮らし

高齢者、老人 19

- ・高齢者 (2名)
- ・老人 (2名)
- ・お年寄りにやさしい世界
- ・お年寄りを助けること
- ・高齢者関係
- ・高齢者等を助けていくこと
- ・高齢者との関わり
- ・高齢者と老人ホーム
- ・高齢者の方々などを支える
- ・高齢者のためのもの
- ・高齢者への思いやり
- ・高齢者や障がい者を助けること
- ・高齢者を介護する
- ・高齢者を支えること
- ・老後にやさしい
- ・老人介護
- ・老人も幸せな暮らしをすることができること

安心・安全 17

- ・安心できる暮らし (2名)
- ・安全な暮らし (2名)
- ・安心 (2名)
- ・安心して暮らせる
- ・安心で安全な暮らし、役に立つ
- ・安全
- ・安全でやさしい暮らし
- ・安全に暮らせる
- ・誰もが安心して暮らせる
- ・人が安心して暮らせる環境
- ・人が安心できること
- ・みんなが安心、幸せな暮らし
- ・みんなが安心して暮らせること
- ・みんなが安全に暮らせる

大切 15

- ・大切 (4名)
- ・社会における大切なこと
- ・すばらしい 大切
- ・大切だと思ふ
- ・大切な一生
- ・大切なこと
- ・大切なもの
- ・とても大切なこと
- ・必要なもの
- ・人が生きていくために必要
- ・人にとって大切なもの
- ・難しいけど、大切なこと

介護・障がい 12

- ・介護 (3名)
- ・介護が必要な人や障がい者も安心して暮らせる町や物のこと
- ・介護すること
- ・介護ともいえる
- ・体の不自由な方のサポートをすること
- ・体の不自由な人を助けること
- ・障害
- ・障がいがある人や高齢者の人が平和に暮らすときに必要なこと
- ・障がいを持っている人にもよい
- ・不自由な人を助けている

支える 11

- ・支え合う (4名)
- ・ある人を支える
- ・お手伝い
- ・支え合い
- ・支え合って暮らしていくこと
- ・人が支え合う
- ・人と人との支え合い
- ・人の手伝い

平等

9

- どんな人にも平等に接すること
- 平等
- 平等な暮らし
- 平等にする
- みんな平等
- 誰もが暮らしやすいこと(2名)
- 誰もが不自由なく生きること
- 誰もが不自由なく暮らせる

思いやり

8

- 思いやり(5名)
- 思いやりをもって生活すること
- 人が思い合っていてできる形
- 人の為を思う

親切

4

- 親切(2名)
- 親切心
- 親切にする

協力

3

- 協力
- 協力しあうこと
- 協力しながら過ごすこと

楽しい

8

- 楽しい
- 楽しい暮らし
- 楽しく過ごすこと
- 誰もが楽しく暮らすためのこと
- 皆が笑って過ごせる楽しい暮らし
- みんなが楽しく生きていくために大切なこと
- みんなが楽しく過ごすこと
- みんなが楽しく平和に暮らせる環境

わからない・難しい

36

- わからない(32名)
- よくわからない(15名)
- 難しくてわからない(30名)
- 難しい(2名)
- あまりわからからない
- 知らない
- 何それおいしいの？
- 福祉の意味がわからない
- 全くわからない
- よく聞くけど？？
- わからない、言葉すら知らない

その他

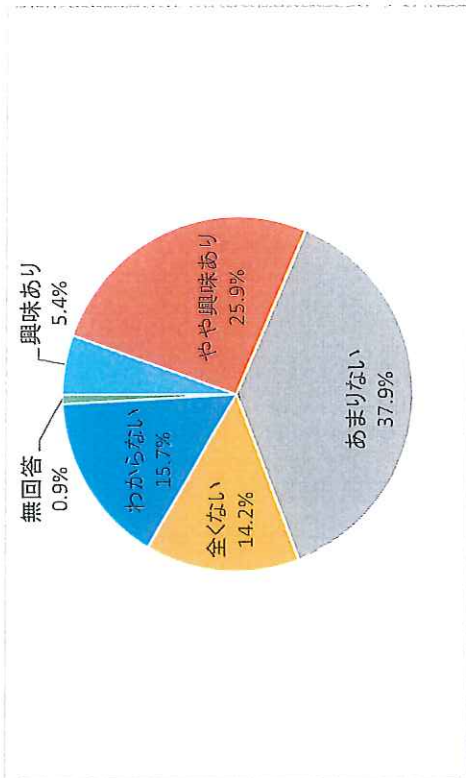
28

- 大変(3名)
- 人生(2名)
- いいこと
- いろんな人とのつき合い
- 感謝の気持ち
- 気持ちが大変
- 子育て
- 地元の良さ
- 人権を守るもの
- 過ごしやすい生活
- 全員が心地よく生活をする
- 誰にでもできる
- できればやりたくない物
- どうでもいい
- 仲の良い暮らし
- 人と関わっていくこと
- ボランティア
- みんな生きられる
- みんなのために
- 豊かな生活

(2) 福祉に対する興味について

	回答(人)	%
興味あり	19	5.4
やや興味あり	91	25.9
あまりない	133	37.9
全くない	50	14.2
わからない	55	15.7
無回答	3	0.9
全体	351	100.0

福祉に対する興味について(全体比)

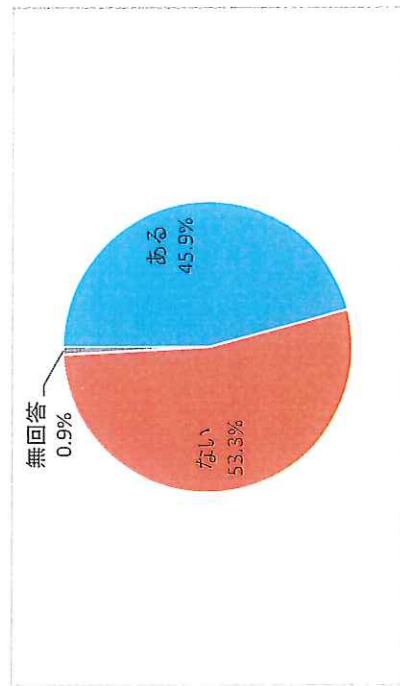


(3) 福祉体験実習の受講について

	回答(人)	%
ある	161	45.9
ない	187	53.3
無回答	3	0.9
全体	351	100.0

⇒(4)、(5)へ

福祉体験実習の受講について(全体比)

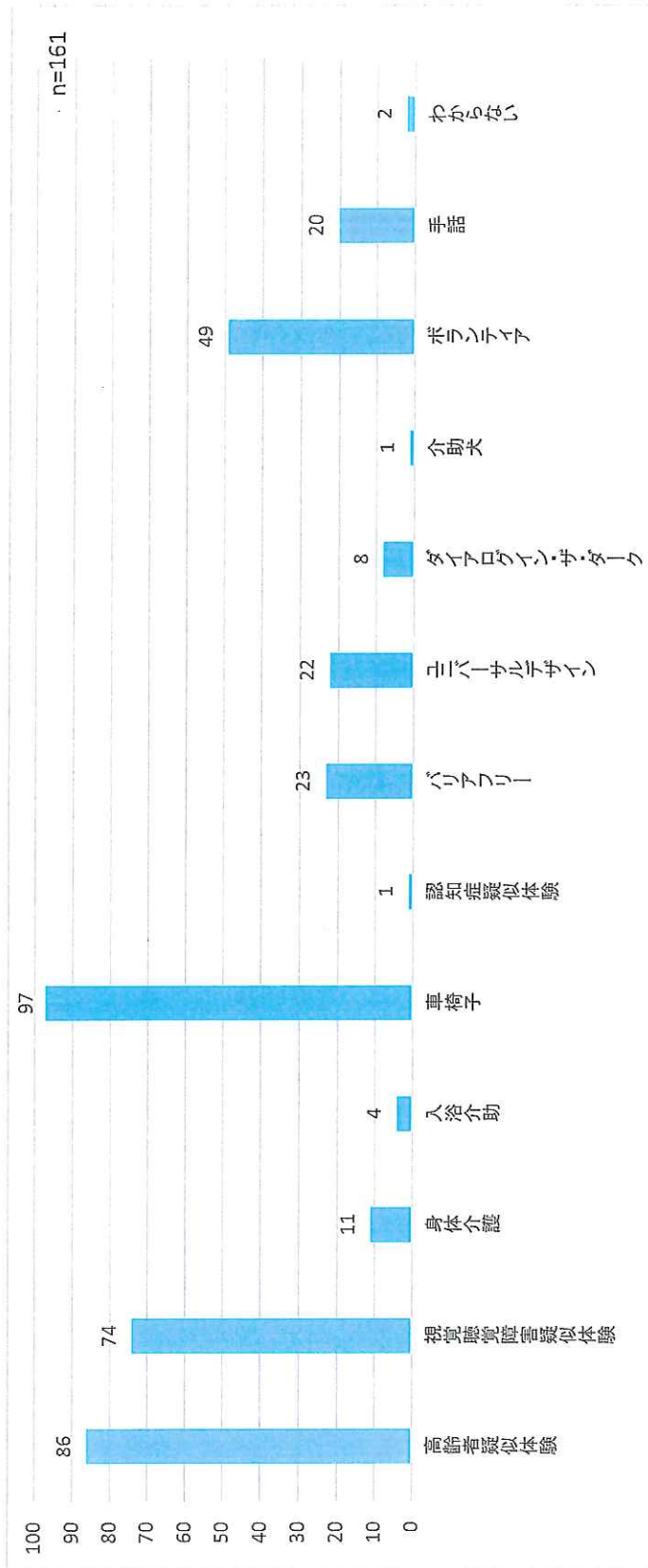


(4)福祉体験実習の受講内容について

体験した項目	高齢者疑似体験	視覚聴覚障害疑似体験	身体介護	入浴介助	車椅子	認知症疑似体験	バリアフリー	ユニバーサルデザイン	ダイロギン・サ・ダール	介助犬	ボランティア	手話	わからない
票数	86	74	11	4	97	1	23	22	8	1	49	20	2

【その他】

- ・点字を打つ(2名)
- ・14歳の挑戦
- ・認知症介護体験
- ・覚えていない



(5) 福祉体験実習受講後の変化について

	回答(人)	%
役に立った	15	9.3
意識が変わった	90	55.9
自信をもつことができた	4	2.5
役立つ機会がない	28	17.4
特に何も変わらなかった	22	13.7
その他	2	1.2
全体	161	100.0

【その他】

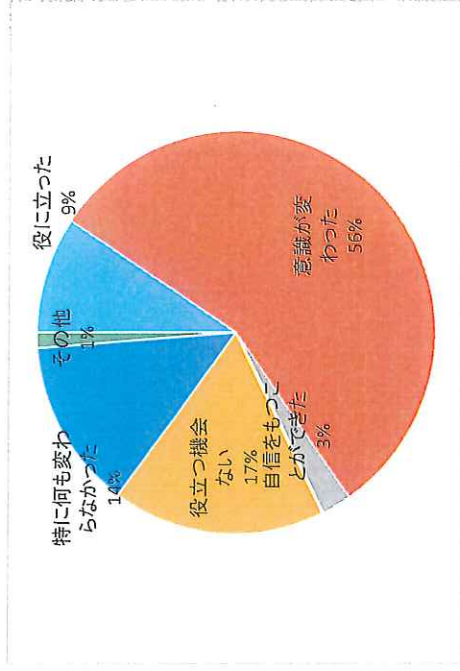
- ・障がい者の方の気持ちがあった。
- ・生活が不自由な人のためにもっと役立てられる人になりたいと思った。

(6) 福祉体験実習の受講希望について

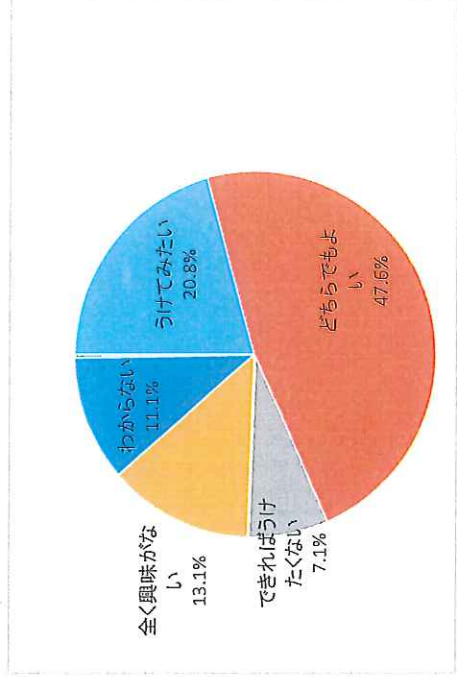
	回答(人)	%
うけてみたい	73	20.8
どちらでもよい	167	47.6
できればうけたくない	25	7.1
全く興味がない	46	13.1
わからない	39	11.1
無回答	1	0.3
全体	351	100.0

⇒(7)へ

福祉体験実習受講後の変化について(全体比)

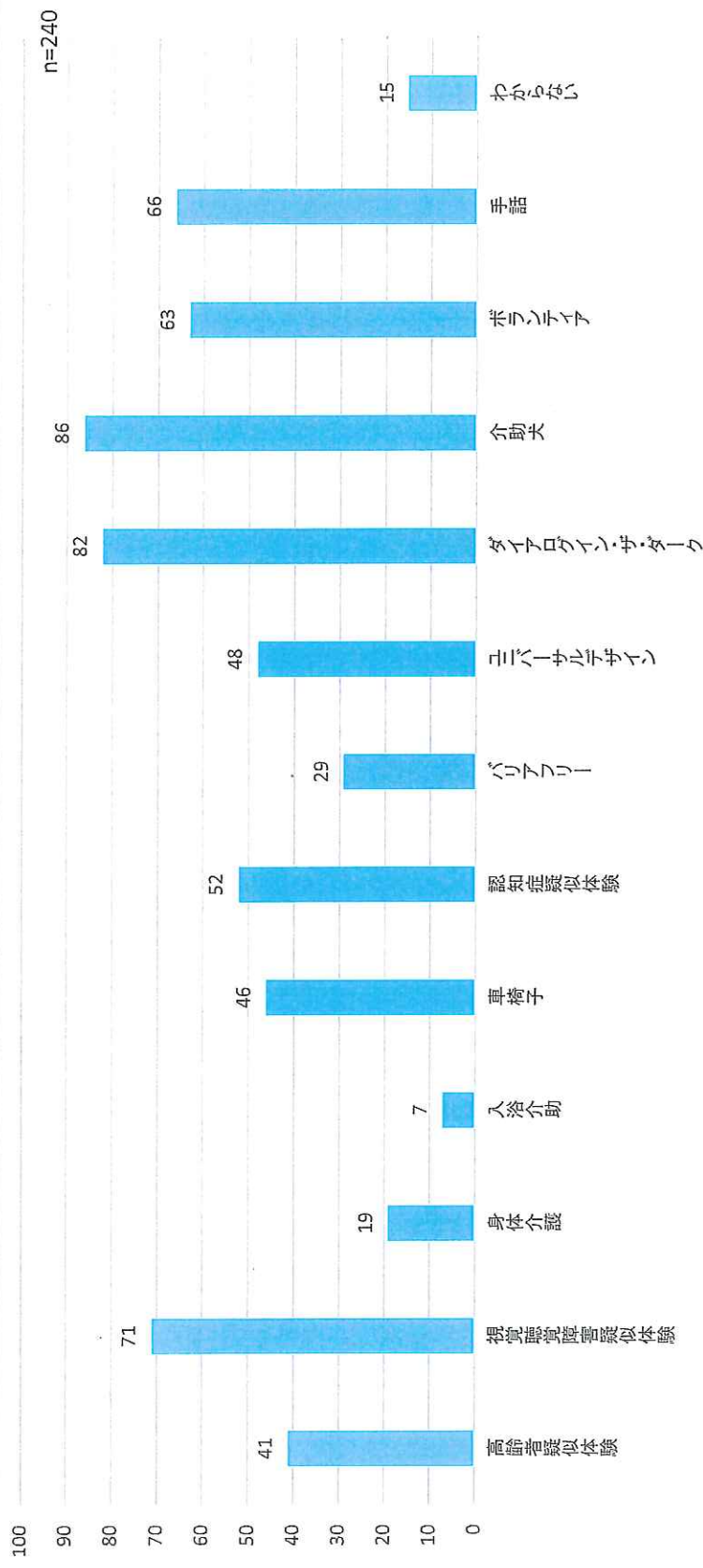


福祉体験実習の受講希望について(全体比)



(7)福祉体験美習の受講希望内容について

体験したい項目	高齢者疑似体験	視覚聴覚障害疑似体験	身体介護	入浴介助	車椅子	認知症疑似体験	バリアフリー	ユニバーサルデザイン	ダイアログイン・サ・ダーク	介助犬	ポランティア	手話	わからない
票数	41	71	19	7	46	52	29	48	82	86	63	66	15

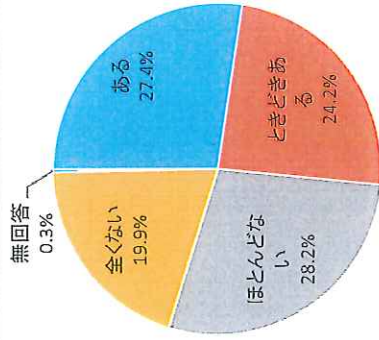


(8) 日々の生活環境について

高齢者、介護者、障がい者と関わる機会	回答(人)	%
ある	96	27.4
ときどきある	85	24.2
ほとんどない	99	28.2
全くない	70	19.9
無回答	1	0.3
全体	351	100.0

⇒ (9)へ

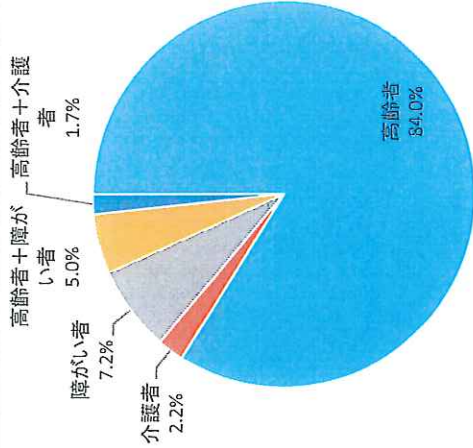
日々の生活環境について(全体比)



(9) 日々の生活で関わることのある人について

対象となる方	回答(人)	%
高齢者	152	84.0
介護者	4	2.2
障がい者	13	7.2
高齢者+障がい者	9	5.0
高齢者+介護者	3	1.7
全体	181	100.0

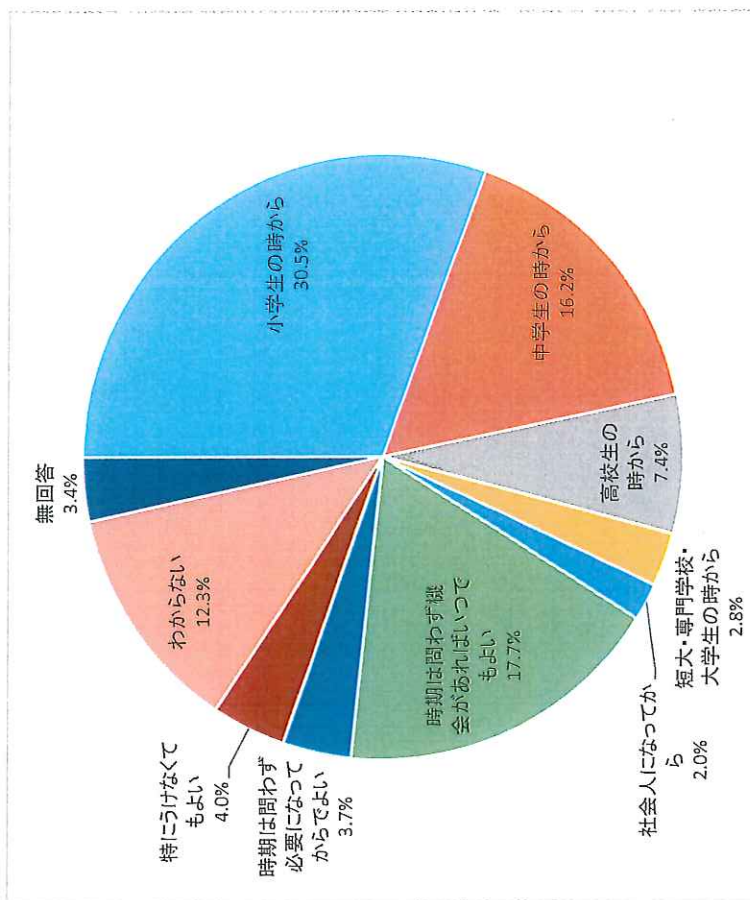
日々の生活で関わることのある人について(全体比)



(10) 福祉体験実習の受講時期について

	回答(人)	%
小学生の時から	107	30.5
中学生の時から	57	16.2
高校生の時から	26	7.4
短大・専門学校・大学生の時から	10	2.8
社会人になってから	7	2.0
時期は問わず機会があればいつでもよい	62	17.7
時期は問わず必要になってからでよい	13	3.7
特にうけなくてもよい	14	4.0
わからない	43	12.3
その他	0	0.0
無回答	12	3.4
全体	351	100.0

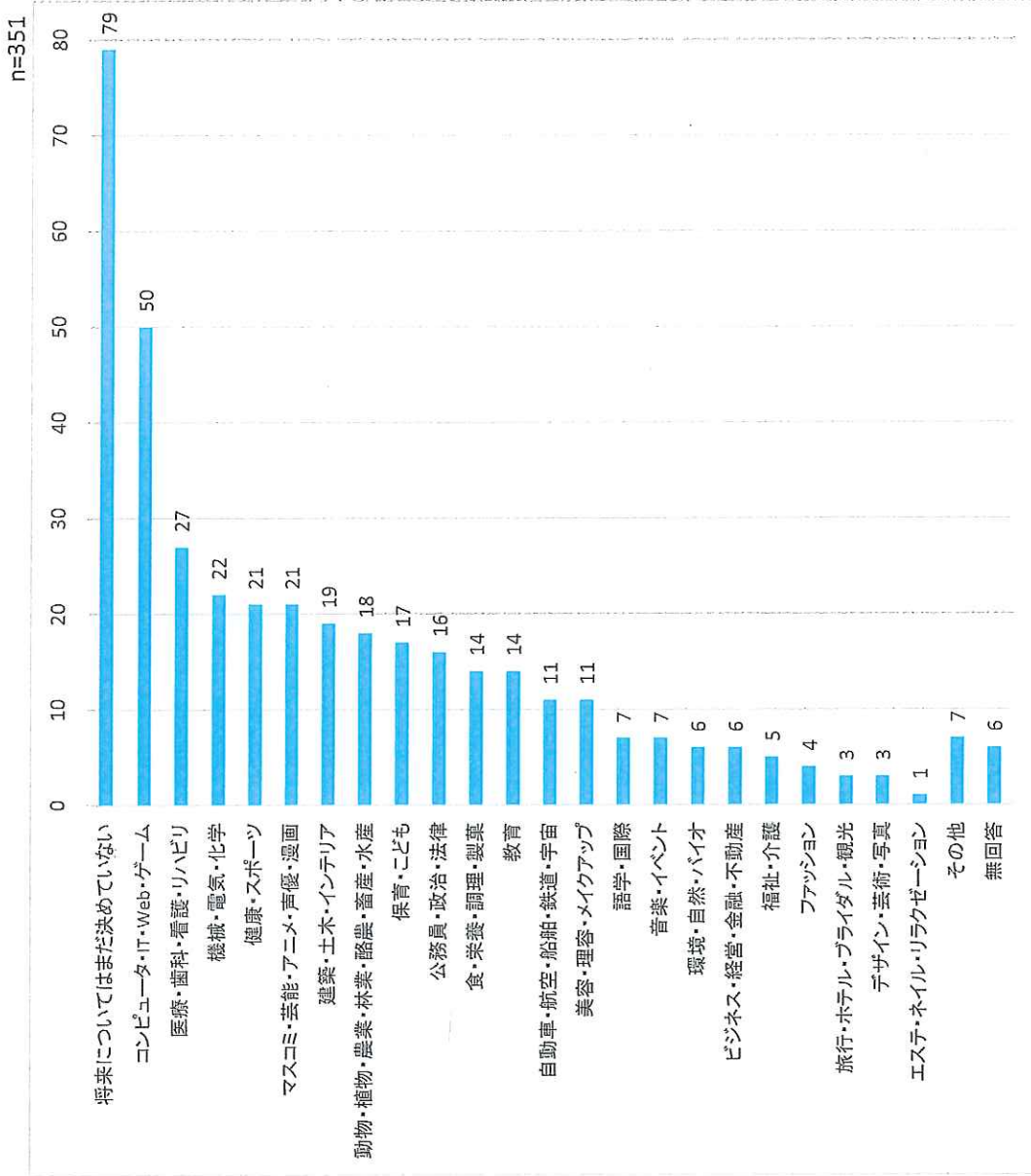
福祉体験実習の受講時期について(全体比)



4 将来について

(1) 興味のある職種について

職種名	票数
将来についてはまだ決めていない	79
コンピュータ・IT・Web・ゲーム	50
医療・歯科・看護・リハビリ	27
機械・電気・化学	22
健康・スポーツ	21
マスコミ・芸能・アニメ・声優・漫画	21
建築・土木・インテリア	19
動物・植物・農業・林業・酪農・畜産・水産	18
保育・子ども	17
公務員・政治・法律	16
食・栄養・調理・製菓	14
教育	14
自動車・航空・船舶・鉄道・宇宙	11
美容・理容・メイクアップ	11
語学・国際	7
音楽・イベント	7
環境・自然・バイオ	6
ビジネス・経営・金融・不動産	6
福祉・介護	5
ファッション	4
旅行・ホテル・ブライダル・観光	3
デザイン・芸術・写真	3
エステ・ネイル・リラクゼーション	1
その他	7
無回答	6



【その他】

消防・救急、寺院、舞台人、ゲームクリエイター、YouTuber、I〜23すべて、悩んでいる(迷っている)

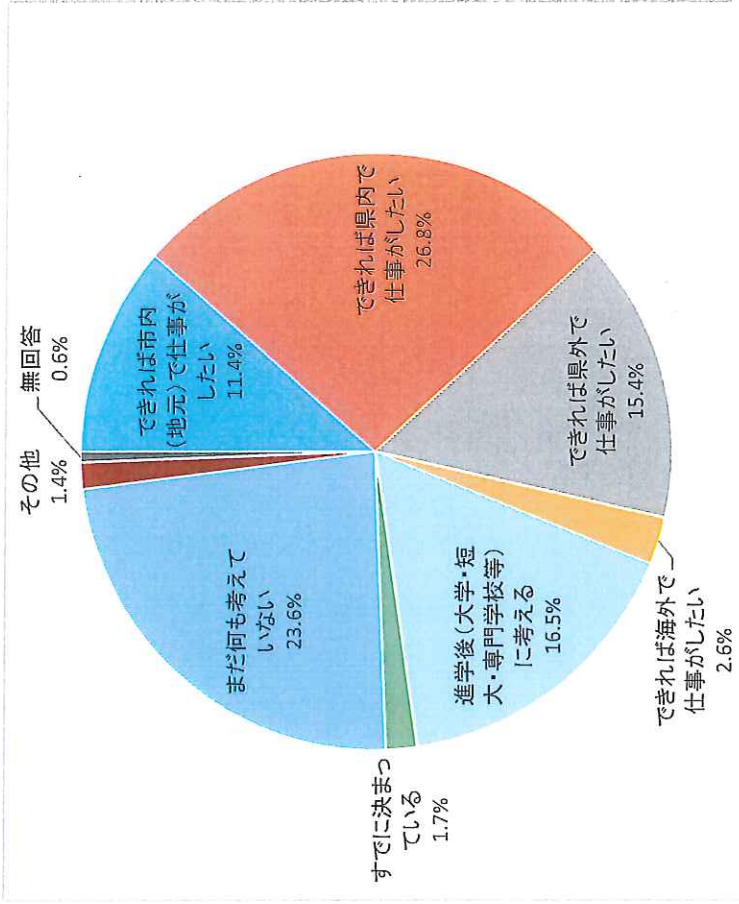
(2) 将来の仕事について

	回答(人)	%
できれば市内(地元)で仕事がしたい	40	11.4
できれば県内で仕事がしたい	94	26.8
できれば県外で仕事がしたい	54	15.4
できれば海外で仕事がしたい	9	2.6
進学後(大学・短大・専門学校等)に考える	58	16.5
すでに決まっている	6	1.7
まだ何も考えていない	83	23.6
その他	5	1.4
無回答	2	0.6
全体	351	100.0

【その他】

- ・1～7全て
- ・2か3のどちらか
- ・Uターン就職
- ・スポーツ選手
- ・やりがいのある職に就きたい。

将来の仕事について(全体比)



(3) 居住希望について

地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市外	計 (人)	%
ずっと住みたい	9	8	10	3	10	10	3	2	3	2	0	0	1	0	1	3	0	65	18.5
一度は地元を出たいが、将来は帰ってきたい	13	14	9	9	26	14	8	20	10	4	1	0	1	1	2	11	1	144	41.0
住みたくない	2	3	3	2	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	25	7.1
どちらともいえない	14	11	11	9	14	15	4	3	9	3	1	1	1	1	2	10	1	110	31.3
その他	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1.1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0.9

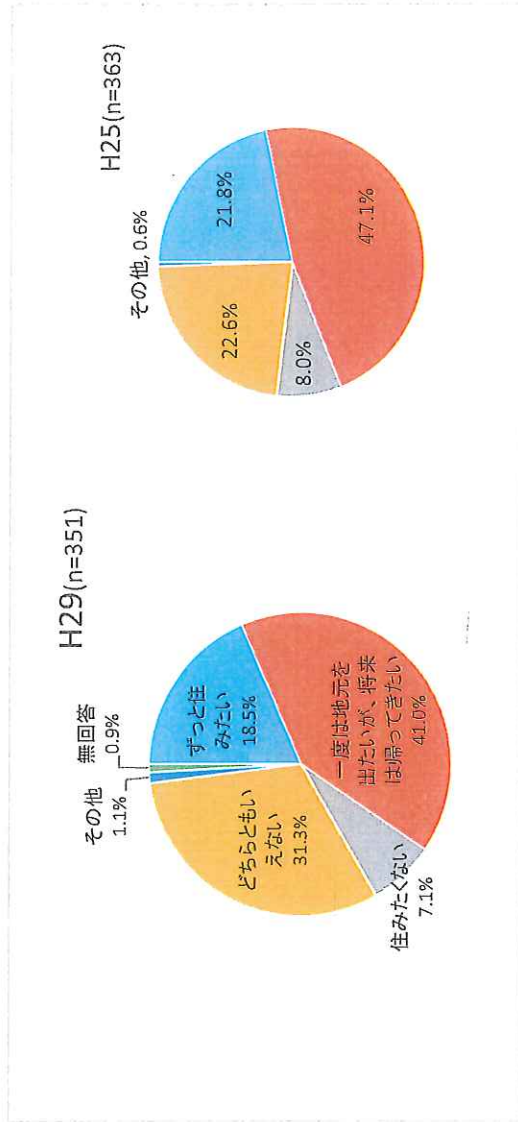
⇒(4)へ

⇒(5)へ

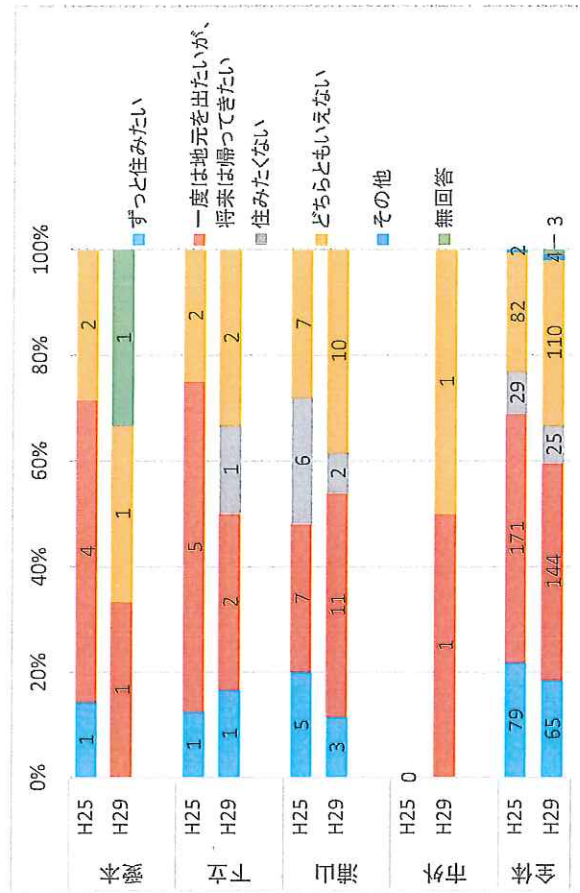
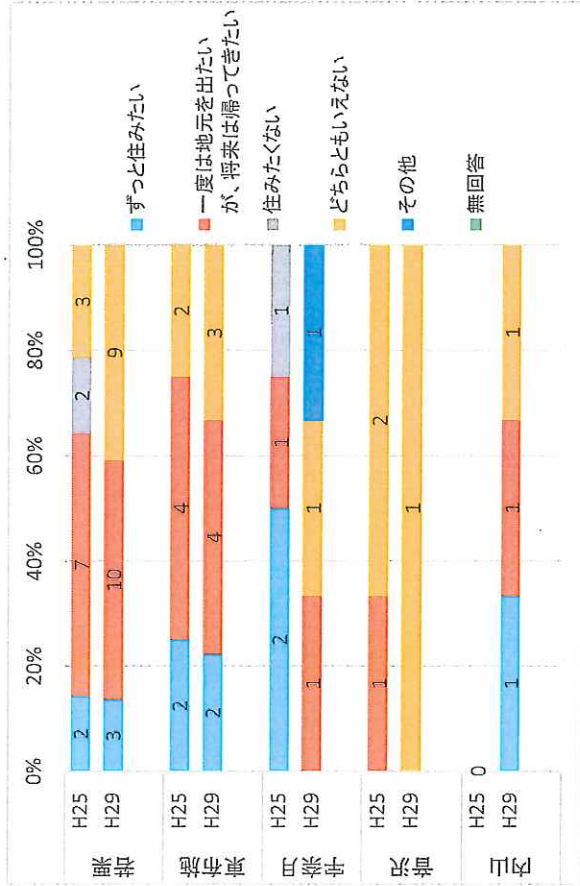
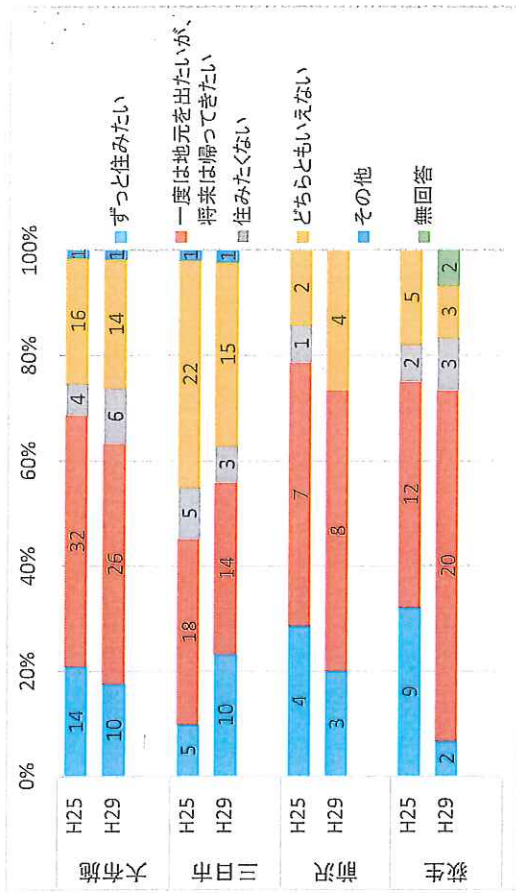
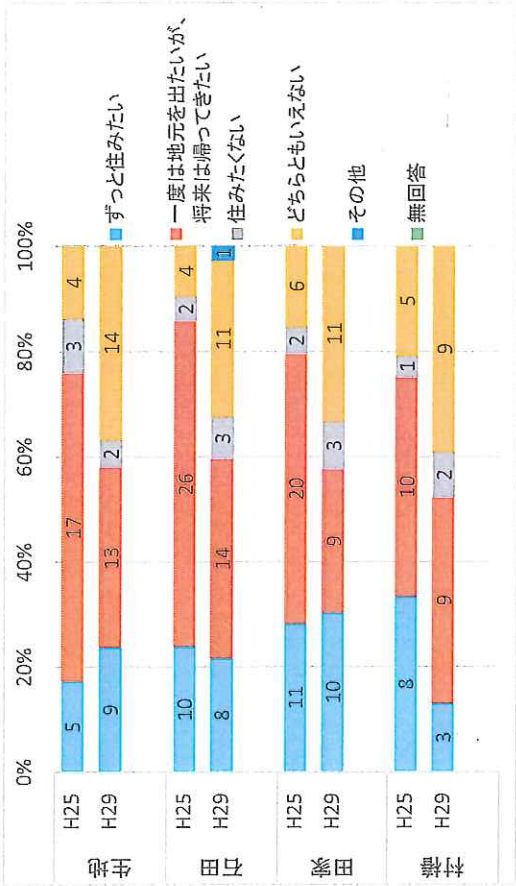
【その他】

- ・地元や少し離れた所(新川地区)
- ・将来は地元を出たい
- ・どっちでもいい
- ・まだ考えていない

①居住希望について(年度別全体比)



② 居住希望について(年度別比較)



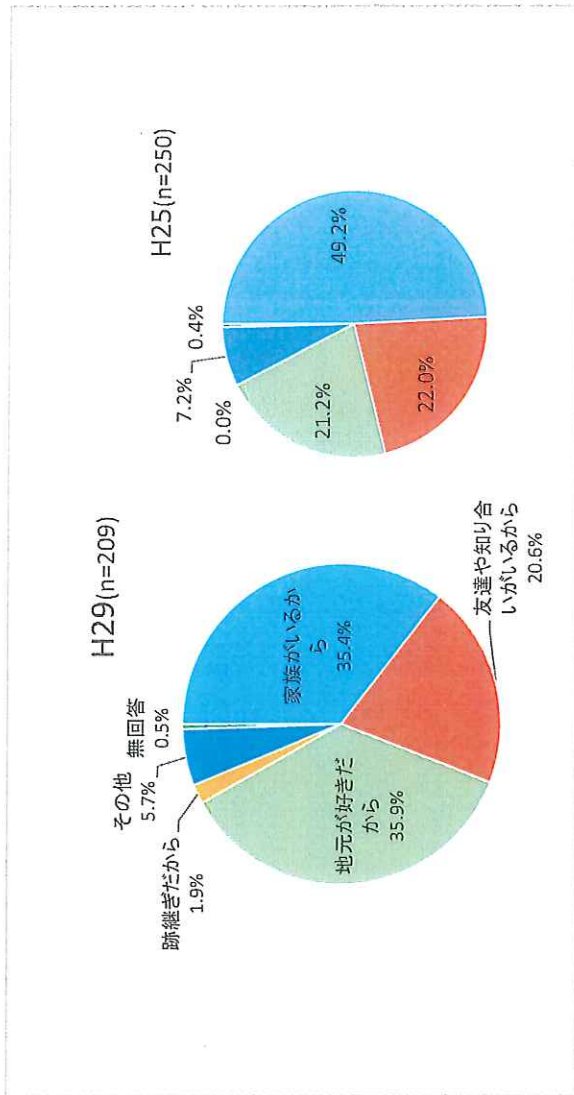
(4) 居住希望者の理由について

	回答(人)	%
家族がいるから	74	35.4
友達や知り合いがいるから	43	20.6
地元が好きだから	75	35.9
跡継ぎだから	4	1.9
その他	12	5.7
無回答	1	0.5
全体	209	100.0

【その他】

- ・1〜4全て
- ・家が一番落ち着くから
- ・田舎だけど自然が好きだから
- ・色々な所に行きたいから
- ・空気がおいしいから
- ・地震も少なく安全でのんびりしていて幸せに暮らせるから
- ・静かな所で老後を過ごしたい。
- ・自然が豊かだから
- ・実家が1番だから
- ・地元の方が勝手が分かるから
- ・とても豊かで平和だから
- ・家賃が安いから

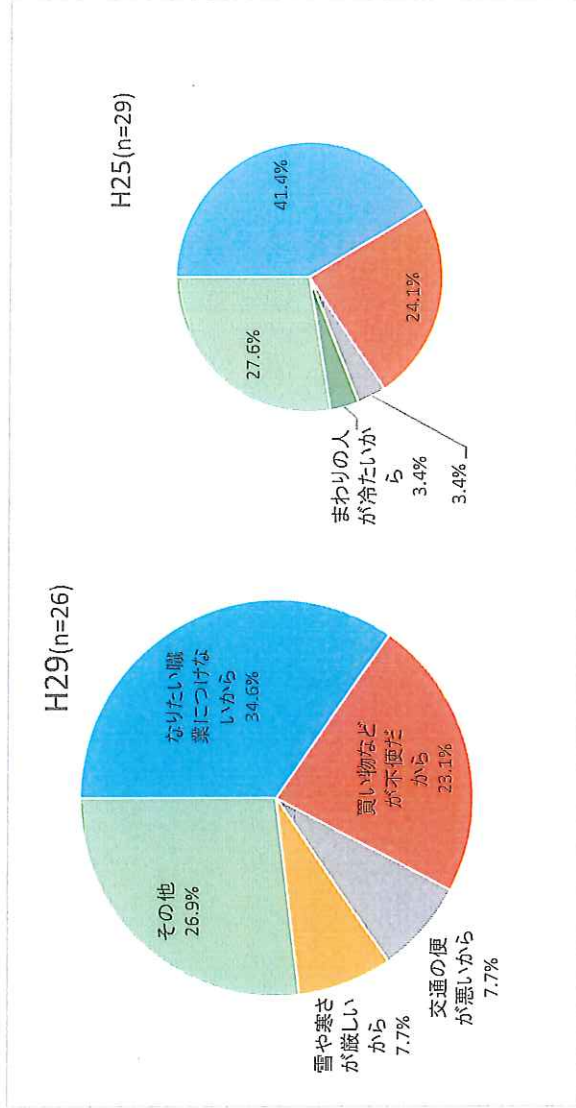
居住希望者の理由(年度別全体比)



(5) 居住を希望しない理由について

	回答(人)	%
なりたい職業につけないから	9	34.6
買い物などが不便だから	6	23.1
交通の便が悪いから	2	7.7
雪や寒さが厳しいから	2	7.7
まわりの人に干渉されるから	0	0.0
まわりの人が冷たいから	0	0.0
その他	7	26.9
全体	26	100.0

居住を希望しない理由(年度別全体比)



【その他】

- ・1～6全て
- ・田舎だから
- ・県外に行ってみてみたいという思いが強いかから
- ・この県は変わった人が多く口も悪いかから
- ・しよぼいから
- ・富山より千葉の方がいいため
- ・何も無く何もできない不便で終わった町だから
- ・他のところにも住んでみたいから

【参考】「なりたい職業につけない」と回答している人(9名)の興味がある仕事について

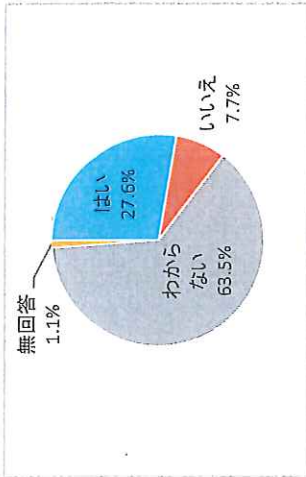
- ②機械・電気・化学
- ⑤動物・植物・農業・林業・酪農・畜産・水産(2名)
- ⑩健康・スポーツ
- ⑩語学・国際
- ⑩旅行・ホテル・ブライダル・観光
- ②マスコミ・芸能・アニメ・声優・漫画
- ②将来についてはまだ決めていない(2名)

5 福祉の複合施設について

(1) 複合施設ができたなら利用するかについて

	回答(人)	%
はい	97	27.6
いいえ	27	7.7
わからない	223	63.5
無回答	4	1.1
全体	351	100.0

複合施設ができたなら利用するかについて(全体比)



【具体的な理由】

①はいと答えた方

- ・遊びたい
- ・いつか何かかに悩んだら支えてくれるもの1つになるかもしれないから
- ・色々な世代の方々と一緒に触れ合えたりするから(2名)
- ・色々な人との交流が増えるから
- ・いろんなことで困っている方々がいると思うから、自分もその人の相談にのってあげたい。
- ・いろんな人と触れ合うのはいいことだと思うから
- ・自分も老後に利用したいから
- ・小学校など小さい時から福祉について知った方がいいと思うから
- ・生活をより充実して楽しく過ごせる人が増えそうだから
- ・相談できる相手がいるという事は心強いことだと思うから
- ・そこでボランティアなどの体験ができ、人生経験になるのなら必要だと思うから
- ・たくさんの人と触れ合えて楽しそうだから
- ・楽しくなりそうだから
- ・誰もが集える場というのが少ないから
- ・遠くまで行かずに楽に利用できるから
- ・友達と遊ぶ場所がない場合、行きたいと思ったから
- ・福祉について学べるから(3名)
- ・福祉について分からないことがあれば相談したいから
- ・便利だと思う。
- ・ボランティアとかをしたい。
- ・みんなが安心して暮らせるようになるため
- ・もし祖父母の介護をすることになった時、相談できたら心強いから
- ・もし私が重い障害をもったときに役に立つと思うから

②いいえと答えた方

- ・家にいた方がいいから
- ・家族と住みたいから
- ・自分の中で、なかなか行きにくいイメージがある。
- ・福祉とは何かあまり分らないから
- ・面倒だから

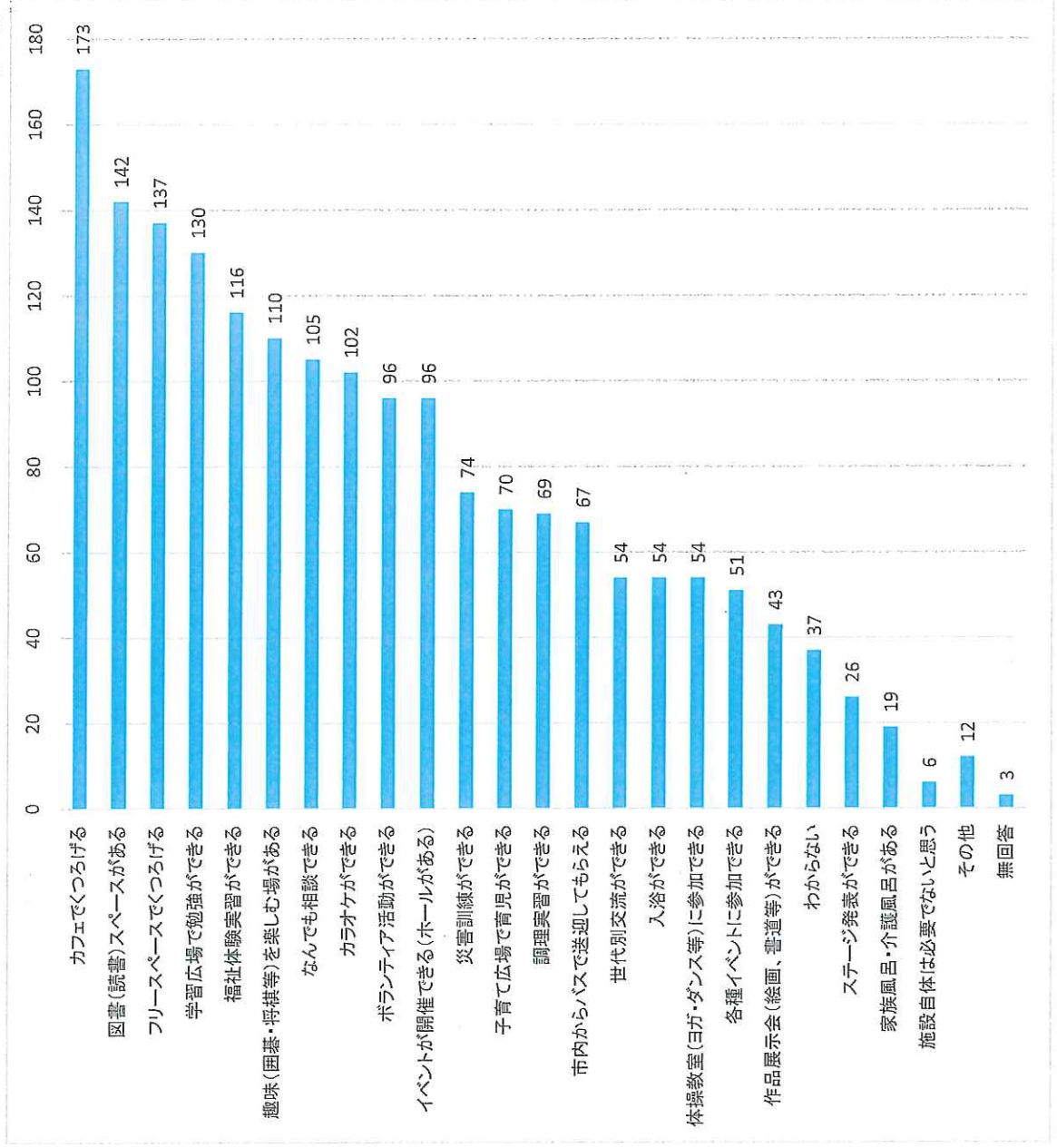
③わからなないと答えた方

- ・具体的な活動が分からないから
- ・何かあるか分からないから
- ・福祉についてあまり関わったことがないし、複合施設のある生活でも特に変化は想像できないから

(2) 複合施設の利用環境について

	票数
カフェでくつろげる	173
図書(読書)スペースがある	142
フリースペースでくつろげる	137
学習広場で勉強ができる	130
福祉体験実習ができる	116
趣味(囲碁・将棋等)を楽しむ場がある	110
なんでも相談できる	105
カラオケができる	102
ボランティア活動ができる	96
イベントが開催できる(ホールがある)	96
災害訓練ができる	74
子育て広場で育児ができる	70
調理実習ができる	69
市内からバスで送迎してもらえる	67
世代別交流ができる	54
入浴ができる	54
体操教室(ヨガ・ダンス等)に参加できる	54
各種イベントに参加できる	51
作品展示会(絵画、書道等)ができる	43
わからない	37
ステージ発表ができる	26
家族風呂・介護風呂がある	19
施設自体は必要でないと思う	6
その他	12
無回答	3

n=351



【その他】

- ・遊べる場所
- ・イラストを描ける場所
- ・ゲームセンターなどの遊び場がある。(2名)
- ・研究ができる施設、例えば夏休みなどで体験した後、どんな商品があればいいか考える。
- ・静かで落ち着けるところ
- ・室内野球場
- ・ストリートバスケットを作してほしい。
- ・1～22全て
- ・ちゃんとした食事ができる場所
- ・できれば老若男女が利用できるような大きな建物にしてほしい。
- ・人があまりいない空間、ゲームが全部そろっているお店、駄菓子屋

6 黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問(自由記述)

- ・複合施設をつくるのであれば誰もが入りやすいような所にしてほしい。
- ・黒部市社会福祉協議会ではどのようなことをしておられるのですか？(3名)
- ・高齢化社会だから、福祉に力を入れてがんばってほしい。
- ・高齢者や障がい者のことを考える機会を増やしたらいいと思います。
- ・困っている人を助けてほしい。
- ・障がいのある子供が普通の子と同じように接されるようにしてほしい。(なりたいたい)
- ・素晴らしいと思う。
- ・誰がそこで働くのか。
- ・誰に相談できるのですか？
- ・問23で丸をしたところが施設にできてほしい。(7.11.12.13.15.16.19.20.21に回答)
- ・どんな場所ですか。どこにありますか。
- ・福祉協議会してなにか良いことはあるんですか。
- ・福祉施設の利用者がもっと楽しめるようにしたほうがいいと思う。
- ・福祉とは？
- ・老人ホームを新しくつくるか今まであった老人ホームを大きくしてほしい。
- ・若い世代でも楽しめる場所をつくってほしい。
- ・良くねればいいと思う。

平成29年度

『福祉に関する高校生アンケート』

報告書

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

目次

I	調査の概要	
II	調査結果	
1	属性	1
	(1) 性別について(地区別)	1
2	地域生活について	3
	(1) 近所にぎきあいについて	3
	(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて	5
	(3) 近所の方々への感謝について	7
	(4) 感謝の内容について	9
3	福祉体験実習について	
	(1) 福祉のイメージについて	11
	(2) 福祉に対する興味について	16
	(3) 福祉体験実習の受講について	16
	(4) 福祉体験実習の受講内容について	18
	(5) 福祉体験実習受講後の変化について	19
	(6) 福祉体験実習の受講希望について	19
	(7) 福祉体験実習の受講希望内容について	20
	(8) 日々の生活環境について	21
	(9) 日々の生活で関わることのある人について	21
	(10) 福祉体験実習の受講時期について	22
4	将来について	
	(1) 興味のある職種について	23
	(2) 将来の仕事について	26
	(3) 居住希望について	28
	(4) 居住希望者の理由について	31
	(5) 居住を希望しない理由について	32
5	福祉の複合施設について	
	(1) 複合施設ができれば利用するかについて	33
	(2) 複合施設の利用環境について	34
6	黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問(自由記述)	35

I 調査の概要

1 調査目的

第3次地域福祉活動計画を策定するため、各年代層やさまざまな立場の方々の意見・提案をいただいているが、本調査については黒部市内の県立桜井高等学校に通う全生徒を対象に、若年層の地域生活や地域との関わり、福祉の充実などに対する意見を調査し、将来の地域づくりの参考とする。

2 調査方法

(1) 調査対象 富山県立桜井高等学校全学年(15歳～18歳)

(2) 調査方法 高校に配布し回収

(3) 調査期間 平成29年11月28日～平成29年12月5日

【参考】学級編制

	学年数			生徒数		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
普通科	3	3	3	120	117	109
土木科	1	1	1	40	38	40
生活環境科	1	1	1	40	40	39
計	5	5	5	200	195	188
合計	15			583		

(平成29年4月1日現在)

3 回収結果

対象者数	有効回答者数	有効回答率
583名	575名	98.6%

4 報告書の作成について

- (1) 地域を対象とした調査であるため、地区ごとの集計としている。但し、設問内容によっては、学年・学科別で集計しているものもある。
- (2) 複数回答可となっている設問以外で、複数回答があった回答に関しては、そのまま反映している。
- (3) 生徒が所属しない地区は省略している。
- (4) 設問によって、区分ができない無回答票は省略している場合がある。

5 調査結果まとめ

1 属性

(1) 性別について(地区別)

今回の調査では、男性が44%、女性が55%とやや女性の方が多く、黒部市内在住者と黒部市外在住者の割合を比較してみたが、ほとんど差はなく、男女比もほぼ同じであった。さらに細かくみると、市内でもっとも生徒数が多い地区は、大布施地区、次いで三日市地区で、市外からは魚津市が最も多く、入善町、滑川市、朝日町と続いた。また、近隣の市町村に限らず、富山市、上市町、立山町とやや遠方からも通学している生徒がいることもわかった。

対象者数と有効回答者数にやや差異はあるものの、今回の調査に対し、大きな影響をもたらすことはないと考ええる。

2 地域生活について

(1) 近所づきあいについて

近所づきあいは、「①大切なことだと思う」が50%と最も多く、「②当然で特別なこととは思わない」が28%、「③深く関わりたくない」が20%、「④わずらわしい」が2%という結果となった。地区別に比較してみると、その割合にばらつきはあるものの、市内、市外で区分した場合には、いずれも全体比とほぼ同じであった。また、中学生の調査結果ともほぼ同じ割合であった。

(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて

近所の方々のあいさつや声かけは、「①会えれば必ず」が34%、「②どきどき」が54%、「③ほとんど声をかけてくれない」が8%、「④まったく声をかけてくれない」が4%という結果となった。地区別に比較してみると、その割合にばらつきはあるものの、市内、市外で区分した場合には、いずれも全体比とほぼ同じであった。また、中学生の調査結果ともほぼ同じ割合であった。

(3) 近所の方々への感謝について

ありがたうと思っていることが「①ある」が60%、「②ない」が40%であった。地区別に比較してみると、その割合にばらつきはあるものの、市内、市外で区分した場合には、いずれも全体比とほぼ同じであった。また、中学生の調査結果ともほぼ同じ割合であった。

(4) 感謝の内容について((3)で①と答えた方)

「①通学路などの見守り」が29%、「⑤地域行事の実施」が28%とほぼ同じで、次いで、「③地域の美化活動」、「④資源回収」、「②ごみの分別や後始末」と続いた。その他として、野菜・果物等、いろいろといただいた際に、感謝するという回答が多くあった。また、あいさつや声かけしてくださることに感謝しているという回答も多くあった。地区別に比較してみると、その割合にばらつきはあるものの、市内、市外で区分した場合には、いずれも全体比とほぼ同じであった。また、中学生の調査結果ともほぼ同じ割合であった。

3 福祉体験実習について

(1) 福祉のイメージについて

福祉という言葉のイメージは一人ひとり様々であったが、いくつかの共通項目があり、その用語をキーワードとし、意見を集約した。その結果、「助ける」、「やさしい」、「幸せ」、「思いやり」というイメージが多く、約半数を占めていた。また、「誰もが〇〇、みんなが〇〇」というイメージや「〇〇な暮らし」といった生活環境に関するイメージをもつ人が多くみられた。さらに、中学生で25%占めていた「わからない、難しい」という回答は、高校生になると、9%と少なくなるとともに、福祉を言葉として表現できるようになってきていることがうかがえる。全体的にみると、複数人が同じ回答をしている用語としては、「助け合い(66名)」、「やさしい(62名)」という言葉が多かった。福祉とは？という問いかけに対し、その言葉がもつイメージを考えた時、人それぞれでそのイメージは違うことが改めてわかった。

(2) 福祉に対する興味について

福祉のイメージはそれぞれに違っていたが、そのイメージの範囲内で、福祉に対する興味がある、ないの問いに対して、「①興味あり、②やや興味あり」が約4割、「③あまりない、④全くない」が約5割、「⑤わからない、⑥無回答」が約1割という結果になった。中学生の調査結果と比較してみると、3-(1)の設問で、福祉のイメージは、「わからない、難しい」という意見も減っていることもあつてか、わからないという回答が1割減少し、興味がある人が1割増え、全体比にやや変化がみられた。

(3) 福祉体験実習の受講について

うけたことが「①ある」が62%、「②ない」が37%と、うけたことがある人が半数以上いることがわかった。市内、市外で生徒数が約半々であるため、市内外で区分し、受講の有無を比較してみたが、全体比とほとんど相違がなく、居住地での差はみられなかった。中学生の調査結果と比較し、受講率が2割程度増えたため、その要因を調べるために、学年別、学科別に区分し、さらに調べてみた。その結果、1学年の受講率が高いこと、福祉に特化した専門科である生活環境科の受講率が9割を超えることがわかった。生活環境科の受講率が高いことはわかるが、1学年の受講率が高いことに関しては、居住地別、学科別に分析はしたものの、普通科と土木科で差が生じているところまでは確認できなかったが、その他の要因はわからなかった。

(4) 福祉体験実習の受講内容について((3)で①と答えた方)

受講したことがある内容で、最も多かったのが高齢者疑似体験で、次いで、視覚聴覚障害疑似体験、ボランティア体験、車椅子体験と続いた。

(5) 福祉体験実習受講後の変化について

受講後に約6割の人が「②意識が変わった」と回答、「①役に立った」と答えた人が約1割いたが、「④役立つ機会がない、⑤特に何も変わらない」と答えた人が約3割と、中学生の調査と同様で、福祉体験で上位の項目にあげられている高齢者、視覚聴覚障がい者と触れ合う機会が少ないことがうかがえる。

(6) 福祉体験実習の受講希望について

体験実習を「①うけてみたい」が22%、「②どちらでもよい」が50%、「③できればうけたくない」が7%、「④全く興味がない」が10%という回答が得られた。①、②を合わせると、約7割の人が受講する機会があれば、うけてもよいと思っていることがうかがえる。一方、③、④の割合をみると、約2割の人は、実習はあまり必要ないと感じていた。さらに、日々の生活で、高齢者等と関わる機会があるか、ないかはその比率に差がでるかを調べてみたが、それほど大きな違いはなかった。

(7) 福祉体験実習の受講希望内容について（(6)で①または②と答えた方）

受けてみたい実習体験は、介助犬体験が133票と最も多く、次いで、手話、ボランティア、ユニバーサルデザインと続いた。また、その他の福祉体験に関しても、万遍なく希望者がいることがわかった。

(8) 日々の生活環境について

高齢者、介護者、障がい者と関わる機会が「①ある」が31%、「②ときどきある」が20%、「③ほとんどない」が31%、「④全くない」が19%と、どの項目もよく似た比率で、あるか、ないかで区分すると、約半々の割合であった。いずれも、中学生調査とほとんど差がないことがわかった。

(9) 日々の生活で関わることのある人について（(8)で①または②と答えた方）

高齢者、介護者、障がい者と関わる機会が「①ある、②ときどきある」が全体の約5割で、そのうち対象となる方の約9割は高齢者、残りの1割が介護者、障がい者と関わる機会があるということがわかった。いずれも、中学生調査とほとんど差がないことがわかった。

(10) 福祉体験実習の受講時期について

「①小学校の時」、「②中学生の時」が共に約3割、次いで、「⑥時期は問わず機会があればよい」が約1割という結果であった。また、日々の生活で高齢者、障がい者、介護者と共に生活している場合であってもそうでない場合であっても、受講時期に関する回答者数に差はなく、日頃から触れ合う機会があるない問わず、早い時期が望ましいと感じていることがわかった。いずれも、中学生調査とほとんど差がないことがわかった。

4 将来について

(1) 興味のある職種について

高校生は、「㉔将来についてはまだ決めていない」という回答が45票と、全体数(575名)から見ると、1割に満たず、中学生の結果と比較すると、非常に少なくなっていた。興味があるが職種としては、「㉑医療・歯科・看護・リハビリ」、「㉒公務員・政治・法律」関連が同票で68票、次いで、「㉓建築・土木・インテリア」が53票、「㉔コンピュータ・IT・Web・ゲーム」が47票と続いた。さらに、学年別、学科別で比較してみると、学年の違いからは、全体比とほとんど差はなかったが、学科別にみると、普通科と職業科では、興味がある職種に大きな違いがみられた。また、今回の調査のテーマとなっている「福祉・介護」に関する職種への興味は、14票(2.4%)と割合から見ると、中学生の結果(1.4%)よりやや多くなった。

(2) 将来の仕事について

「㉑できれば県内」が33%、「㉒できれば市内」が11%と、県内での就職希望者が約4割いることがわかった。一方、「㉓できれば県外」が22%、「㉔できれば海外」が3%と、約1/4が地元を離れたと感じていることもわかった。また、中学生の結果と比較したところ、中学生では全体の25%占めていた「㉑まだ何も考えていない」が、高校生では9%と少なくなっていた。

(3) 居住希望について

「㉑ずっと住みたい」、「㉒一度は出たいが、将来は帰ってきたい」と約6割が地元での居住を望んでいることがわかった。反対に「㉓住みたくない」が10%で、中学生の結果(7%)より増えていた。さらに、学年別で比較してみると、1・2学年においては、全体比との差は大きくなかったが、3学年になると、「㉑どちらともいえない」という回答が極端に減り、「㉓住みたくない」という回答が極端に増えていた。次いで、学科別にみると、(2)-㉑の設問においても、普通科の生徒が県外での仕事の希望者が多いこともあり、職業科の生徒より、「㉓住みたくない」という回答が多かった。

(4) 居住希望者の理由について(㉓で㉑または㉒と答えた方)

居住希望の理由として、「㉑家族がいるから」が30%、「㉒友達や知り合いがいるから」が26%、「㉓地元が好きだから」が41%という結果であった。高校の生徒区分は、市内、市外在住者で半々であるが、その回答数にも市内外で差はなかった。また、中学生調査とほとんど差がなこともわかった。

(5) 居住を希望しない理由について (3)で③と答えた方

4-(3)で全体数の11%が居住を希望しないと回答していたが、そのうち、約3割がなりたい職業につけないからという理由で、残りの5割が買い物が不便、交通の便が悪い、雪や寒さが厳しいといった生活環境が不便であるという理由であることがわかった。中学生調査と比較して、その他の意見が多く上がり、「他で学びたい」等、学びを目的にしている人、「愛着がない、面白くない」等、地元には物足りなさを感じている人、「家を出たい、何となく」と具体的な理由ははないが外に出てみたい人等、その理由は様々であった。

5 福祉の複合施設について

(1) 複合施設の利用について

具体的な中身がみえていないこともあって、「③わからない」という回答が約6割占めていた。しかしながら、約3割が「①利用したい」と答え、具体的な理由に、便利になる、いろいろな人と触れ合える、相談できる、交流が増える、にぎやか等の意見が多かった。一方、「②利用したくない」と答えた中には、地元ではない、福祉に興味がないといった意見が上がった。

(2) 複合施設の利用環境について

5-(1)で利用するかはわからないという回答が多かったが、利用環境としてどのような施設ができるとよいかとの問いにおいては、複数の回答が返ってきた。「⑫学習広場で勉強できる(250票)」、「⑬カフェでくつろげる(237票)」という回答が多く、約半数の人がよいと答えていた。次いで、「⑭アリススペースでくつろげる(206票)」、「⑬図書(読書)スペースがある(164票)」と続いた。

福祉に関わる内容として、「①福祉体験実習ができる(125票)」、「③ボランティア活動ができる(145票)」、「④災害訓練ができる(74票)」に関しても、全体の約1~2割がよいとしていた。現在の福祉センター機能にある「⑦入浴ができる(73票)」に関しては、約1割程度にとどまった。わずかながら「⑫施設自体必要ではないと思う(7票)」という回答もあった。

6 黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問(自由記述)

黒部市社協に対する質問については、集う場(学習スペース、レジャー施設)を求めめる声や通学の便(あいの風鉄道)に関する意見等があった。

II 調査結果

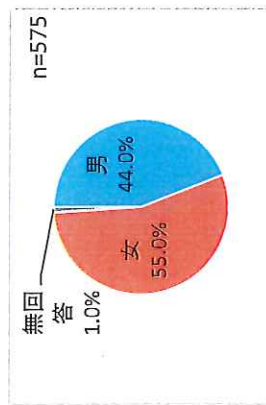
1 属性

(1) 性別について(地区別)

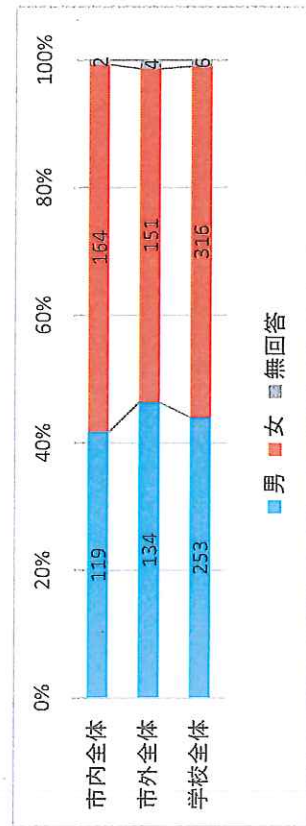
地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	音沢	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	市外全体	左記以外※	朝日町	入善町	滑川市	魚津市	市外全体	無回答	学校全体
男	10	7	11	6	24	19	9	7	12	4	5	0	1	1	0	3	119	134	4	17	34	20	59	134	0	253
女	4	18	17	9	35	22	9	17	6	3	3	0	2	1	6	12	164	151	2	14	42	28	65	151	1	316
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	1	0	1	1	4	0	6
計(人)	14	25	28	15	59	41	19	24	19	7	8	0	3	2	6	15	285	289	7	32	77	48	125	289	1	575
%	2.4	4.3	4.9	2.6	10.3	7.1	3.3	4.2	3.3	1.2	1.4	0.0	0.5	0.3	1.0	2.6	49.6	50.3	1.2	5.6	13.4	8.3	21.7	50.3	0.2	100.0

※富山市4名、上市町2名、立山町1名

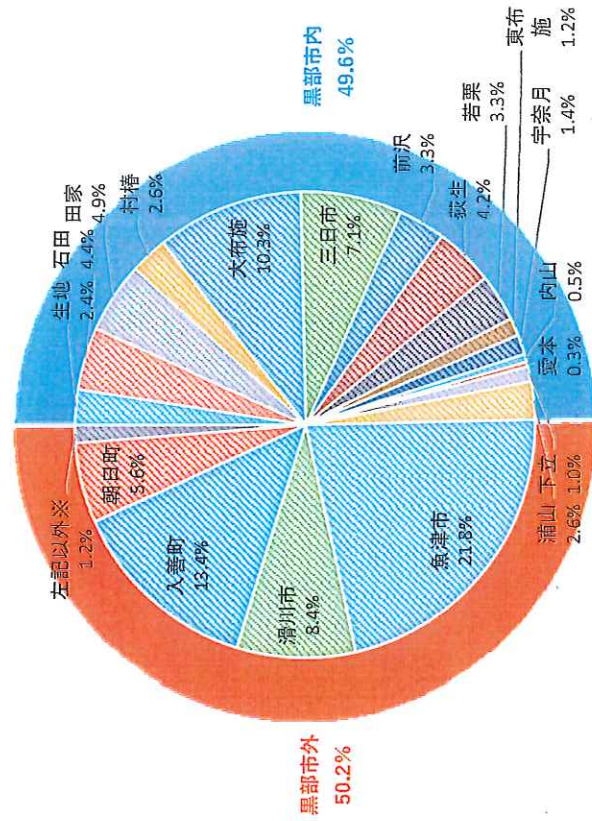
①男女比(全体比)



②男女比(市内外比較)



③地区別生徒数(全体比)



④地区別男女比



2 地域生活について

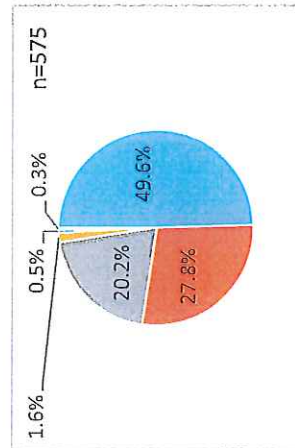
(1) 近所づきあいについて

地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	魚津市	滑川市	入善町	朝日町	左記以外※	市外全体	無回答	学校全体
助け合って生きていくためには大切なことだと思う	7	12	8	6	31	20	12	13	9	5	5	0	2	4	7	141	54	27	45	15	2	143	1	285
近所づきあいは当然であり、特別なこととは思わない	3	6	12	5	9	11	4	7	9	2	2	2	0	1	5	78	37	13	23	8	1	82	0	160
あいさつぐらいいはするが、深く関わりたくない	4	6	8	3	17	10	3	3	1	0	1	1	0	1	3	61	32	7	7	6	3	55	0	116
わずらわしいので、あまりつきあいはしたくない	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	2	1	0	5	0	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	0	3
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2

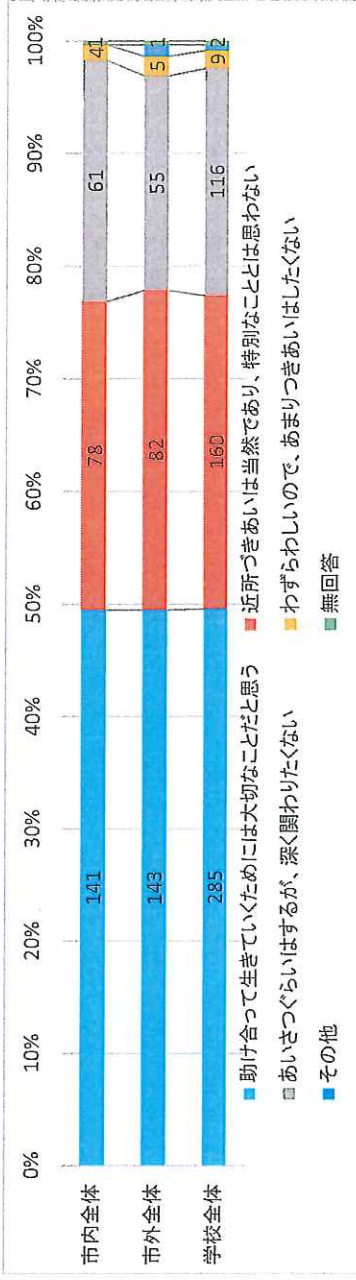
【その他】

- ・当然ではないが特別なこととも思わない。
- ・人による。

① 近所づきあいについて(全体比)

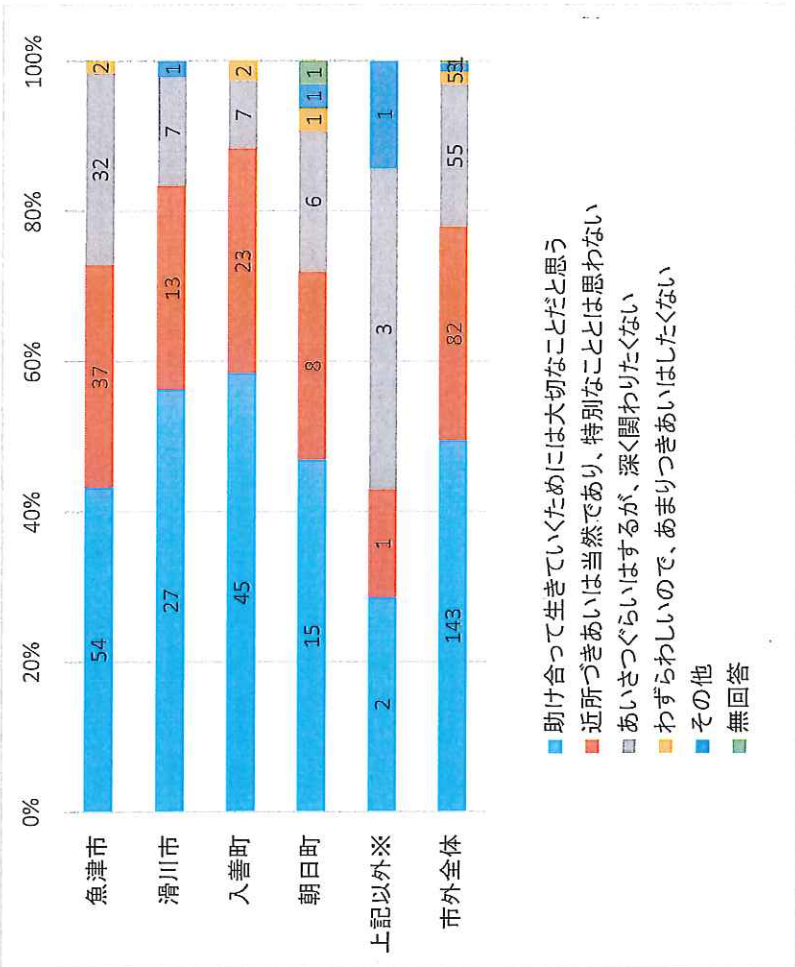
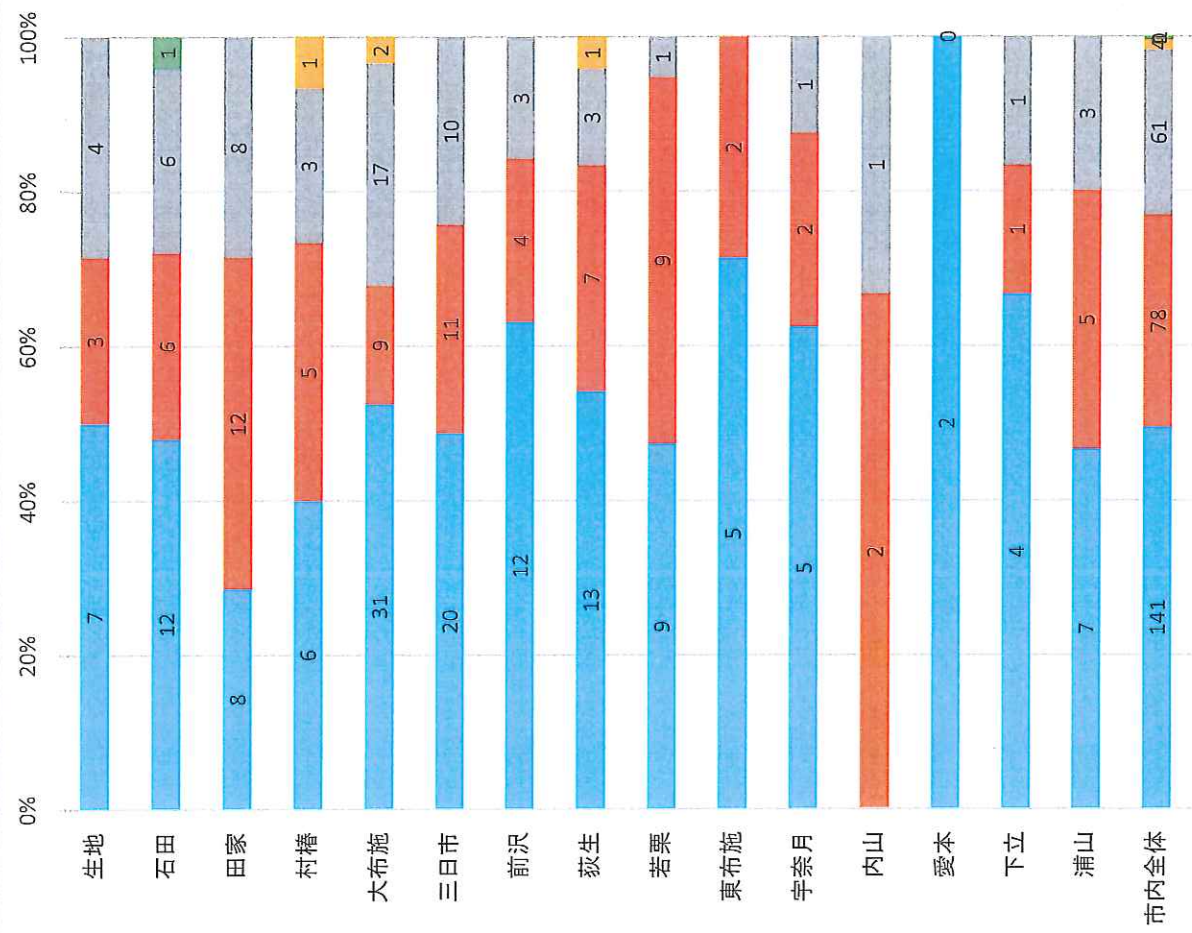


② 近所づきあいについて(市内外比較)



※富山市、上市町、立山町

③近所づきあいについて(地区別比較)

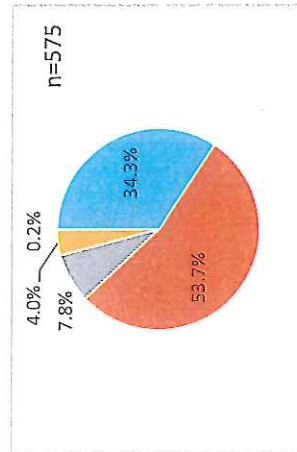


(2) 近所の方々のあいさつや声かけについて

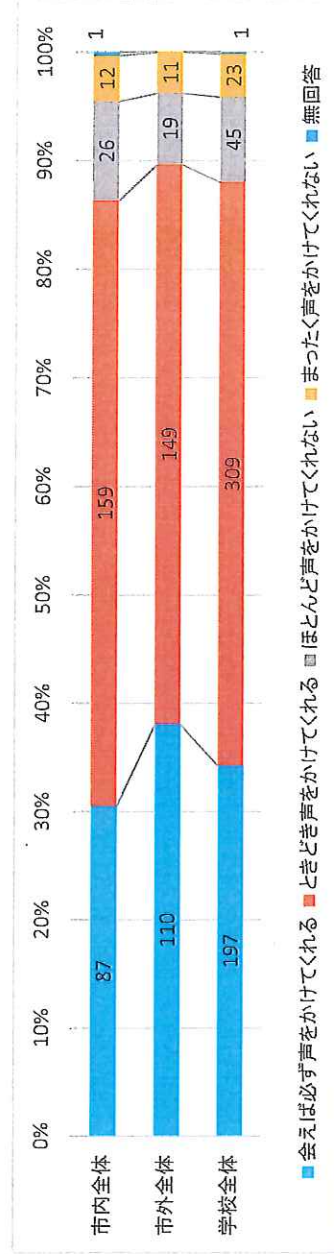
地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	魚津市	滑川市	入善町	朝日町	左記以外※	市外全体	無回答	学校全体
会えば必ず声をかけてくれる	7	3	8	7	7	11	11	5	8	4	5	1	1	3	6	87	42	18	34	15	1	110	0	197
ときどき声をかけてくれる	5	19	16	3	38	25	7	15	11	3	3	2	1	3	8	159	69	24	40	11	5	149	1	309
ほとんど声をかけてくれない	2	1	1	4	9	5	1	2	0	0	0	0	0	0	1	26	11	4	0	3	1	19	0	45
まったく声をかけてくれない	0	2	3	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12	3	2	3	3	0	11	0	23
無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※富山市、上市町、立山町

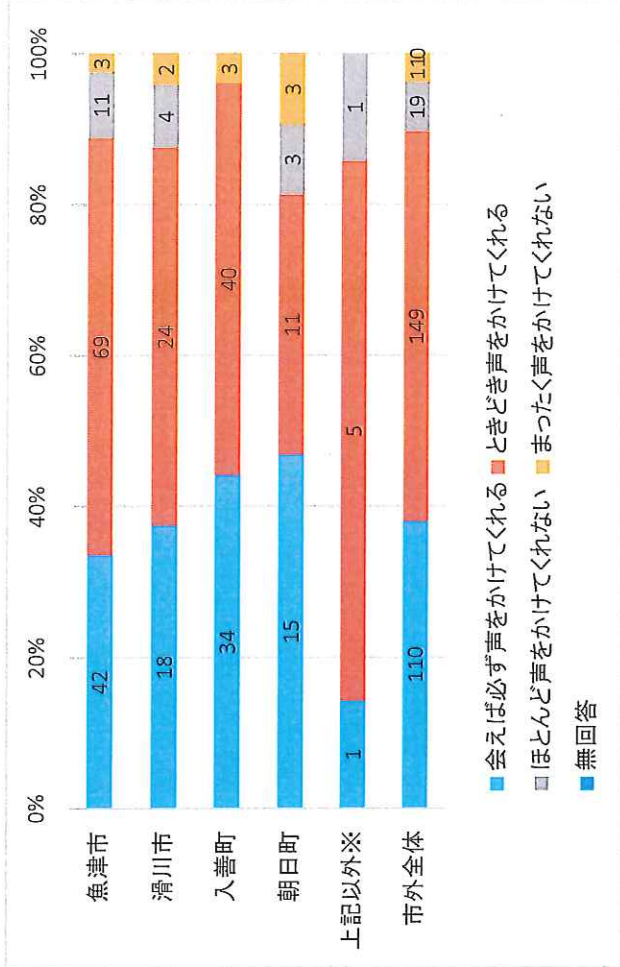
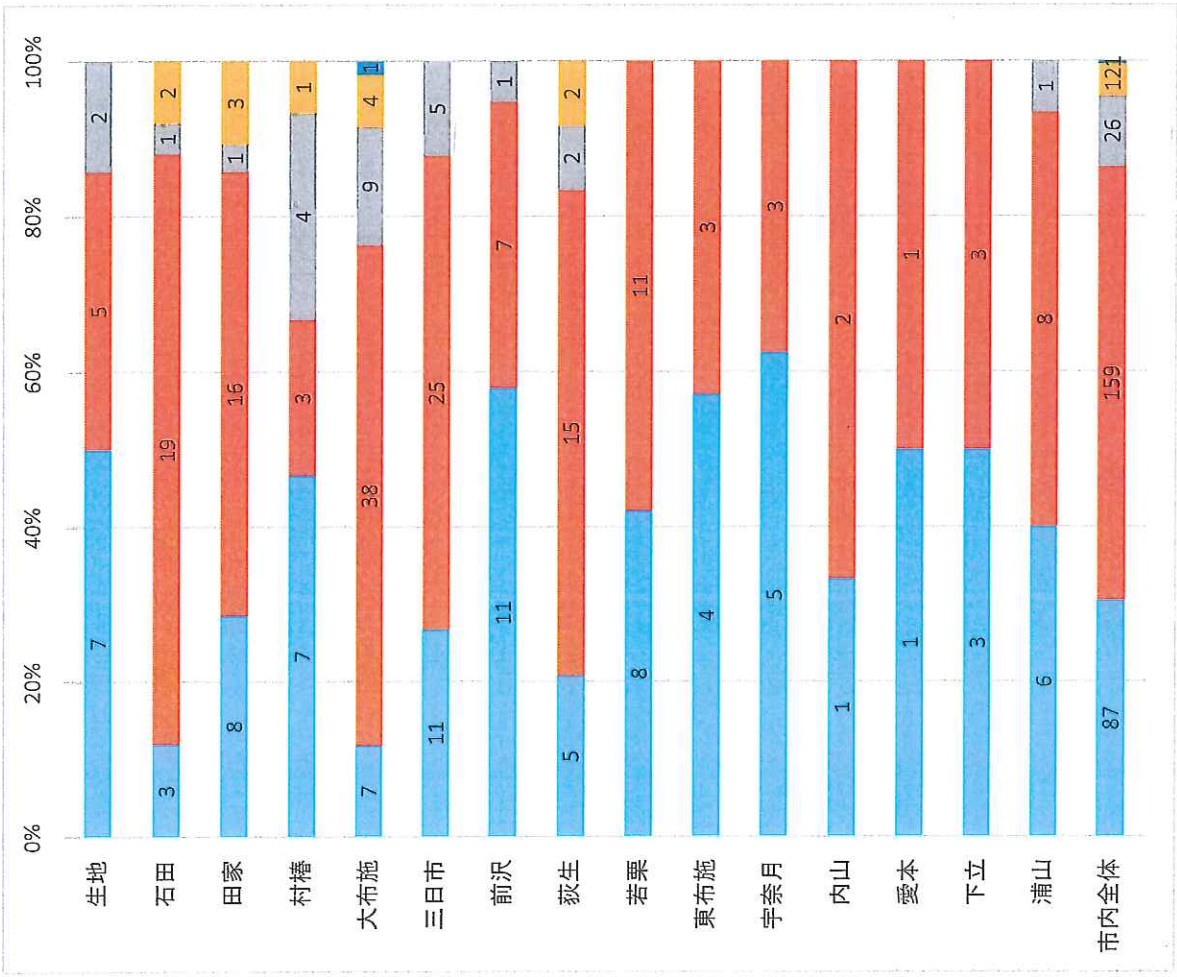
① 近所の方々のあいさつや声かけについて(全体比)



② 近所の方々のあいさつや声かけについて(市内外比較)



③近所の方々のあいさつや声かけについて(地区別比較)

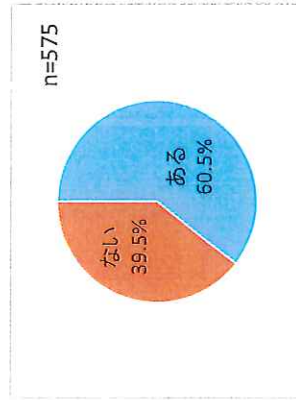


(3) 近所の方々への感謝について

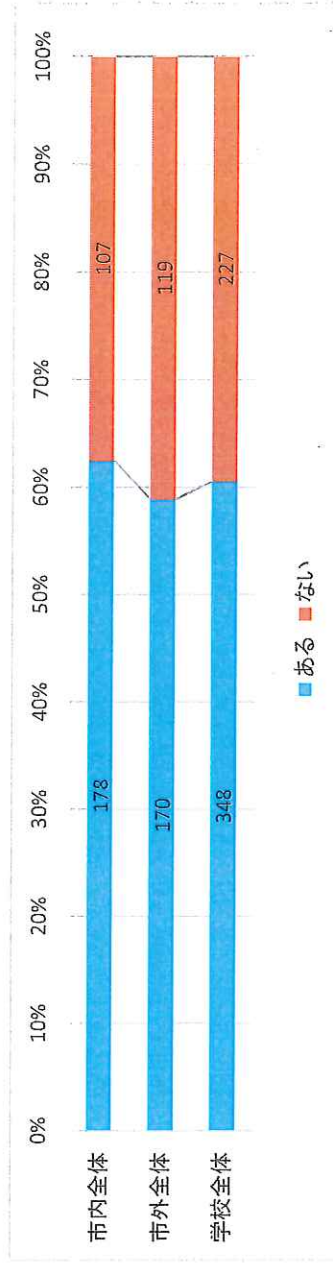
地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	魚津市	滑川市	入善町	朝日町	左記以外※	市外全体	無回答	学校全体
ある	10	13	17	9	31	26	14	15	15	5	4	2	2	5	10	178	72	28	48	19	3	170	0	348
ない	4	12	11	6	28	15	5	4	2	1	4	1	0	1	5	107	53	20	29	13	4	119	1	227

※富山市、上市町、立山町 ⇒(4)へ

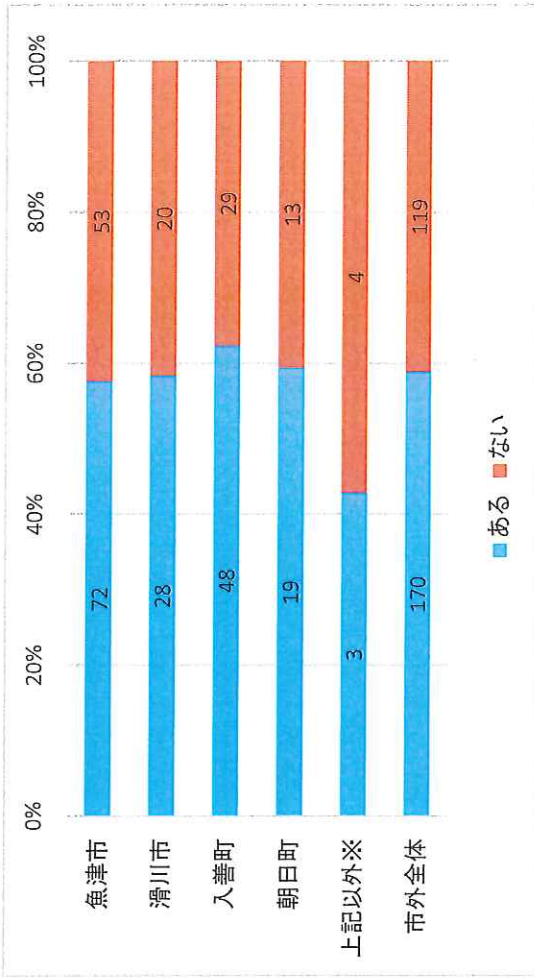
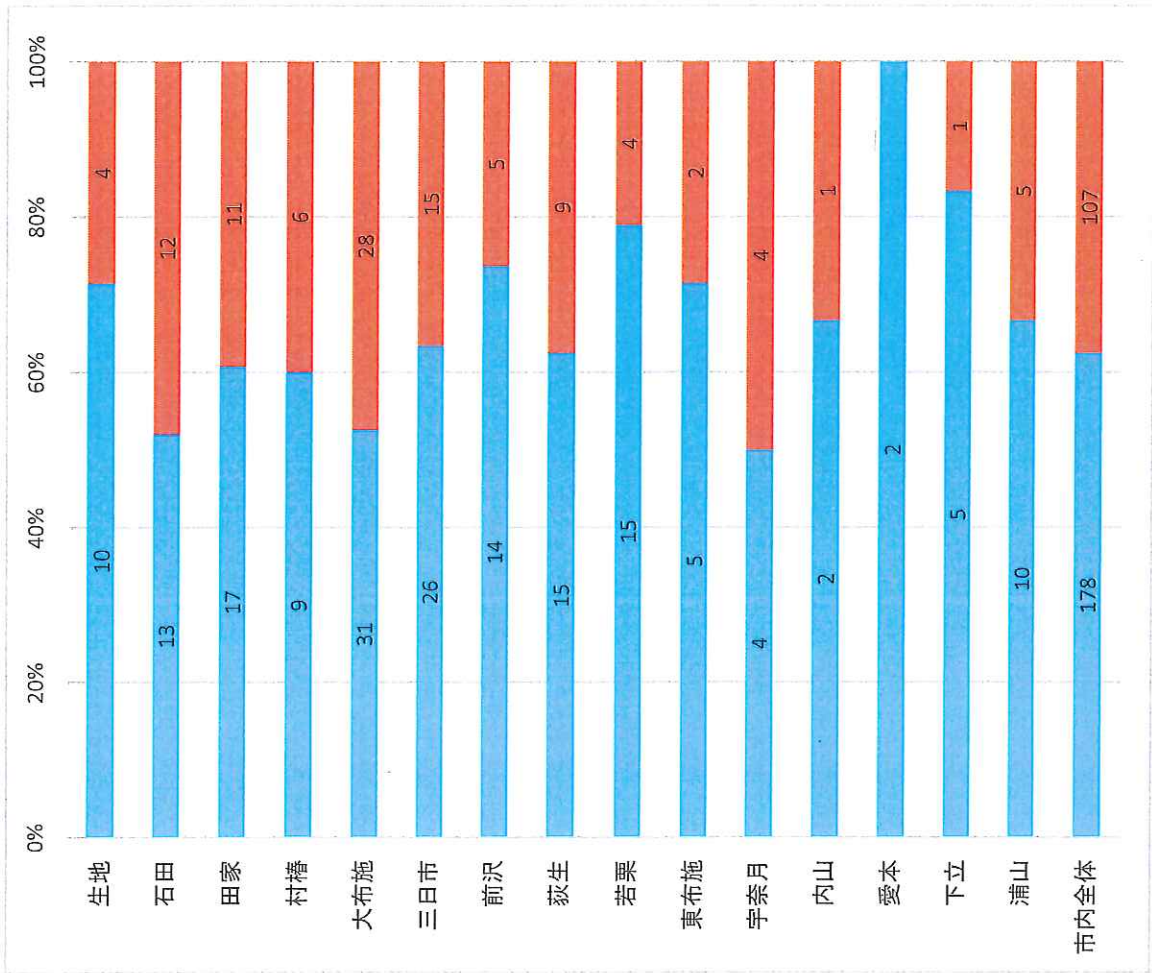
①近所の方々への感謝について(全体比)



②近所の方々への感謝について(市内外比較)



②近所の方々への感謝について(地区別比較)



(4)感謝の内容について

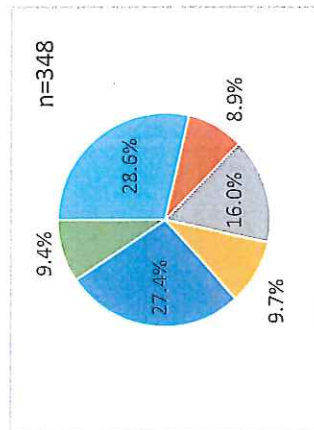
地区名	生地	石田	田家	村樺	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	魚津市	滑川市	入善町	朝日町	左記以外※	市外全体	無回答	学校全体
通学路などの見守り	1	5	2	2	8	5	5	6	3	1	3	1	0	3	7	52	22	10	11	4	1	48	0	100
ごみの分別や後始末	1	2	2	1	5	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	17	8	2	2	1	1	14	0	31
地域の美化活動	1	1	3	0	4	6	3	1	1	1	1	1	0	1	0	24	11	5	12	4	0	32	0	56
資源回収	1	0	1	0	4	3	3	1	0	2	0	0	0	1	1	17	10	3	3	0	1	17	0	34
地域行事の実施 (祭りなど)	4	3	8	4	7	10	2	3	6	0	0	0	1	0	2	50	12	7	19	8	0	46	0	96
その他	2	2	1	2	3	0	0	3	4	0	0	0	1	0	0	18	11	1	1	2	0	15	0	33

※富山市、上市町、立山町

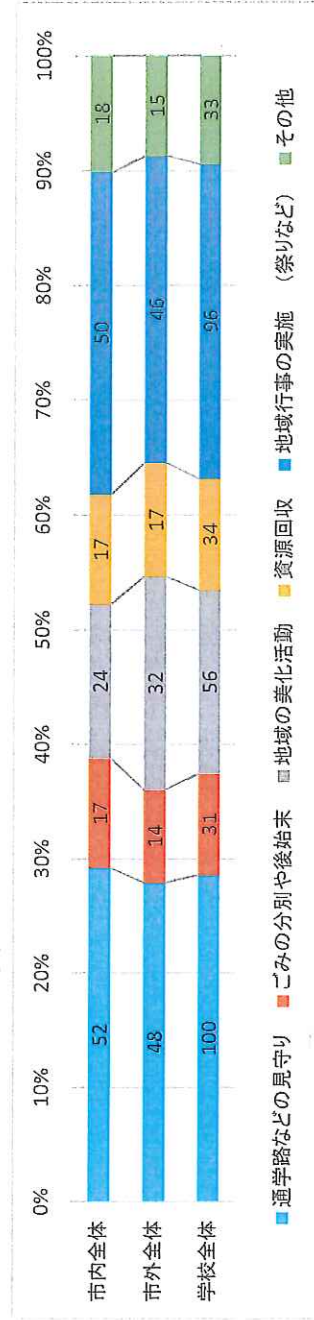
【その他】

- ・野菜、果物をいただく(11名) ・お土産・菓子をいただく(2名) ・物をいただく(2名) ・おすそ分けをいただく(4名)
- ・あいさつをしてくださる(4名) ・会うと声をかけてくれる(2名) ・ほめられて(1名)
- ・いろいろな話をしてくれるし、自分の話も聞いてアドバイスをくれる。サッカーを応援してくれる。(1名)
- ・戦争の資料や本を見せてくれて戦争がとても悲しいことであることの説明をしてくれる。(1名)
- ・自分で育てた物など共有したり、出産されたときのあいさつなど、うれしいことがたくさんあるから。(1名)
- ・除雪してくれる(2名)
- ・洗濯物を干しているときなど、雨が降ってきたら教えてくれる。(1名)
- ・落とし物を拾ってくれた時(1名) ・財布を拾ってもらった(1名)

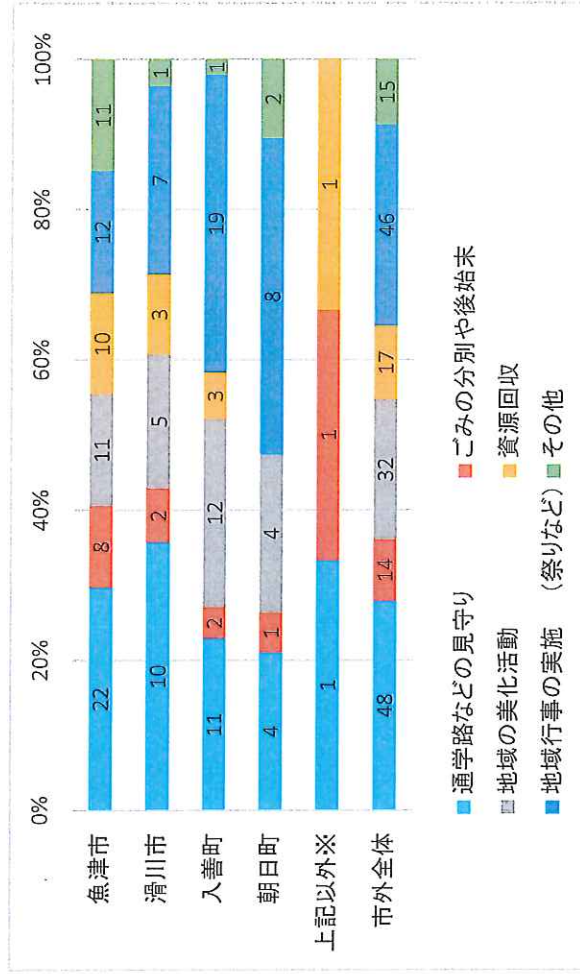
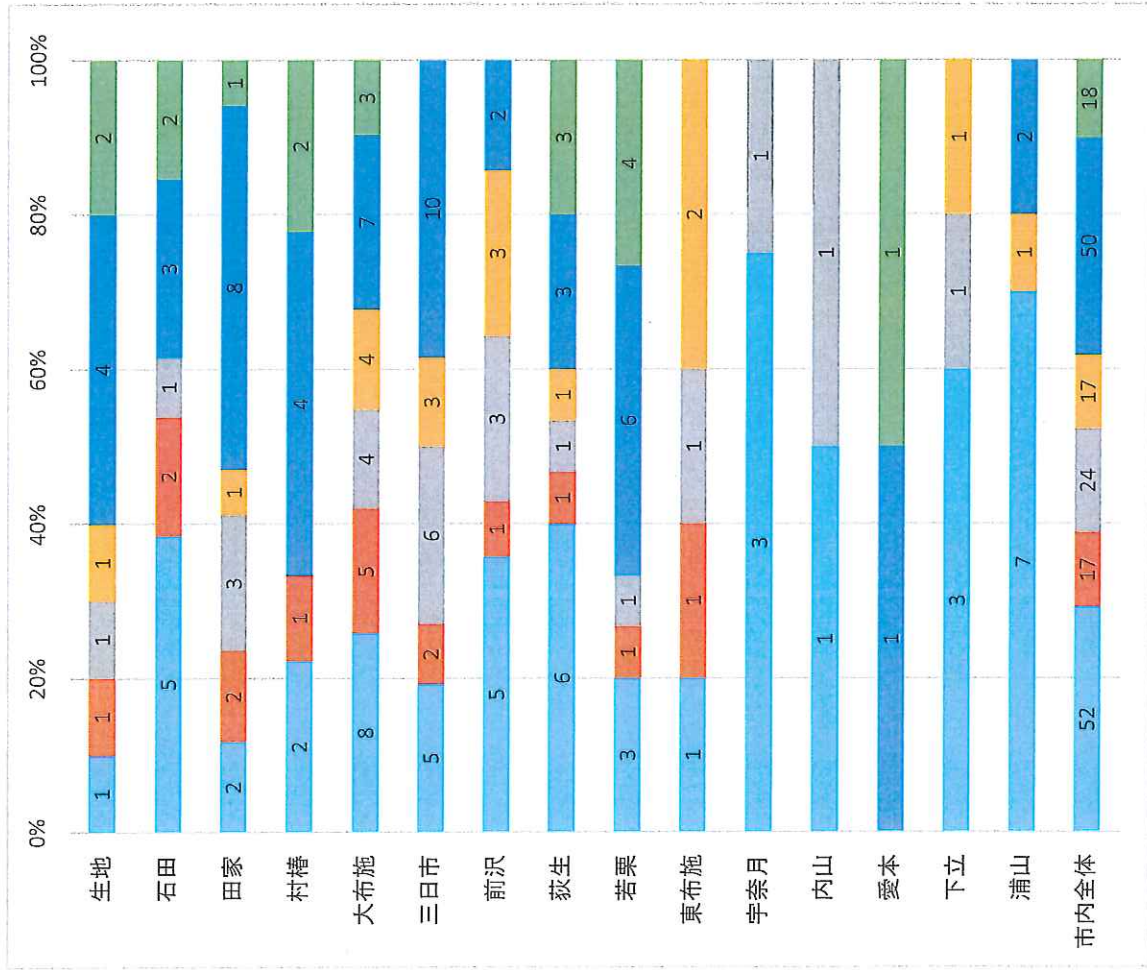
①感謝の内容について(全体比)



②感謝の内容について(市内外比較)



③感謝の内容について(地区別比較)



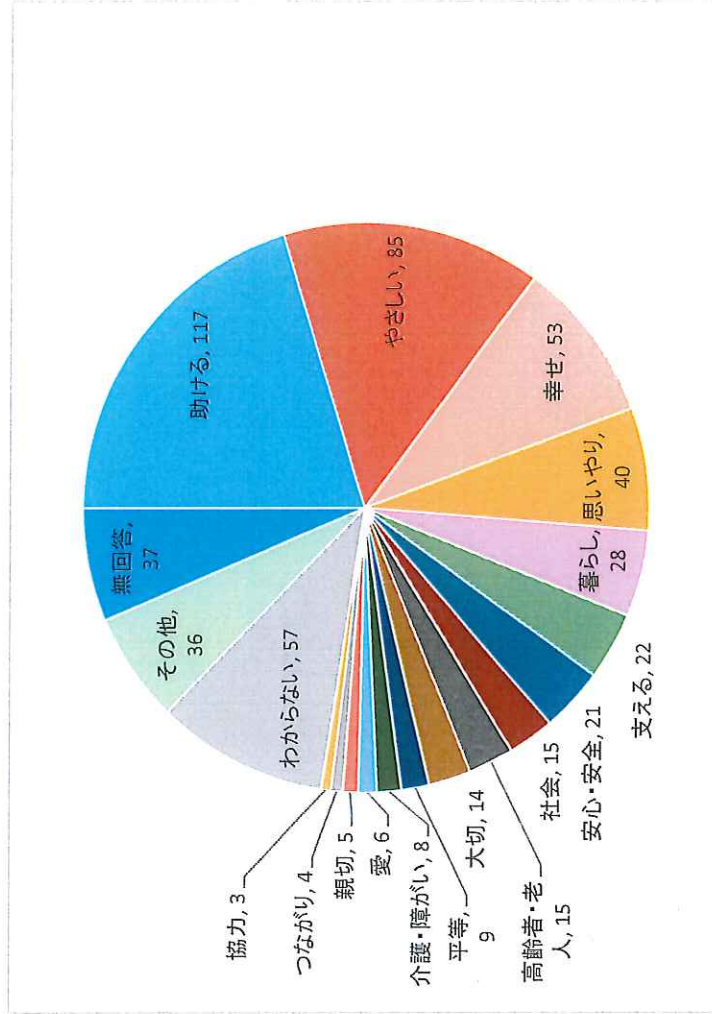
3 福祉体験実習について

(1) 福祉のイメージについて

※キーワードで区分し意見をとりまとめる。

キーワード	(人)
助ける	117
やさしい	85
幸せ	53
思いやり	40
暮らし	28
支える	22
安心・安全	21
社会	15
高齢者・老人	15
大切	14
平等	9
介護・障がい	8
愛	6
親切	5
つながり	4
協力	3
わからない	57
その他	36
無回答	37
全体	575

①福祉のイメージ(全体比)



②福祉のイメージについて(キーワード別)

助ける 117

- ・助け合い(66名)
- ・助ける(9名)
- ・助け合う(8名)
- ・困っている人を助ける(4名)
- ・人助け(4名)
- ・人を助ける(3名)
- ・助け(3名)
- ・手助け(2名)
- ・転んだら助けてくれる
- ・サポート
- ・サポートすること
- ・生活を助ける
- ・助け合いと関わり合い
- ・助け合いの精神
- ・助け合うために大切なこと
- ・助けてくれる
- ・助けとなるもの
- ・助ける側の人と助けてもらう側の人の関係
- ・人と人が助け合うこと
- ・人々の助け合い
- ・補助
- ・みんなが助け合う
- ・みんなの助け
- ・保護
- ・暮らしを守る
- ・守る

やさしい 85

- ・やさしい(62名)
- ・やさしさ(11名)
- ・心遣い
- ・心のやさしさ
- ・人間のやさしさ
- ・人に優しい
- ・みんながやさしくできる生活
- ・やさしい、幸せ
- ・やさしい、大切
- ・やさしく明るい暮らし、支え合う
- ・やさしく助けてくれるもの
- ・やさしくて、分かりやすい
- ・弱い人にやさしい
- ・やさしさ、幸せな暮らし

思いやり 40

- ・思いやり(32名)
- ・思いやりあふれる
- ・思いやりがある
- ・思いやりの心をもつこと
- ・思いやりの精神
- ・つつましい思いやり
- ・人のことを思いやり、考える
- ・人を思うこと
- ・いたわる

幸せ 53

- ・幸せな暮らし(20名)
- ・幸せ(10名)
- ・みんなが幸せ(2名)
- ・みんなが幸せに暮らせること(2名)
- ・幸福
- ・幸せで安心できる暮らし
- ・幸せで充実した暮らし
- ・幸せでみんなにやさしい暮らし
- ・幸せな暮らしのための大切なこと
- ・幸せになる
- ・幸せの暮らしを年齢関係なく送る
- ・自分も幸せみんなも幸せ
- ・自分らしく幸せな暮らしをおくる
- ・全ての人が幸福に暮らせること
- ・全ての人が幸せだと思える社会
- ・すべての人が幸せなこと
- ・誰もが幸せ
- ・誰もが幸せに暮らすために必要なもの
- ・誰もが幸せに暮らすためのもの
- ・どんな境遇の人でも幸せに暮らすこと
- ・人々が幸せで満足いく暮らし
- ・不自由な人が幸せに暮らせる
- ・ふつうに暮らせる幸せ

- ・暮らし(2名)
- ・暮らしやすい(2名)
- ・誰もが自由に暮らせること(2名)
- ・当たり前の日常を送れるようにすること
- ・居心地がいい
- ・快適な暮らし
- ・暮らしやすい環境
- ・健康に暮らすためにすること
- ・誰もが暮らしやすい社会
- ・誰もが快く暮らせる
- ・誰もが普通に暮らせること
- ・誰もが不便なく暮らせること
- ・とどこおれない暮らし
- ・どんな人でも暮らしやすい
- ・人が気持ちよく過ごせるようにすること
- ・みんなが暮らしやすい
- ・みんなが住みやすい地域作り
- ・みんなが楽しく暮らせる
- ・みんなの暮らし
- ・豊かな暮らし
- ・豊かな生活
- ・より良い暮らし
- ・よりよい生活を送れるもの
- ・明るい暮らしを全ての人が送れる
- ・全ての人が十分な生活を送ることができること

- ・支え合う(4名)
- ・支える(2名)
- ・支え合い(2名)
- ・支援(2名)
- ・人を支える(2名)
- ・暮らしを支える
- ・支え
- ・支え合う暮らし
- ・支え合って生きていくこと
- ・誰もが必要な支援を受けることができる
- ・人と人が互いに助け合わないといけない
- ・人と人が支えあっている。お互いの都合などところを支えあっている。
- ・人と人との支え合い
- ・みんなで支え合う
- ・寄り添い

- ・安心(3名)
- ・安心して暮らせる(3名)
- ・安全な暮らし(2名)
- ・安全(2名)
- ・安心できる暮らし
- ・安全・安心に生活できる
- ・安全に暮らせる
- ・誰もが安心して暮らせる
- ・人々が安心して暮らせるように
- ・皆が安全に暮らすこと
- ・みんなが安心して暮らせること
- ・みんなが安全に暮らせる
- ・平和(2名)
- ・平和に暮らすためのもの
- ・1人1人が平和に暮らせる

社会 15

- ・社会福祉(2名)
- ・共生
- ・共存
- ・国がもつと負担を負うべきもの
- ・現代の抱える一つの問題
- ・公共の福祉
- ・公共の利益
- ・社会
- ・社会貢献
- ・社会全体が助け合って共生すること
- ・社会の一部
- ・少子高齢化
- ・全ての人がそれぞれの幸せを掴む社会
- ・費用を子育て支援にまわすべき

高齢者・老人 15

- ・老人ホーム(2名)
- ・おじいちゃんおばあちゃん
- ・お年寄り
- ・お年寄りの人を助けること
- ・お年寄りを大切にすること
- ・高齢者への対応
- ・高齢者や障がい者のこと
- ・高齢者や障がい者も一緒に暮らせるくらし
- ・高齢であっても幸せに暮らすこと
- ・じいちゃんばあちゃんの世話
- ・老人介護
- ・老人が利用する
- ・老人にやさしくする ボランティアする
- ・年

大切 14

- ・大切(7名)
- ・大事(2名)
- ・生きていくために必要なこと
- ・一生大事なことだと思ふ
- ・生活に大切なもの
- ・なくてはならないもの
- ・必要なもの

平等 9

- ・平等(3名)
- ・すべての人が平等である社会
- ・すべての人に平等
- ・全員が平等な暮らし
- ・人が平等に暮らすためのこと
- ・人々が平等に暮らせるようにするもの
- ・みんな平等に幸せと思える生活

介護・障がい 8

- ・介護(5名)
- ・介護職
- ・障害者に優しい
- ・視覚・聴覚の障害

愛 6

- ・愛(5名)
- ・愛と心のハーモニー

親切

5

- ・親切(4名)
- ・親切心

つながり

4

- ・地域の人のつながり
- ・つながり
- ・人と人とのつながり
- ・人と人とをつなぐ架け橋

協力

3

- ・協力(3名)

その他

36

- ・良いこと(3名)
- ・大変(2名)
- ・人のためになること(2名)
- ・All over the world
- ・benefit
- ・QOL
- ・いいこと
- ・一生関わるもの
- ・笑顔
- ・気遣い
- ・興味が無い
- ・健康に過ごす
- ・差別意識の助長
- ・自分でできることもあればできないこともあること
- ・心身が健康でいられるようにすること。
- ・人生

わからない・難しい

57

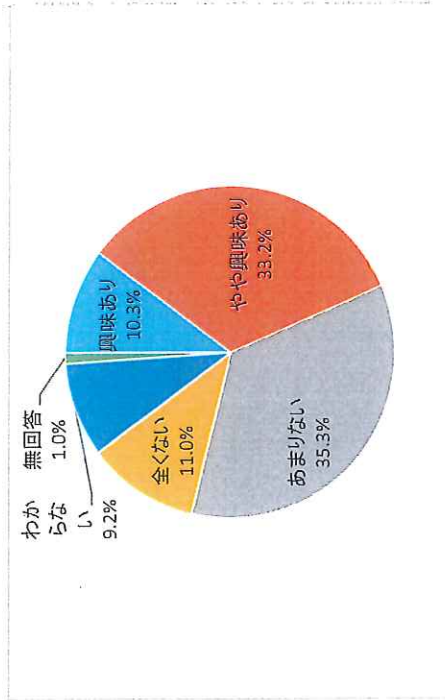
- ・わからない(36名)
- ・難しくわからない(14名)
- ・よくわからない(5名)
- ・内容が複雑
- ・表現がしにくく、よくわからない

- ・相互理解
- ・地域の人のつながり
- ・地域をよくするのに必要なもの
- ・無くてもいいがあった方がいいもの
- ・一言で表現できるものではない
- ・人として生きることが出来る
- ・人との関わり
- ・人と人との関わり
- ・人並みに生きる
- ・人のため
- ・人のために行う
- ・人のためのもの
- ・ふくし
- ・また改善点あり
- ・周りのために自分が我慢すること
- ・みんなのもの

(2) 福祉に対する興味について

	回答(人)	%
興味あり	59	10.3
やや興味あり	191	33.2
あまりない	203	35.3
全くない	63	11.0
わからない	53	9.2
無回答	6	1.0
全体	575	100.0

福祉に対する興味について(全体比)

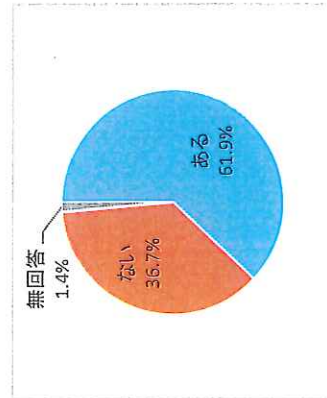


(3) 福祉体験実習の受講について

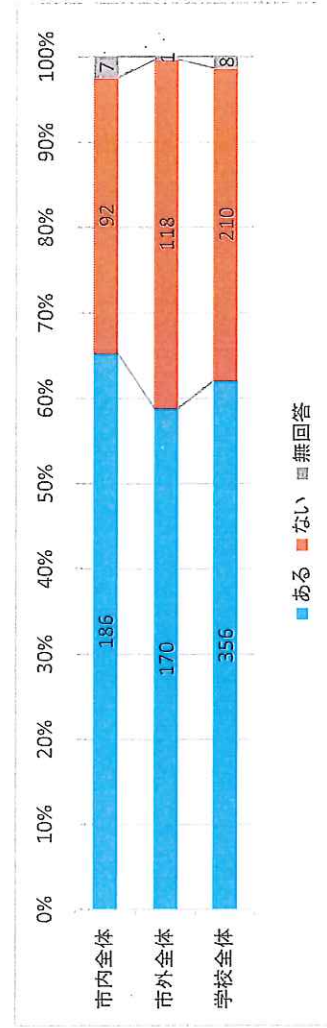
	回答(人)	%
ある	356	61.9
ない	211	36.7
無回答	8	1.4
全体	575	100.0

⇒(4)、(5)へ

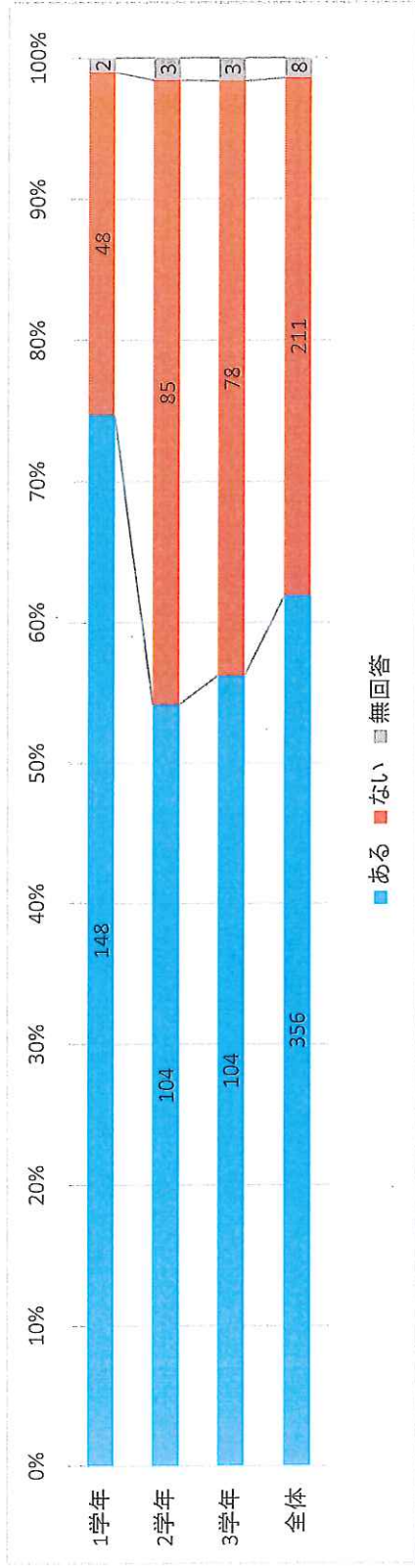
①福祉体験実習の受講について(全体比)



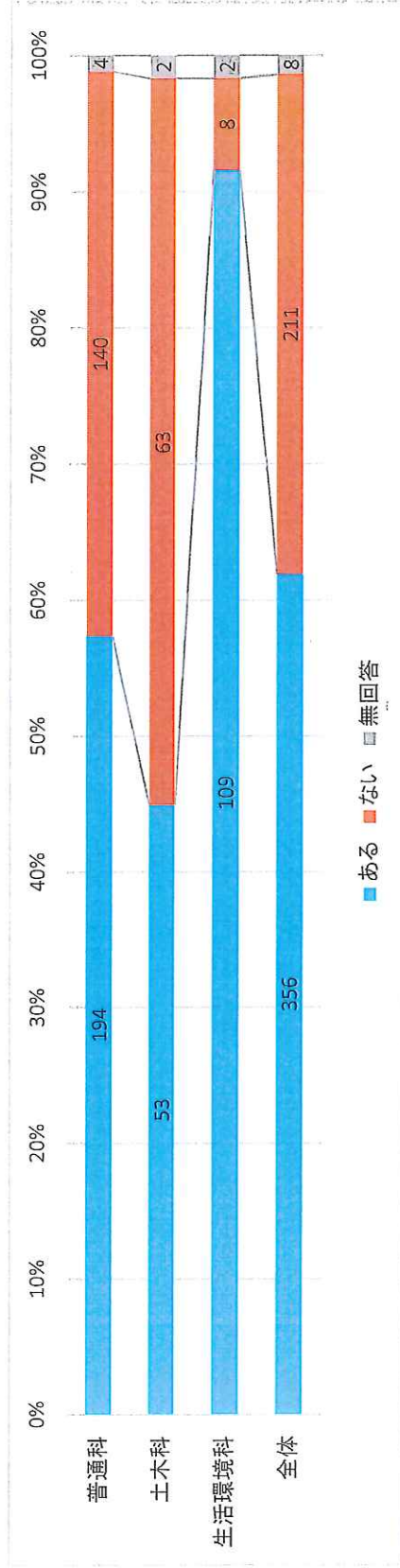
②福祉体験実習の受講について(市内外比較)



③福祉体験実習の受講について(学年別)



④福祉体験実習の受講について(学科別)

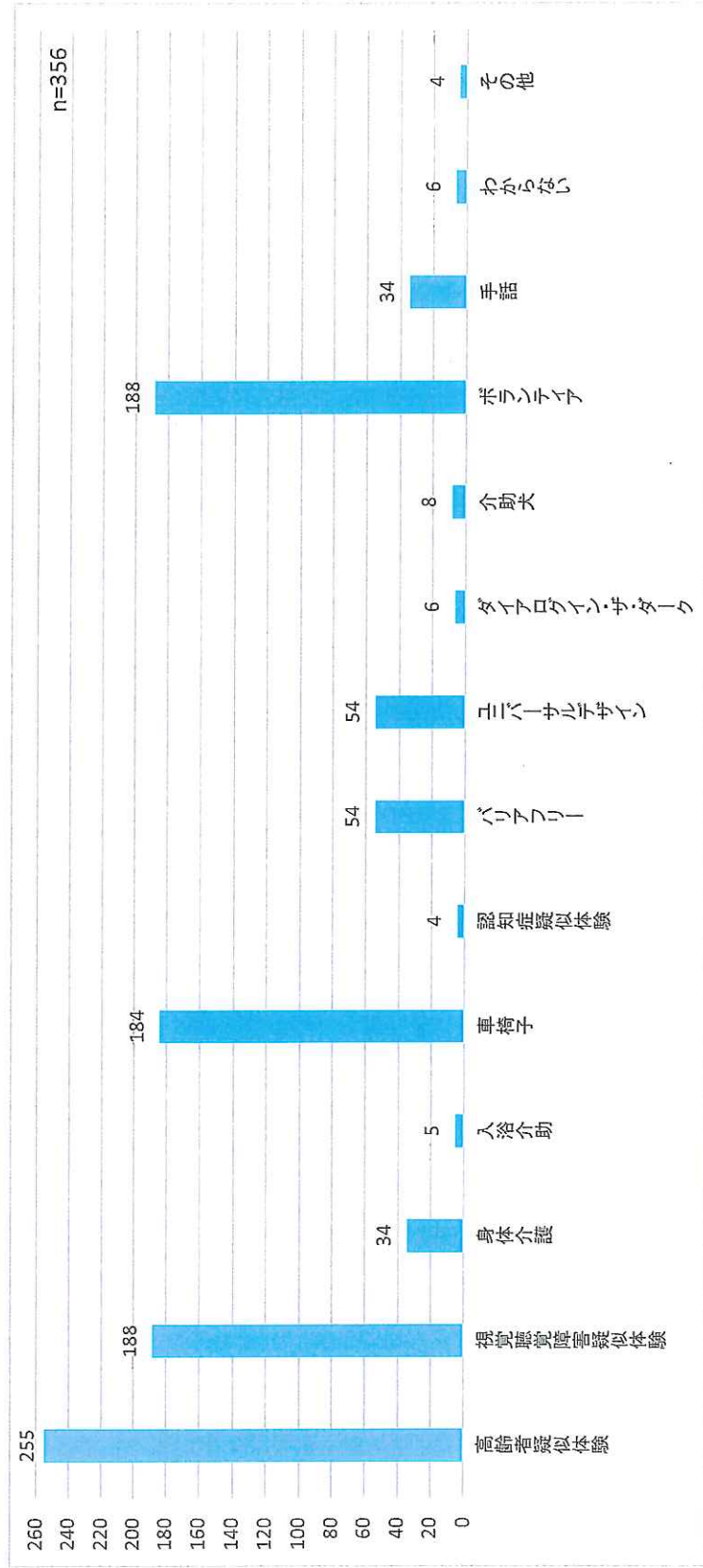


(4) 福祉体験実習の受講内容について

体験した項目	高齢者疑似体験	視覚聴覚障害疑似体験	身体介護	入浴介助	車椅子	認知症疑似体験	バリアフリー	ユニバーサルデザイン	ダイアログイン・ゲーター	介助犬	ボランティア	手話	わからない	その他
票数	255	188	34	5	184	4	54	54	6	8	188	34	6	4

【その他】

- ・足浴
- ・介護施設訪問
- ・14歳の挑戦
- ・保育所実習



(5) 福祉体験実習受講後の変化について

	回答(人)	%
役に立った	35	9.8
意識が変わった	206	57.9
自信をもつことができた	7	2.0
役立つ機会ない	47	13.2
特に何も変わらなかった	52	14.6
その他	9	2.5
全体	356	100.0

【その他】

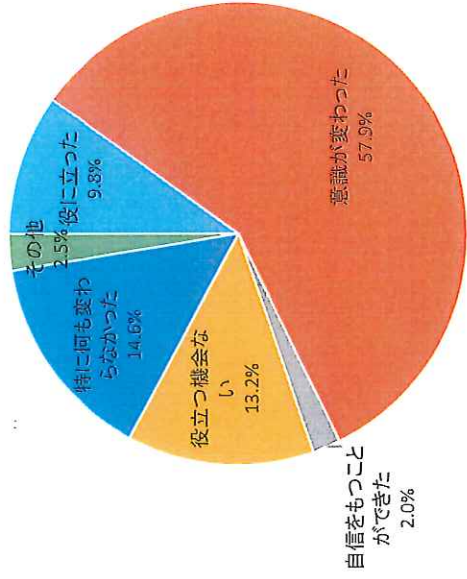
- ・相手の気持ちりが理解できた。
- ・お年寄りは大変だと思った。
- ・自分が車椅子に乗ることになったとき、上手に乗れた。
- ・そのような人の苦勞がわかった。
- ・高齢者の気持ち等が分かった。
- ・高齢者の私生活での過ごし方がわかった。
- ・高齢者の大変さが分かった。
- ・年をとりたくないと思った。

(6) 福祉体験実習の受講希望について

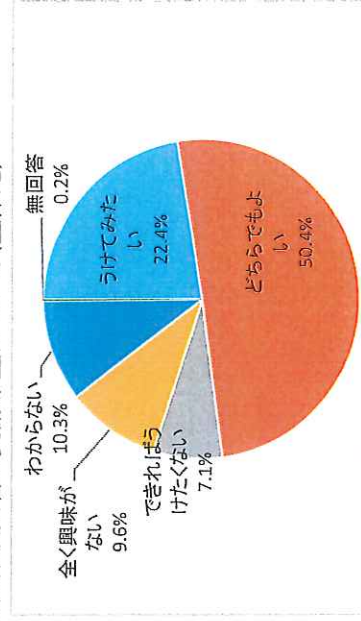
	回答(人)	%
うけてみたい	129	22.4
どちらでもよい	290	50.4
できればうけたくない	41	7.1
全く興味がない	55	9.6
わからない	59	10.3
無回答	1	0.2
全体	575	100.0

⇒(7)へ

福祉体験実習受講後の変化について(全体比)

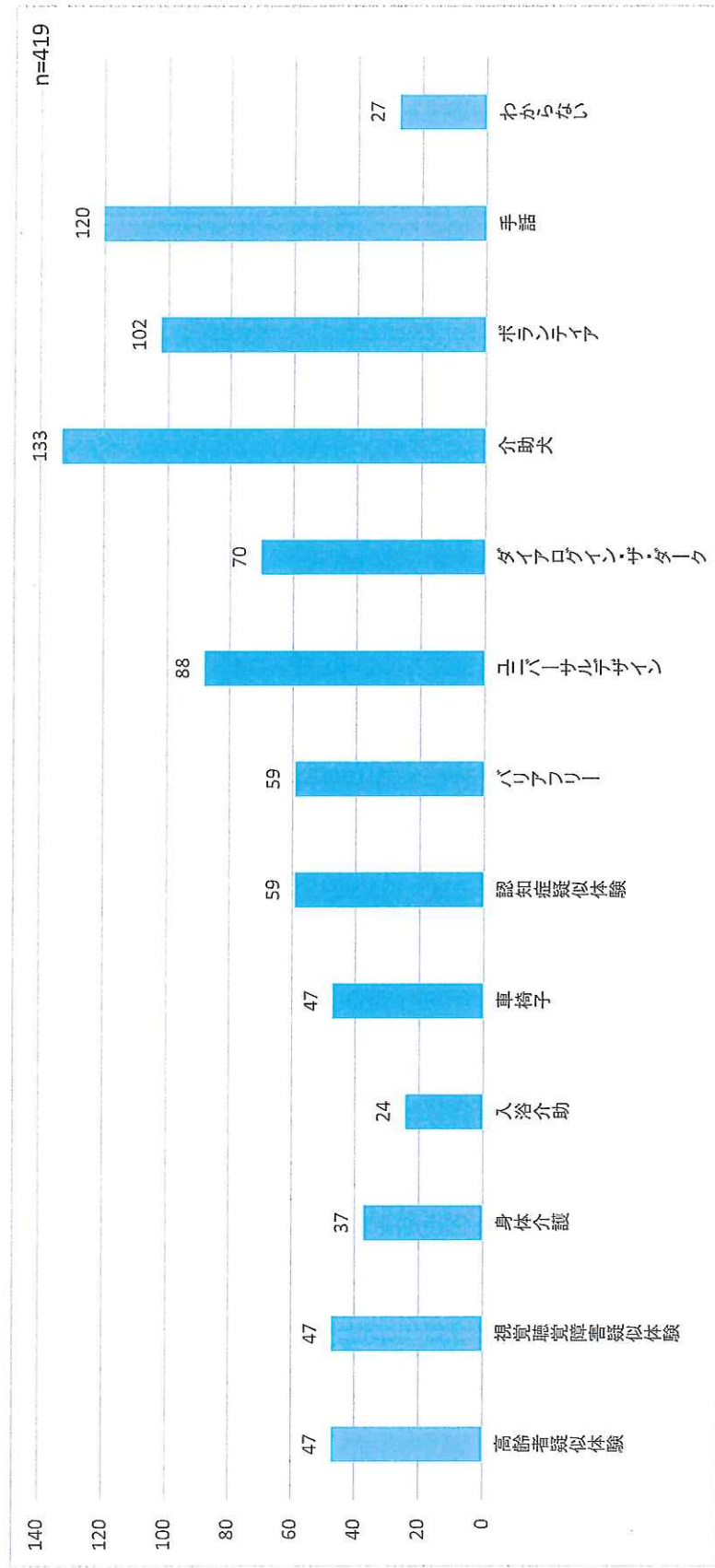


福祉体験実習の受講希望について(全体比)



(7) 福祉体験実習の受講希望内容について

体験したい項目	高齢者疑似体験	視覚聴覚障害疑似体験	身体介護	入浴介助	車椅子	認知症疑似体験	ハリアフリー	ユニバーサルデザイン	ダイロイ・ン・ザ・ダーク	介助犬	ボランティア	手話	わからない
票数	47	47	37	24	47	59	59	88	70	133	102	120	27

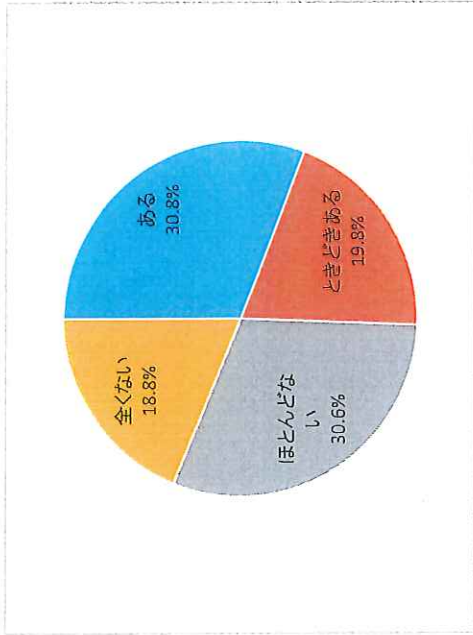


(8) 日々の生活環境について

高齢者、介護者、障がい者に関わる機会	回答(人)	%
ある	177	30.8
ときどきある	114	19.8
ほとんどない	176	30.6
全くない	108	18.8
全体	575	100.0

⇒(9)へ

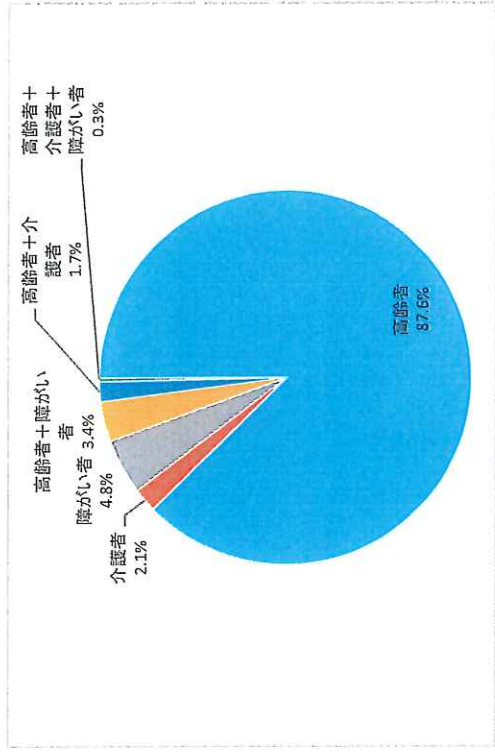
日々の生活環境について(全体比)



(9) 日々の生活で関わることのある人について

対象となる方	回答(人)	%
高齢者	255	87.6
介護者	6	2.1
障がい者	14	4.8
高齢者＋障がい者	10	3.4
高齢者＋介護者	5	1.7
高齢者＋介護者＋障がい者	1	0.3
全体	291	100.0

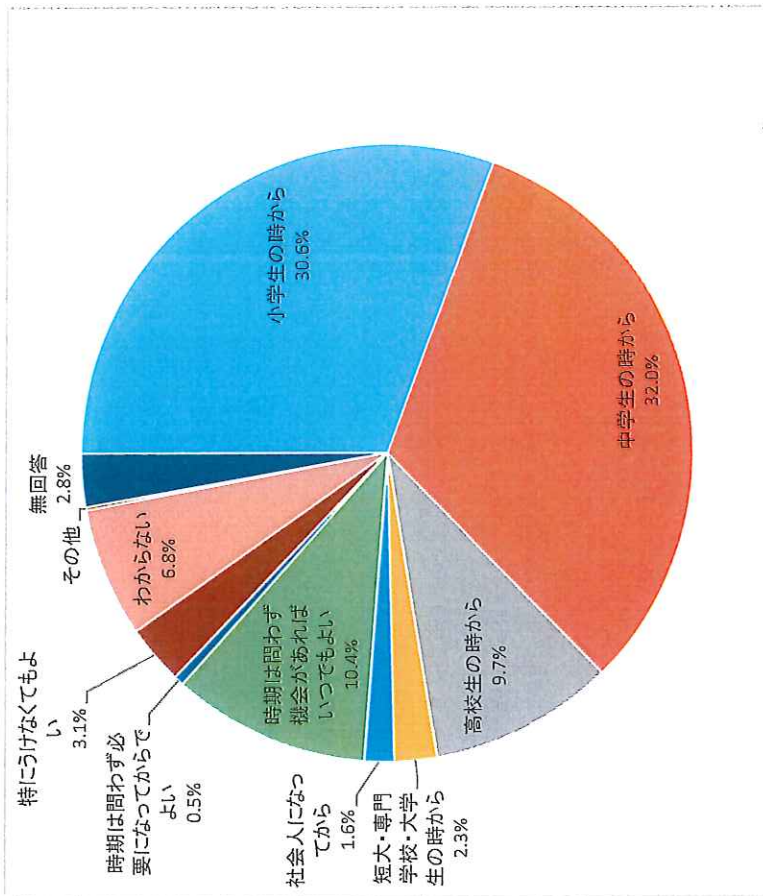
日々の生活で関わることのある人について(全体比)



(10) 福祉体験実習の受講時期について

	回答(人)	%
小学生の時から	176	30.6
中学生の時から	184	32.0
高校生の時から	56	9.7
短大・専門学校・大学生の時から	13	2.3
社会人になってから	9	1.6
時期は問わず機会があればいつでもよい	60	10.4
時期は問わず必要になってからでよい	3	0.5
特にうけなくてもよい	18	3.1
わからない	39	6.8
その他	1	0.2
無回答	16	2.8
全体	575	100.0

福祉体験実習の受講時期について(全体比)



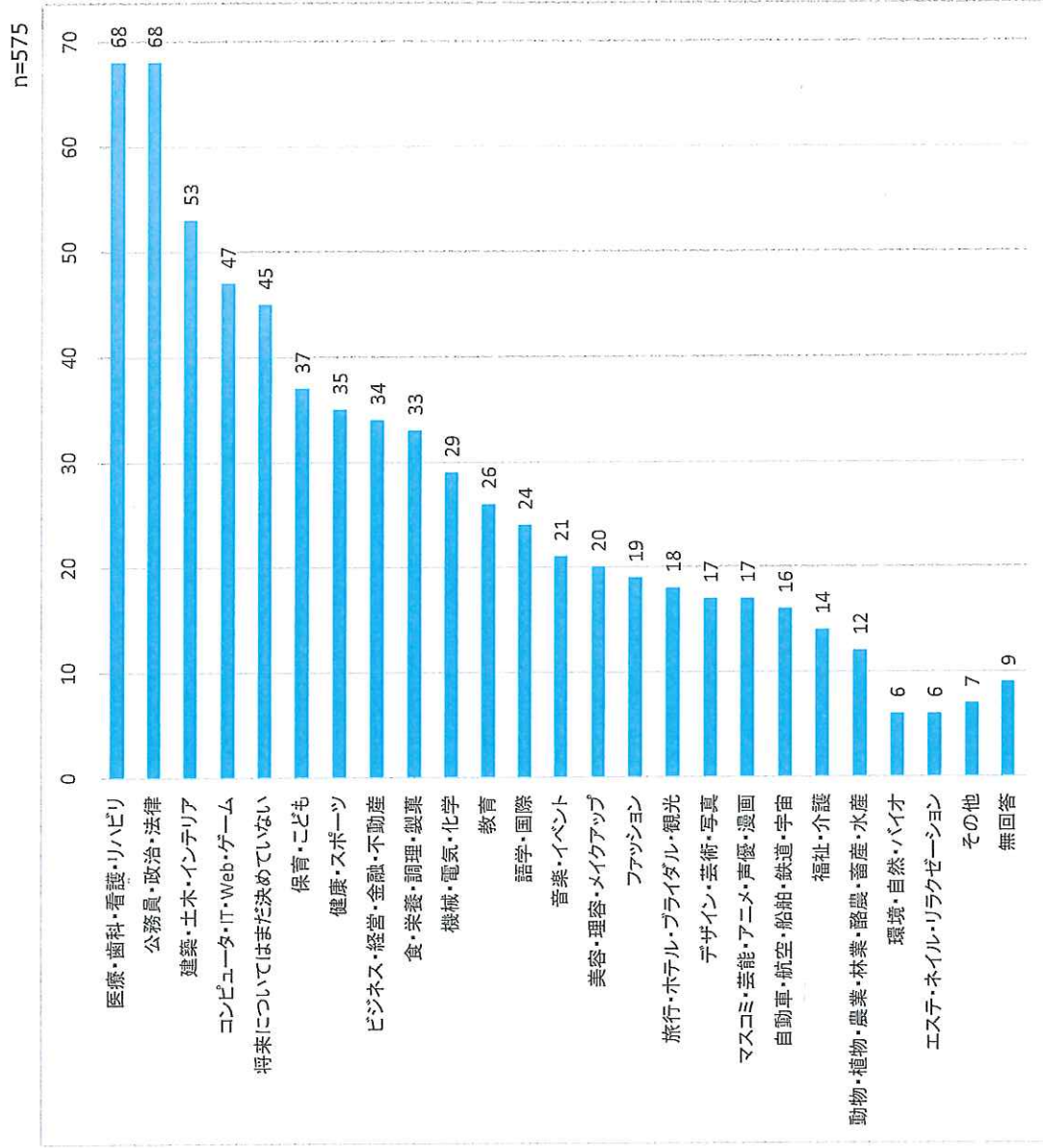
4 将来について

(1) 興味のある職種について

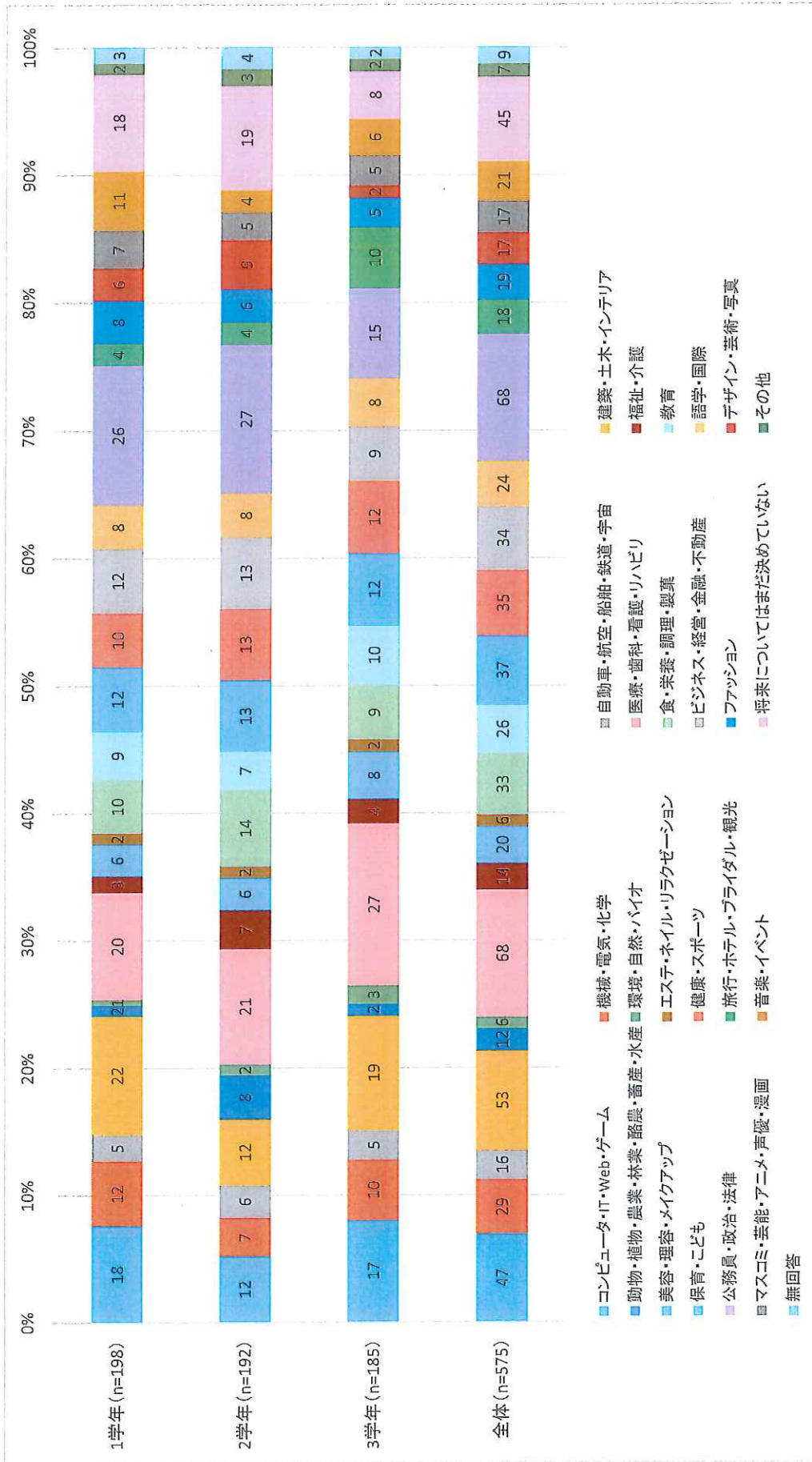
職種名	票数
医療・歯科・看護・リハビリ	68
公務員・政治・法律	68
建築・土木・インテリア	53
コンピュータ・IT・Web・ゲーム	47
将来についてはまだ決めていない	45
保育・子ども	37
健康・スポーツ	35
ビジネス・経営・金融・不動産	34
食・栄養・調理・製菓	33
機械・電気・化学	29
教育	26
語学・国際	24
音楽・イベント	21
美容・理容・メイクアップ	20
ファッション	19
旅行・ホテル・ブライダル・観光	18
デザイン・芸術・写真	17
マスコミ・芸能・アニメ・声優・漫画	17
自動車・航空・船舶・鉄道・宇宙	16
福祉・介護	14
動物・植物・農薬・林業・酪農・畜産・水産	12
環境・自然・バイオ	6
エステ・ネイル・リラクゼーション	6
その他	7
無回答	9

【その他】

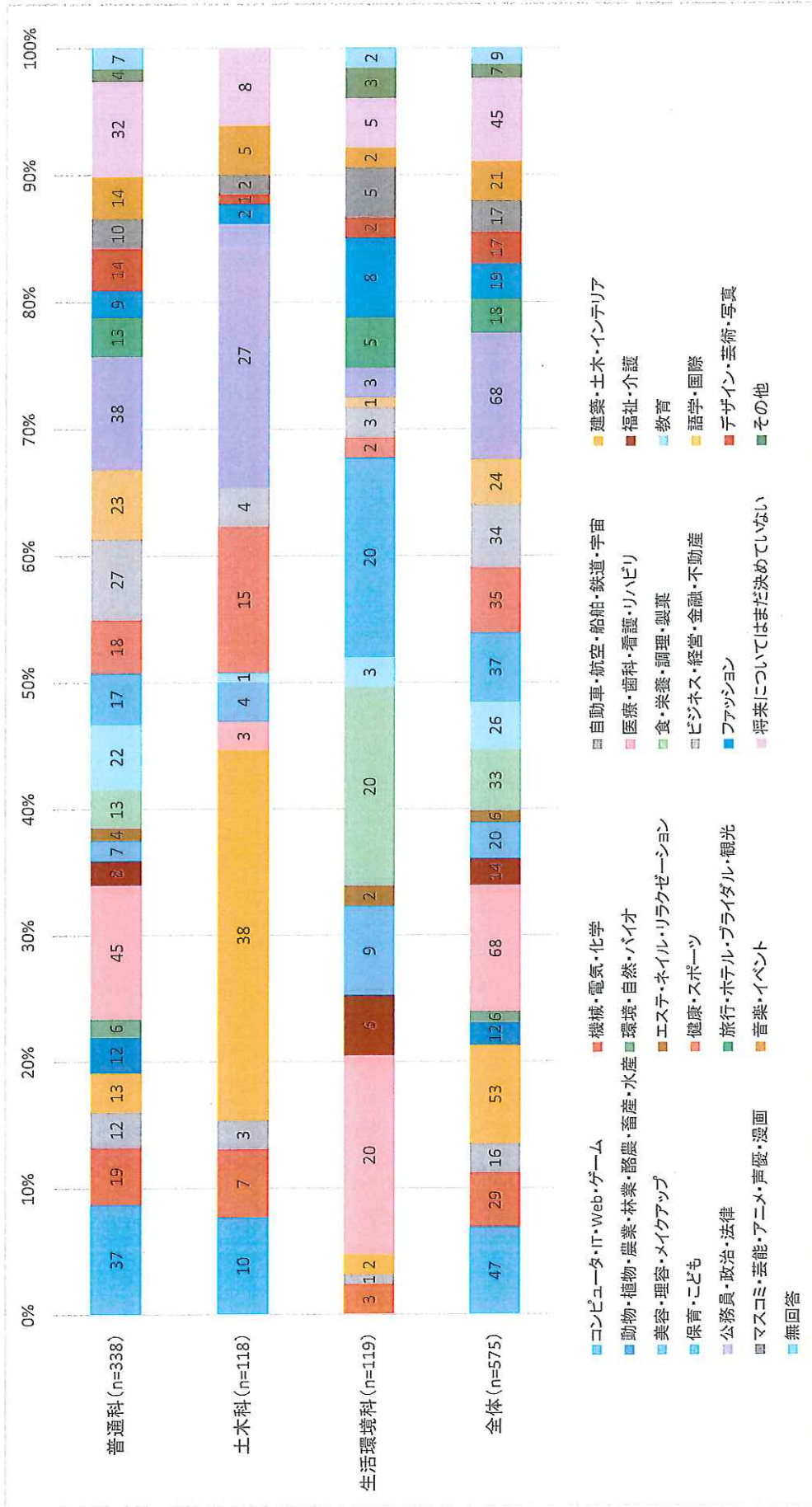
消防、義肢装具士、神職、心理学、スポーツ学と芸術、製造業



①興味のある職種について(学年別比較)



②興味のある職種について(学科別比較)



(2) 将来の仕事について

	回答(人)	%
できれば市内(地元)で仕事をしたい	62	10.8
できれば県内で仕事をしたい	189	32.9
できれば県外で仕事をしたい	127	22.1
できれば海外で仕事をしたい	15	2.6
進学後(大学・短大・専門学校等)に考える	95	16.5
すでに決まっている	21	3.7
まだ何も考えていない	54	9.4
その他	5	0.9
無回答	7	1.2
全体	575	100.0

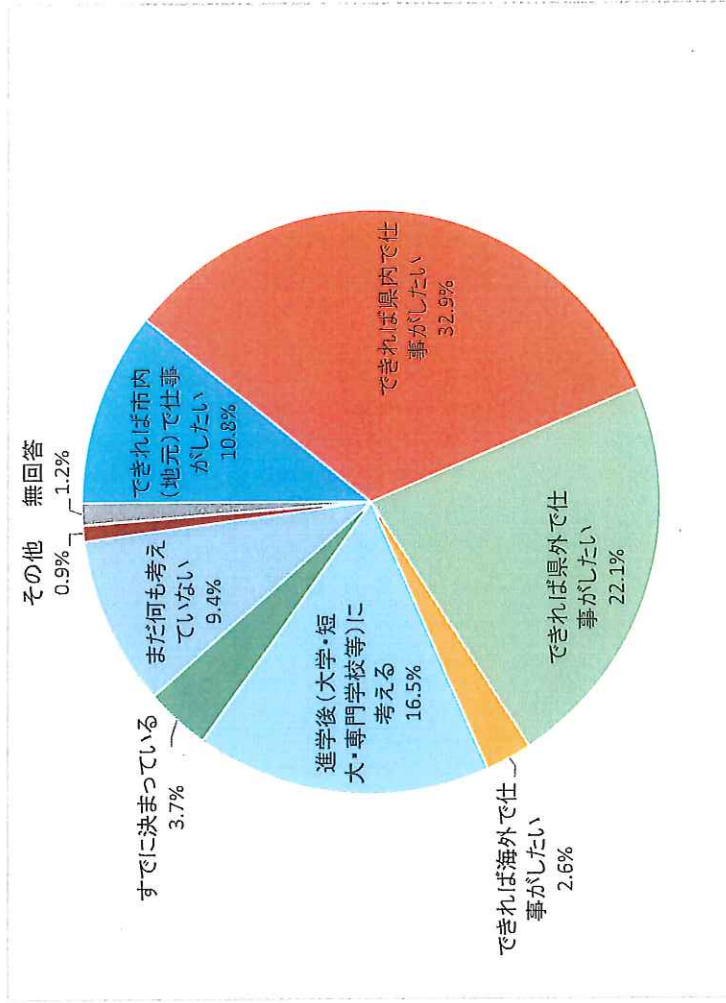
【その他】

- ・大まかに決めている
- ・働きたくない。
- ・場所は決めていない。
- ・国内ならどこでもいい。
- ・海外か県外

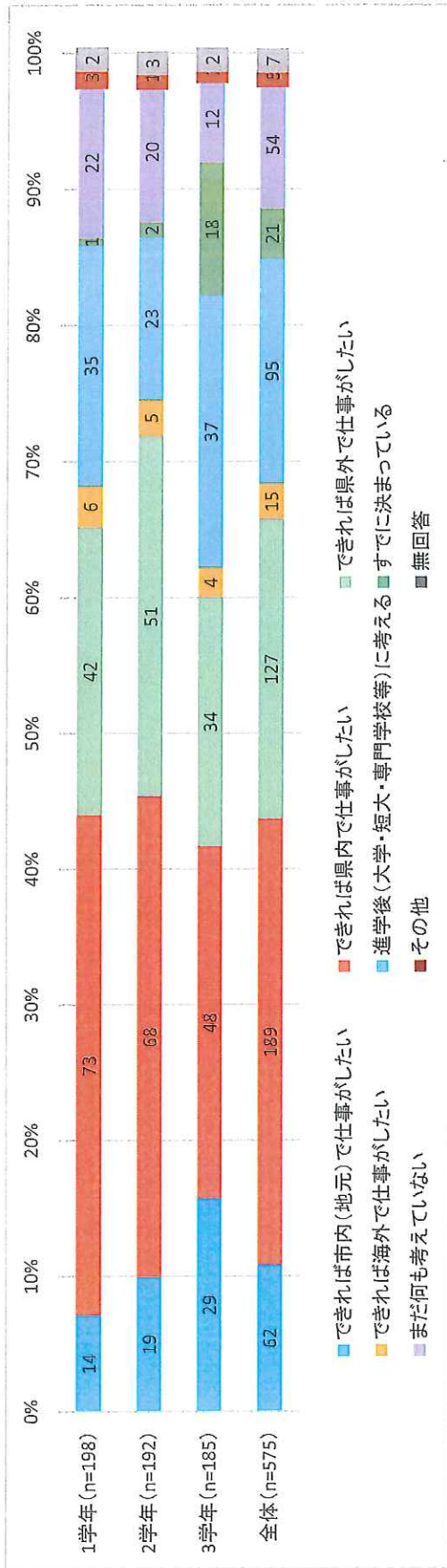
(内訳)

居住地	黒部市	魚津市	滑川市	入善町	朝日町
地域別全体生徒数	285	125	48	77	32
できれば市内(地元)で仕事をしたい	35	14	1	9	3
全体比(%)	12.3	11.2	2.1	11.7	9.4

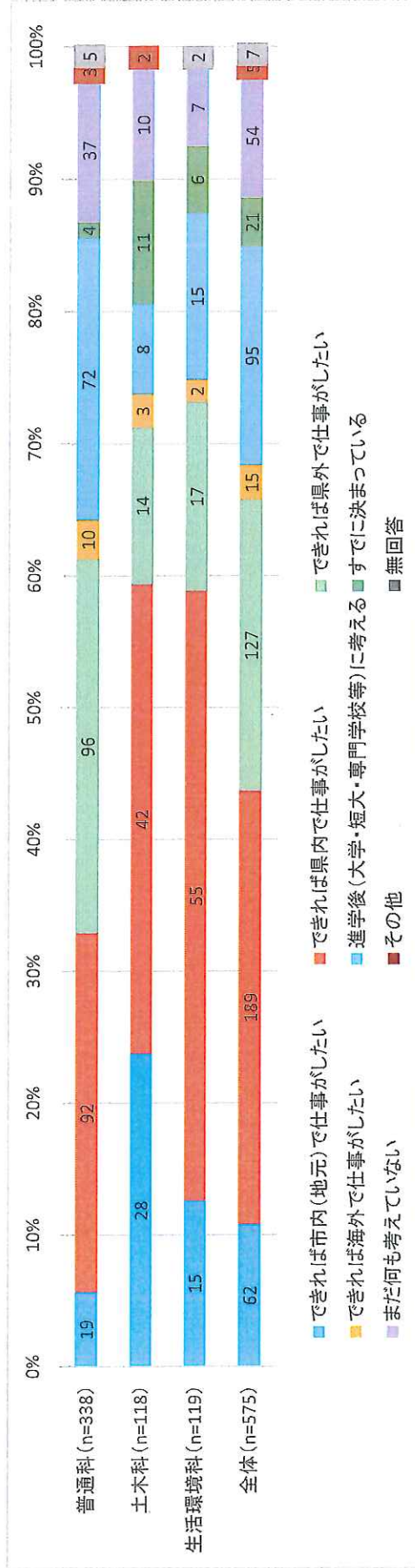
①将来の仕事について(全体比)



②将来の仕事について(学年別比較)



③将来の仕事について(学科別比較)



(3) 居住希望について

地区名	生地	石田	田家	村椿	大布施	三日市	前沢	荻生	若栗	東布施	宇奈月	内山	愛本	下立	浦山	市内全体	魚津市	滑川市	入善町	朝日町	左記以外※	市外全体	無回答	学校全体
ずっと住みたい	4	5	9	1	13	4	5	6	4	2	1	0	1	0	2	57	21	9	8	6	0	44	0	101
一度は地元を出た いが、将来は帰って きたい	5	8	8	9	20	21	9	9	6	3	2	2	1	4	5	112	52	26	40	13	3	134	1	246
住みたくない	2	1	4	0	11	3	0	2	1	0	2	0	0	0	2	28	12	3	15	2	2	34	0	62
どちらともいえない	2	11	7	5	14	13	5	6	8	2	3	1	0	2	6	85	38	10	14	10	2	74	0	159
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	3
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	3

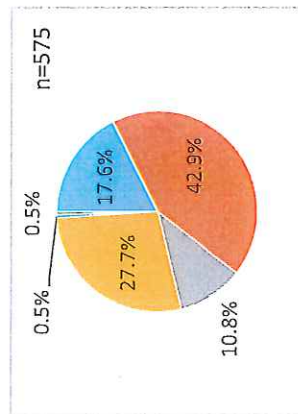
⇒(4)～

⇒(5)～

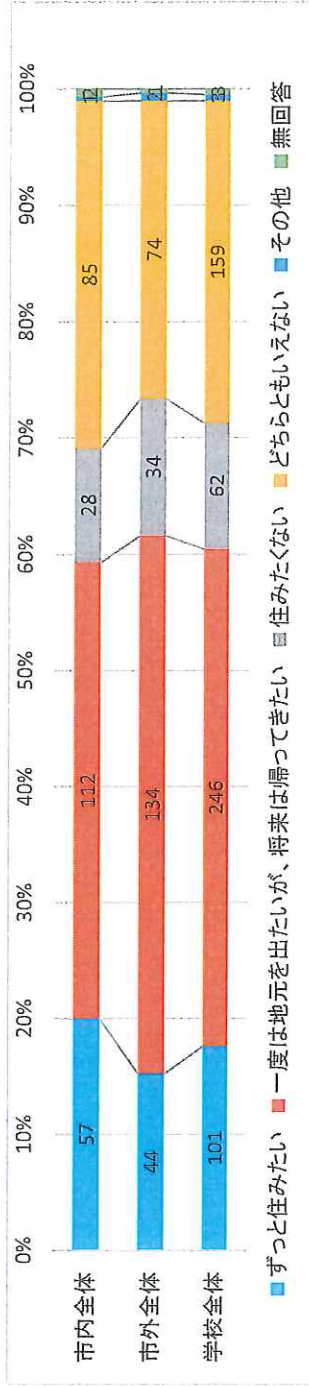
【その他】

- ・将来は地元を出たい。
- ・どっちでもいい。
- ・住みたくないとは思わないが、正直自分の力を発揮しやすい地域(県)とは思えない。

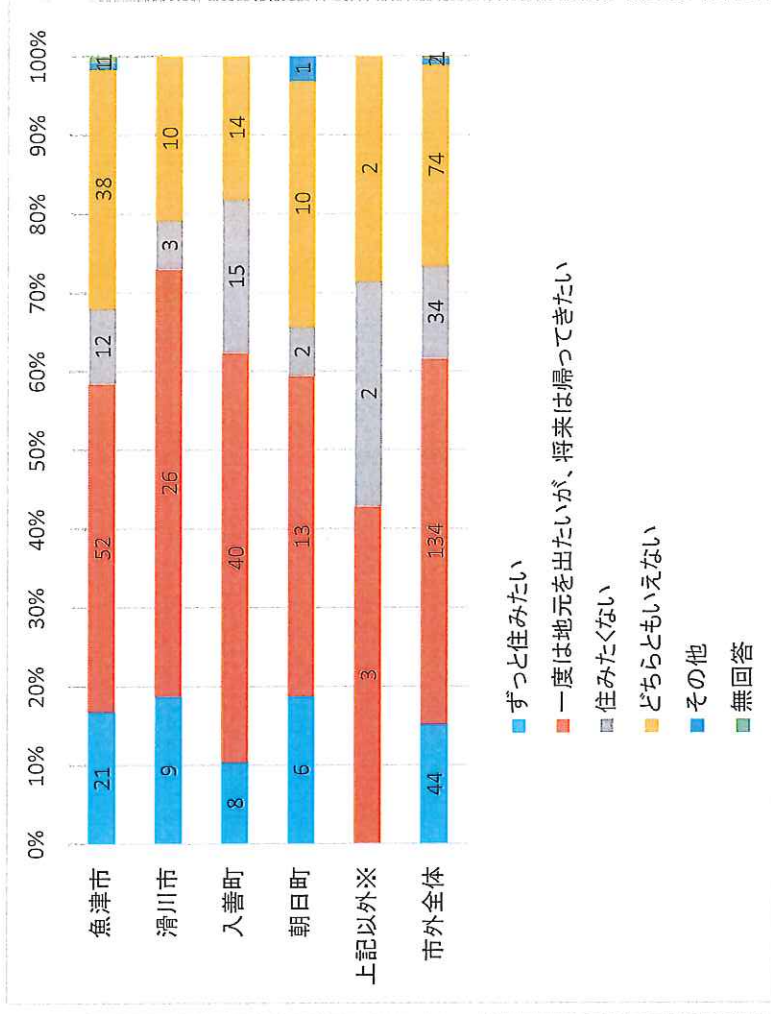
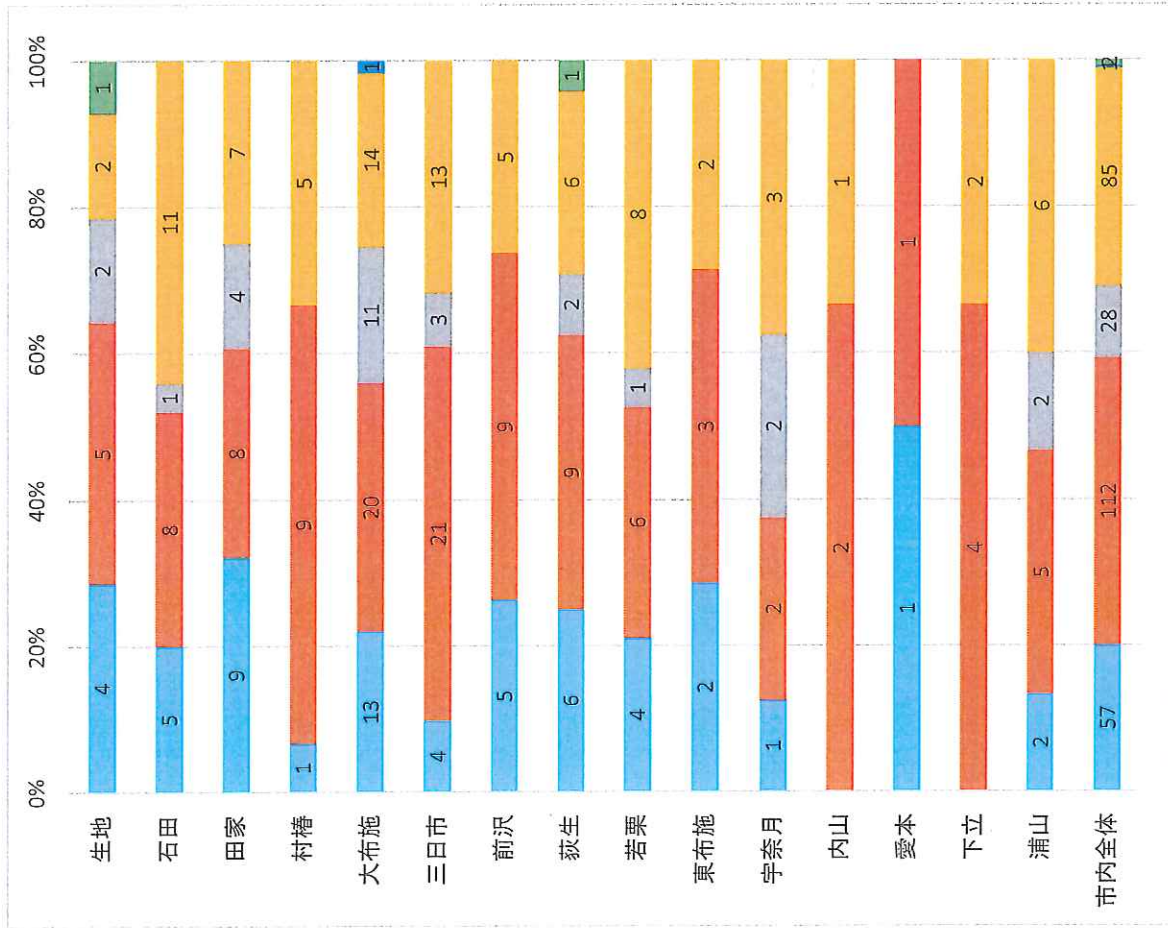
① 居住希望について(全体比)



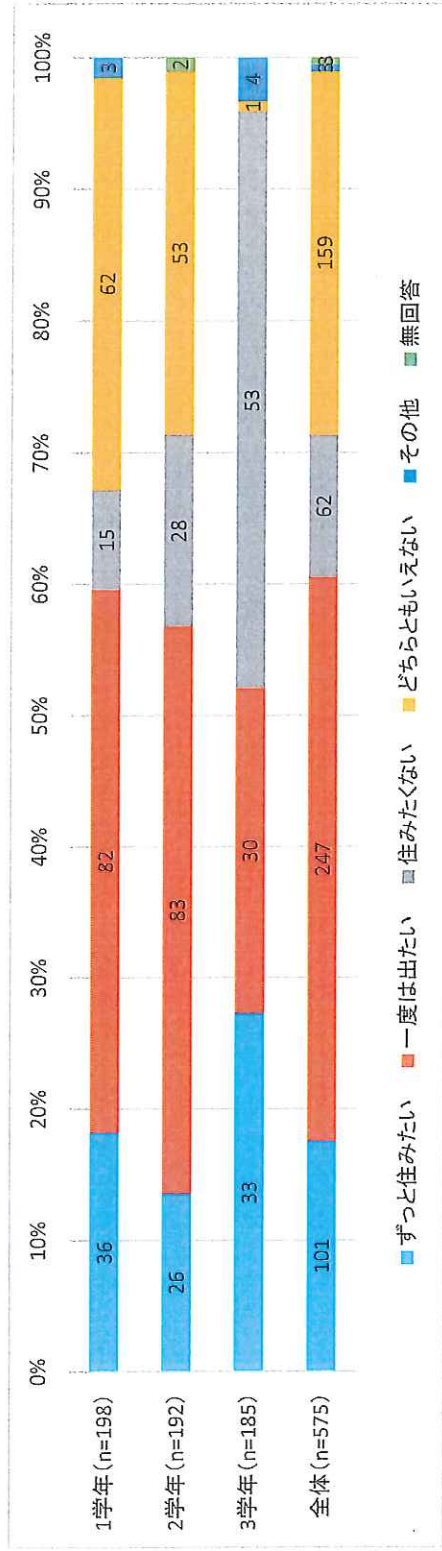
② 居住希望について(市内外比較)



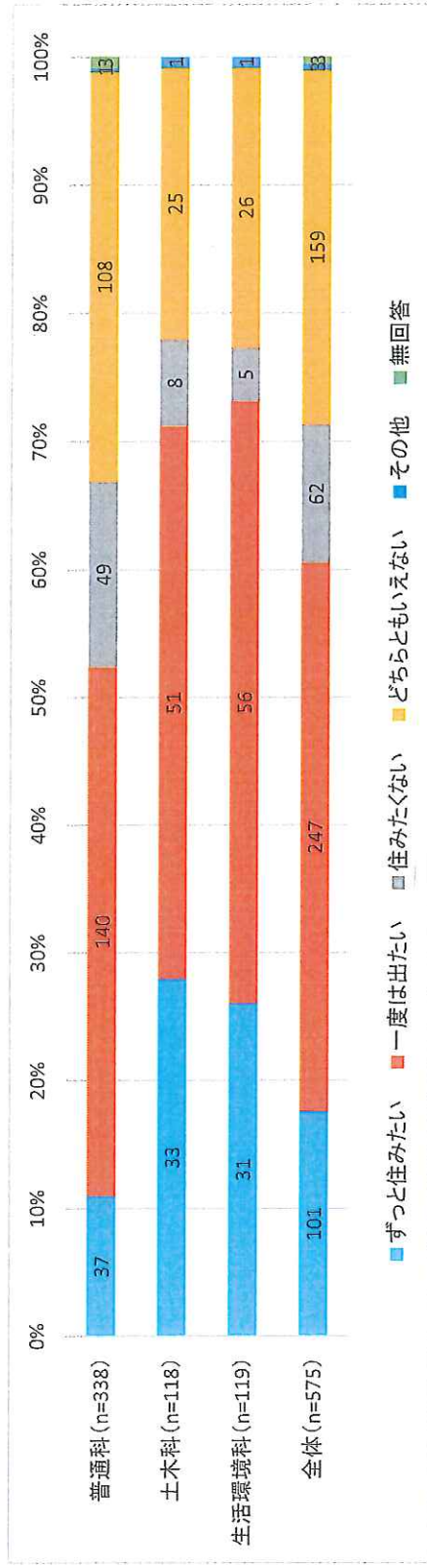
③居住希望について(地区別比較)



④ 居住希望について(学年別比較)



⑤ 居住希望について(学科別比較)



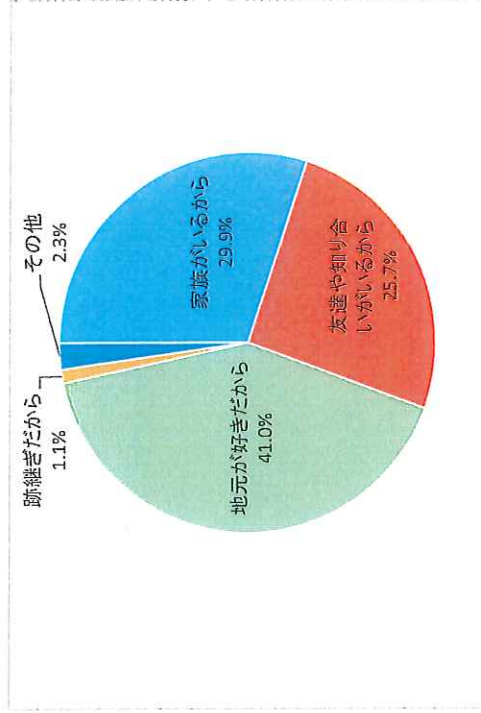
(4) 居住希望者の理由について

	回答(人)	%
家族がいるから	106	29.9
友達や知り合いがいるから	91	25.7
地元が好きだから	145	41.0
跡継ぎだから	4	1.1
その他	8	2.3
全体	354	100.0

【その他】

- ・一番落ち着く
- ・会社が地元にあるから
- ・環境がいいから
- ・自分の育った土地だから
- ・好きな人がいるから
- ・祖母の家を引き継いで住みたいから
- ・平和だから

居住希望者の理由について(全体比)



(内訳)

居住地	黒部市	魚津市	滑川市	入善町	朝日町
地域別全体生徒数	285	125	48	77	32
地元が好きだから	71	29	16	19	10
全体比 (%)	24.9	23.2	33.3	24.7	31.3

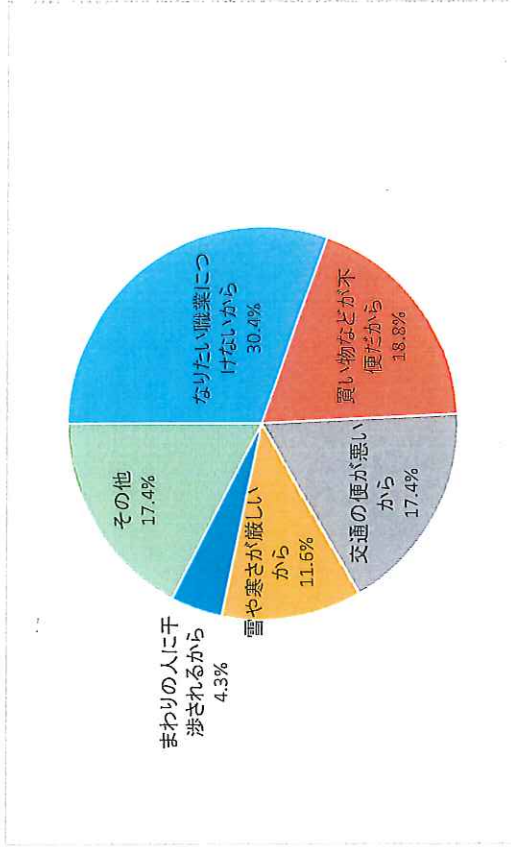
(5) 居住を希望しない理由について

	回答(人)	%
なりたい職業につけないから	21	30.4
買い物などが不便利だから	13	18.8
交通の便が悪いから	12	17.4
雪や寒さが厳しいから	8	11.6
まわりの人に干渉されるから	3	4.3
まわりの人が冷たいから	0	0.0
その他	12	17.4
全体	69	100.0

【その他】

- ・1～6全て(2名)
- ・新しいみたことのない町に住みたいから
- ・家から出たい。
- ・同じところにずっといることに面白みを感じない。
- ・地元恋愛が湧いていないから
- ・住みやすい県なのだけけれど、足りない事が多すぎて、自分の思うことができない。
- ・狭いコミュニケーションの中で生きるのは息苦しさを感じるから
- ・他県の文化や人々との交流から自分にはないスキルを身につけたいから。
- ・ただ県外にいきたいだけ
- ・何もなければ
- ・なんとなく

居住を希望しない理由について(全体比)



【参考】「なりたい職業につけない」と回答している人(21名)の興味がある仕事について

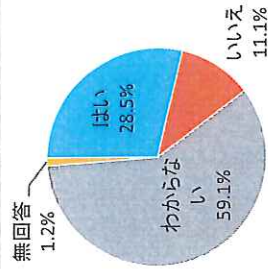
- ①コンピュータ・IT・Web・ゲーム
- ②ビジネス・経営・金融・不動産
- ③建築・土木・インテリア
- ④言語・国際
- ⑤医療・歯科・看護・リハビリ
- ⑥旅行・ホテル・ブライダル・観光
- ⑦福祉・介護
- ⑧ファッション
- ⑨美容・理容・メイクアップ
- ⑩デザイン・芸術・写真
- ⑪エステ・ネイル・リラクゼーション
- ⑫マスコミ・芸能・アニメ・声優・漫画
- ⑬食・栄養・調理・製菓
- ⑭音楽・イベント
- ⑮教育
- ⑯保育・子ども

5 福祉の複合施設について

(1) 複合施設ができたなら利用するかについて

	回答(人)	%
はい	164	28.5
いいえ	64	11.1
わからない	340	59.1
無回答	7	1.2
全体	575	100.0

複合施設ができたなら利用するかについて(全体比)



【具体的な理由】

①はいと答えた方

- ・色々な人と関わりたいと考えているから
- ・介護者を家に置いておくが大変だから
- ・高齢者になった時、便利だと思うから
- ・心のストレス軽減になると思う。
- ・子供達の遊び場や勉強場としても活用できたら便利だし、気軽によって福祉のことを知れるのは良いことだと思うから
- ・困ったことがあったら相談できるから
- ・支援が多く必要な方も集えて学生も多く集える場だったらたくさんお互いにより刺激になると思う。
- ・自分が介護する側になったとき、便利だと思うから
- ・地元である黒部市を盛り上げていくため
- ・たくさんの人と交流できるから
- ・誰でも集える場は大切
- ・誰もが集える場というものは良いと思う。
- ・地域の活性化にもつながると思うから
- ・地域の人や周りの友達とコミュニケーションをとることが出来るから
- ・悩み事が解決するかもしれないから
- ・にぎやかになると思う。
- ・母親や介護する側になったとき利用したいと思うかも
- ・福祉の活性化につながると思うから
- ・福祉の知識を得ることが出来るから
- ・身近になるから

②いいえと答えた方

- ・行く機会がないから
- ・興味がない(2名)
- ・黒部市民の意見や要望に応える場だから
- ・激臭、えぐい
- ・地元ではないから(7名)
- ・特に興味がわからないから
- ・隣の市まで来るのが大変だから
- ・福祉にあまり興味がないから
- ・普段から高齢者に会う機会が多いから
- ・面倒くさい
- ・利用する必要性がわからないから
- ・外に出ないから

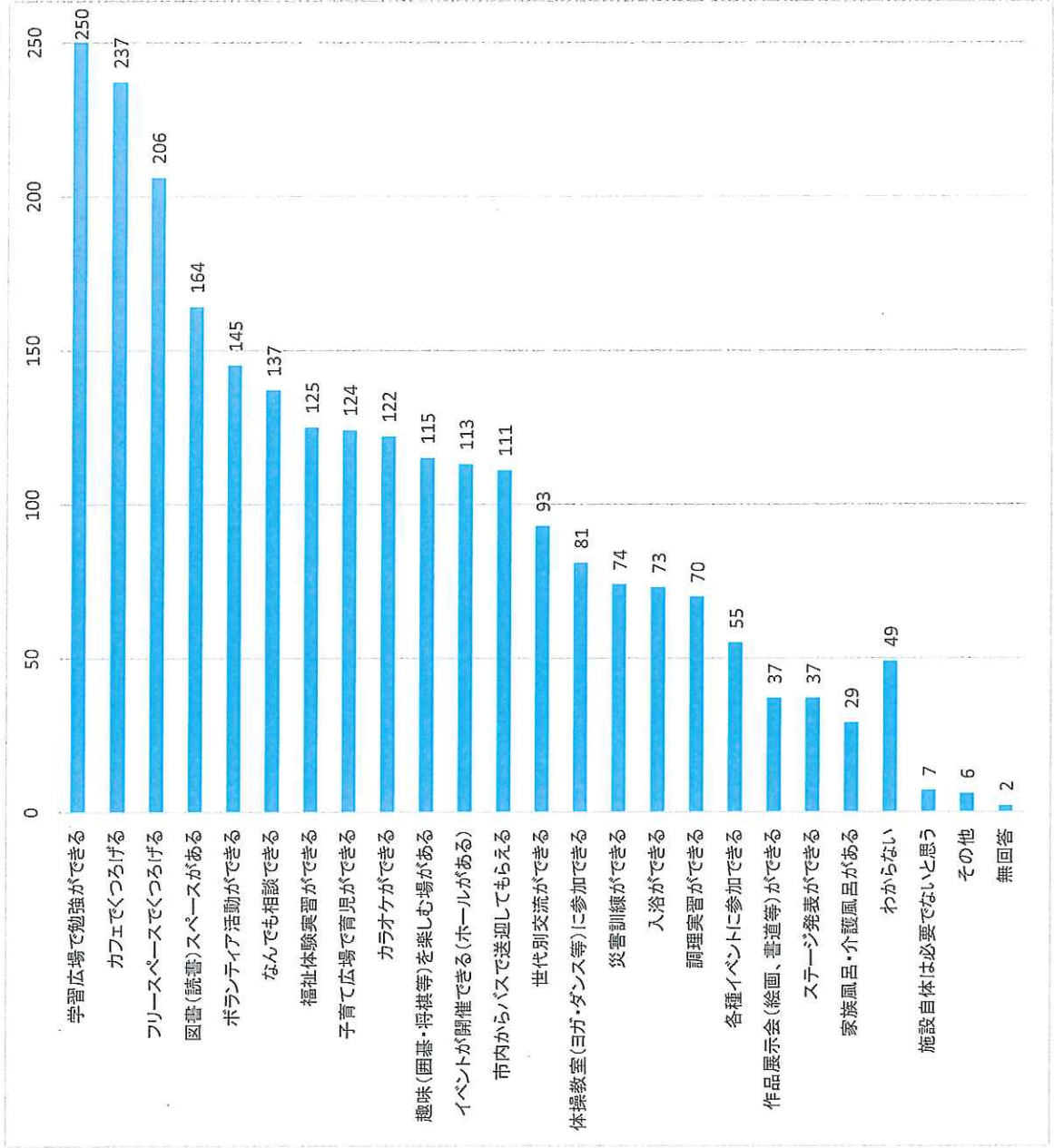
③わからないと答えた方

- ・黒部市在住ではないから
- ・自分の家族は誰も介護を必要としていないので、あまり関係がないと思うから
- ・どの点との複合か、どんな人に対しての福祉かわからないから
- ・どんなものかわからないし、用があるともいえないから
- ・まだ必要性を感じない
- ・もう既にあるから(コーラー、メルシー、市役所)

(2) 複合施設の利用環境について

	票数
学習広場で勉強ができる	250
カフェでくつろげる	237
フリースペースでくつろげる	206
図書(読書)スペースがある	164
ボランティア活動ができる	145
なんでも相談できる	137
福祉体験実習ができる	125
子育て広場で育児ができる	124
カラオケができる	122
趣味(囲碁・将棋等)を楽しむ場がある	115
イベントが開催できる(ホールがある)	113
市内からバスで送迎してもらえる	111
世代別交流ができる	93
体操教室(ヨガ・ダンス等)に参加できる	81
災害訓練ができる	74
入浴ができる	73
調理実習ができる	70
各種イベントに参加できる	55
作品展示会(絵画、書道等)ができる	37
ステージ発表ができる	37
家族風呂・介護風呂がある	29
わからない	49
施設自体は必要でないと思う	7
その他	6
無回答	2

n=575



【その他】

- ・運動公園（競技場など）
- ・海外交流
- ・ゲームセンター（最新のプリ機がある）
- ・公園
- ・食事ができる、食堂のような施設
- ・遊具

6 黒部市社会福祉協議会に対する意見及び質問（自由記述）

- ・あいの風とやま鉄道黒部止まりを泊まで
- ・あいの風とやま鉄道増発
- ・学習するスペースを増やしてほしい。
- ・がんばってください。
- ・黒部にゲームセンターを作ってください。（最新のプリ機がある）
- ・是非つくってほしい。
- ・どのような仕事をしているかよく知らない。
- ・福祉施設ができればたくさん増えればいいですね。
- ・陸上にもっと力を入れてほしい。YKKもあるし

黒部社会福祉協議会

『福祉に関する中学・高校生アンケート』

みなさんは、黒部市の福祉や地域について、どのように考えていますか。また、身の回りの介護者、障がい者の方と関わる時にどのようなことを感じていますか。黒部市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」を目指し、黒部市の福祉環境の充実、向上、「第3次黒部市地域福祉活動計画」づくり(H30～H34)への反映を行うため、福祉の現状を把握いたしたく、未来の黒部市を担う世代の方々へアンケート調査を実施いたします。みなさんの率直なご意見をお聞かせください。ご協力よろしく申し上げます。

《ご記入にあたっての注意点》

- 1 回答は、設問にしたがって、該当する番号に○をつけてください。
- 2 「その他」の項目に○をつけた場合は、()の中になるべく具体的な内容をご記入ください。
- 3 本調査へのご質問・お問い合わせは、下記までご連絡ください。

〒938-0022 黒部市金屋464番の1

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

TEL 0765-54-1082

FAX 0765-52-2797

◎ あなた自身の情報について

問1 あなたの性別に○をしてください。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの住んでいる地域はどちらですか。

1. 生地 2. 石田 3. 田家 4. 村椿
5. 大布施 6. 三日市 7. 前沢 8. 荻生
9. 若栗 10. 東布施 11. 宇奈月 12. 音沢
13. 内山 14. 愛本 15. 下立 16. 浦山
17. 魚津市 18. 滑川市 19. 入善町 20. 朝日町
21. 上記以外の市町村 ()

◎ 地域生活について

問3 あなたは、近所づきあいについてどう思いますか。1つ選んでください。

1. 助け合って生きていくためには大切なことだと思う
2. 近所づきあいは当然であり、特別なこととは思わない
3. あいさつぐらいはするが、深く関わりたくない
4. わずらわしいので、あまりつきあいはしたくない
5. その他 ()

問4 あなたの近所の方々は、あいさつや声をかけてくれますか。1つ選んでください。

1. 会えば必ず声をかけてくれる
2. ときどき声をかけてくれる
3. ほとんど声をかけてくれない
4. まったく声をかけてくれない

問5 あなたは、近所の方々に「ありがとう」と思っていることはありますか。

1. ある 2. ない

問6 問5で「1.ある」と答えた方にお聞きします。それはどのようなことですか。
1つ選んでください。

1. 通学路などの見守り
2. ごみの分別や後始末
3. 地域の美化活動
4. 資源回収
5. 地域行事の実施（祭りなど）
6. その他 ()

◎ 福祉体験実習について

問7 あなたが思う『福祉』とは…？ひと言で伝えるとしたらどのように表現しますか。

(例) やさしい、幸せな暮らし、難しくてわからない 等

()

問8 あなたは、福祉に興味がありますか。

1. 興味がある
2. やや興味がある
3. あまり興味がない
4. 全く興味がない
5. わからない

問9 あなたは、これまでに福祉体験実習をうけたことはありますか。

1. ある
2. ない

問10 問9で「1.ある」と答えた方に聞きます。どのような福祉体験実習をうけましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 高齢者疑似体験 | 11. ボランティア体験 |
| 2. 視覚・聴覚障害疑似体験 | 12. 手話 |
| 3. 身体介護体験 | 13. わからない |
| 4. 入浴介助体験 | 14. その他 |
| 5. 車椅子体験 | |
| 6. 認知症疑似体験 | |
| 7. バリアフリー体験 | |
| 8. ユニバーサルデザイン体験 | |
| 9. ダイアログ・イン・ザ・ダーク (暗闇体験) | |
| 10. 介助犬体験 | |

問11 問9で「1.ある」と答えた方に聞きます。実習後、変化したことはありましたか。
1つ選んでください。

1. 生活面で役に立った
2. 福祉に関する意識が変わった
3. 自信をもつことができた
4. 役に立つ機会があまりなかった
5. 特に何も変わらなかった
6. その他 ()

問12 あなたは、今後、福祉体験実習ができるとしたらうけてみたいですか。
1つ選んでください。

1. うけてみたい
2. どちらでもよい
3. できればうけたくない
4. 全く興味がない
5. わからない

問13 問12で「1.うけてみたい、2.どちらでもよい」と答えた方にお聞きします。
あなたは、どのような福祉体験実習をうけてみたいですか。体験したいものすべてに
○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 高齢者疑似体験 | 11. ボランティア体験 |
| 2. 視覚・聴覚障害疑似体験 | 12. 手話 |
| 3. 身体介護体験 | 13. わからない |
| 4. 入浴介助体験 | 14. その他 |
| 5. 車椅子体験 | } |
| 6. 認知症疑似体験 | |
| 7. バリアフリー体験 | |
| 8. ユニバーサルデザイン体験 | |
| 9. ダイアログ・イン・ザ・ダーク (暗闇体験) | |
| 10. 介助犬体験 | |

問14 あなたは、日々の生活で高齢者（75歳以上）または、介護者、障がい者と関わる
機会がありますか。

- | | | | |
|-------|-----------|-----------|---------|
| 1. ある | 2. ときどきある | 3. ほとんどない | 4. 全くない |
|-------|-----------|-----------|---------|

問15 問14で「1.ある、2.ときどきある」と答えた方に聞きます。具体的にどなたですか。

- | | | |
|---------------|--------|---------|
| 1. 高齢者（75歳以上） | 2. 介護者 | 3. 障がい者 |
|---------------|--------|---------|

問16 あなたは、福祉体験実習はいつ頃からうけることが望ましいと考えますか。
1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 小学生の時から | 8. 特にうけなくてもよい |
| 2. 中学生の時から | 9. わからない |
| 3. 高校生の時から | 10. その他 |
| 4. 短大・専門学校・大学生の時から | } |
| 5. 社会人になってから | |
| 6. 時期は問わず機会があればいつでもよい | |
| 7. 時期は問わず必要になってからでよい | |

◎ 将来について

問17 あなたは、今どんな職種(分野)に興味がありますか。該当するものを1つ選んでください。既に就職先が決まっている方は、その職種(分野)に○をつけてください。

1. コンピュータ・IT・Web・ゲーム
2. 機械・電気・化学
3. 自動車・航空・船舶・鉄道・宇宙
4. 建築・土木・インテリア
5. 動物・植物・農業・林業・酪農・畜産・水産
6. 環境・自然・バイオ
7. 医療・歯科・看護・リハビリ
8. 福祉・介護
9. 美容・理容・メイクアップ
10. エステ・ネイル・リラクゼーション
11. 食・栄養・調理・製菓
12. 教育
13. 保育・こども
14. 健康・スポーツ
15. ビジネス・経営・金融・不動産
16. 語学・国際
17. 公務員・政治・法律
18. 旅行・ホテル・ブライダル・観光
19. ファッション
20. デザイン・芸術・写真
21. マスコミ・芸能・アニメ・声優・漫画
22. 音楽・イベント
23. 将来についてはまだ決めていない
24. その他

()

問18 あなたは、将来の仕事について現時点での思いを1つ選んでください。

1. できれば市内(地元)で仕事がしたい
2. できれば県内で仕事がしたい
3. できれば県外で仕事がしたい
4. できれば海外で仕事がしたい
5. 進学後(大学・短大・専門学校等)に考える
6. すでに決まっている
7. まだ何も考えていない
8. その他

()

問19 あなたは、これからも地元に住みたいと思いますか。1つ選んでください。

1. ずっと住みたい
2. 一度は地元を出たいが、将来は帰ってきたい。
3. 住みたくない
4. どちらともいえない
5. その他

()

問20 問19で「1.ずっと住みたい」、「2.一度は地元を出たいが、将来は帰ってきたい」と答えた方に聞きます。どうしてそう思いますか。1つ選んでください。

1. 家族がいるから
2. 友達や知り合いがいるから
3. 地元が好きだから
4. 跡継ぎだから
5. その他

()

問21 問19で「3.住みたくない」と答えた方に聞きます。どうしてそう思いますか。1つ選んでください。

1. なりたい職業につけないから
2. 買い物などが不便だから
3. 交通の便が悪いから
4. 雪や寒さが厳しいから
5. まわりの人に干渉されるから
6. まわりの人が冷たいから
7. その他

()

◎ 福祉の複合施設について

※福祉の複合施設とは？ 福祉の総合的な学びや支援、相談ができる場としての活用、さらには誰もが集える場として活用できる複合的な施設のこと
--

問22 あなたは、黒部市に福祉の複合施設ができたなら利用したいですか。

1. はい 具体的な理由があれば記入してください
2. いいえ ⇒
3. わからない

()

問23 福祉の複合施設ができた場合、あなたは、どのようなことができる施設がよいと考えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 福祉体験実習ができる
2. 調理実習ができる
3. ボランティア活動ができる
4. 災害訓練ができる
5. なんでも相談できる
6. 世代別交流ができる
7. 入浴ができる
8. 家族風呂・介護風呂がある
9. 子育て広場で育児ができる
10. 体操教室（ヨガ・ダンス等）に参加できる
11. 趣味（囲碁・将棋等）を楽しむ場がある
12. 学習広場で勉強ができる
13. 図書（読書）スペースがある
14. 作品展示会（絵画、書道等）ができる
15. イベントが開催できる（ホールがある）
16. 各種イベントに参加できる
17. カラオケができる
18. ステージ発表ができる
19. カフェでくつろげる
20. フリースペースでくつろげる
21. 市内からバスで送迎してもらえる
22. わからない
23. 施設自体は必要でないと思う
24. その他

()

問24 その他、黒部市社会福祉協議会に対するご意見、ご質問があれば記入してください。

ご協力ありがとうございました
黒部市社会福祉協議会

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

平成29年度『福祉に関する中学・高校生アンケート』報告書

発行 平成30年3月

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 経営戦略係

〒938-0022

富山県黒部市金屋464番地の1

TEL 0765-54-1082 / FAX 0765-52-2797

E-mail kurobesw@ma.mrr.jp